

令和3年度市場検証(中間報告)

【電気通信事業分野における市場動向の分析】

令和4年4月8日
事務局

○ 電気通信事業分野における市場動向の分析

- ① 移動系通信市場を巡る市場環境の変化の影響(重点的検証項目)
- ② 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響(重点的検証項目)
- ③ 移動系通信市場
- ④ 固定系通信市場
- ⑤ 法人向けサービスの実態把握

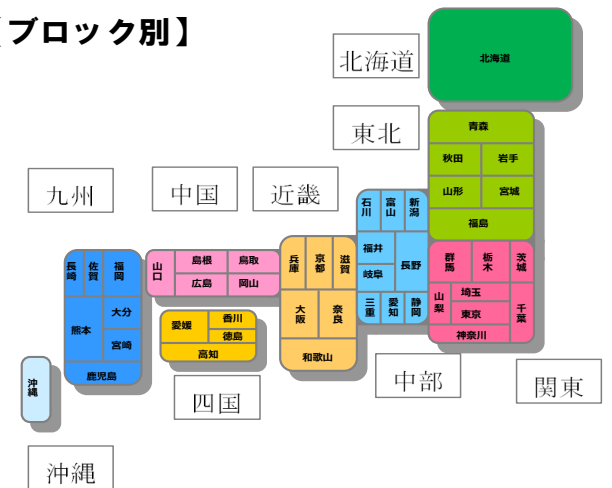
(参考資料)

- ・利用者アンケート(移動系・固定系)について
- ・事業者アンケートについて

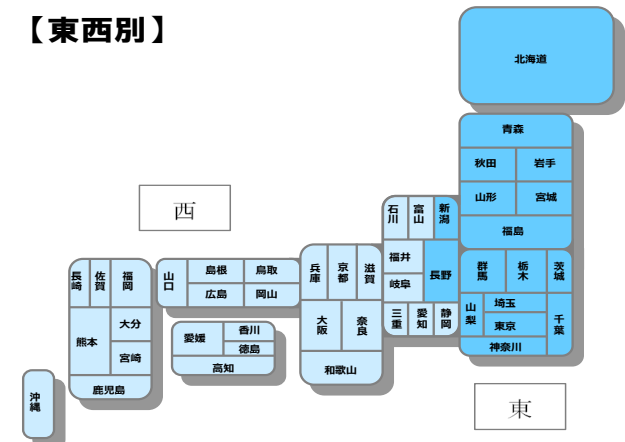
- 「電気通信事業分野における市場検証に関する基本方針」(令和3年12月17日)において定められている電気通信事業分野における検証対象市場(サービス範囲及び地理的範囲)は以下のとおり。
- なお、このほか、前記基本方針においては、電気通信事業分野における市場動向の分析として、法人向けサービスの実態把握及び研究開発競争の状況の把握を実施することとしている。

		サービス範囲	地理的範囲
移動系通信	小売市場	移動系通信市場	全国
		携帯電話向け通信サービス市場	
	通信モジュール市場		
	卸売市場	移動系通信市場	
携帯電話向け通信サービス市場			
固定系通信	データ通信	固定系ブロードバンド市場	ブロック別
		固定系超高速ブロードバンド市場	
		FTTH 市場	
	卸売市場	ISP 市場	全国
		FTTH 市場	ブロック別
	音声通信	小売市場	固定電話市場
050-IP 電話市場			全国

【ブロック別】



【東西別】



固定系通信市場

移動系通信市場

NTT東西
(光サービスシェア**63.8%**)
(回線シェア**75%**)

ネットワークの貸出し

CATV* (光サービスシェア**7.1%**)
※ 収益の50%超が通信事業

電力系事業者 (光サービスシェア**8.5%**)

KDDIグループ (光サービスシェア**11.3%**)

ドコモ光

ネットワークの貸出し

ソフトバンク光

楽天ひかり

NTTドコモ
(シェア**36.6%**)

KDDIグループ
(シェア**27.1%**)

ソフトバンク
(シェア**20.9%**)

楽天モバイル
(シェア**2.2%**)

ネットワークの貸出し

MVNO (シェア**13.2%**)

※ **MVNO (Mobile Virtual Network Operator)**:
電波の割当てを受けてサービスを提供する電気通信事業者から無線ネットワークを借りて、移動通信サービスを提供する電気通信事業者。

注: 数値は2021年12月末時点(回線シェアは2021年3月末時点)

注: 移動通信市場におけるシェアについて、MVNOへの提供に係るものを含めたMNO3グループのシェアは、以下のとおり。

NTTドコモ41.8%、KDDIグループ30.6%、ソフトバンク25.3%

**① 移動系通信市場を巡る市場環境の変化の影響
（重点的検証項目）**

【市場シェアに生じた変化の状況】

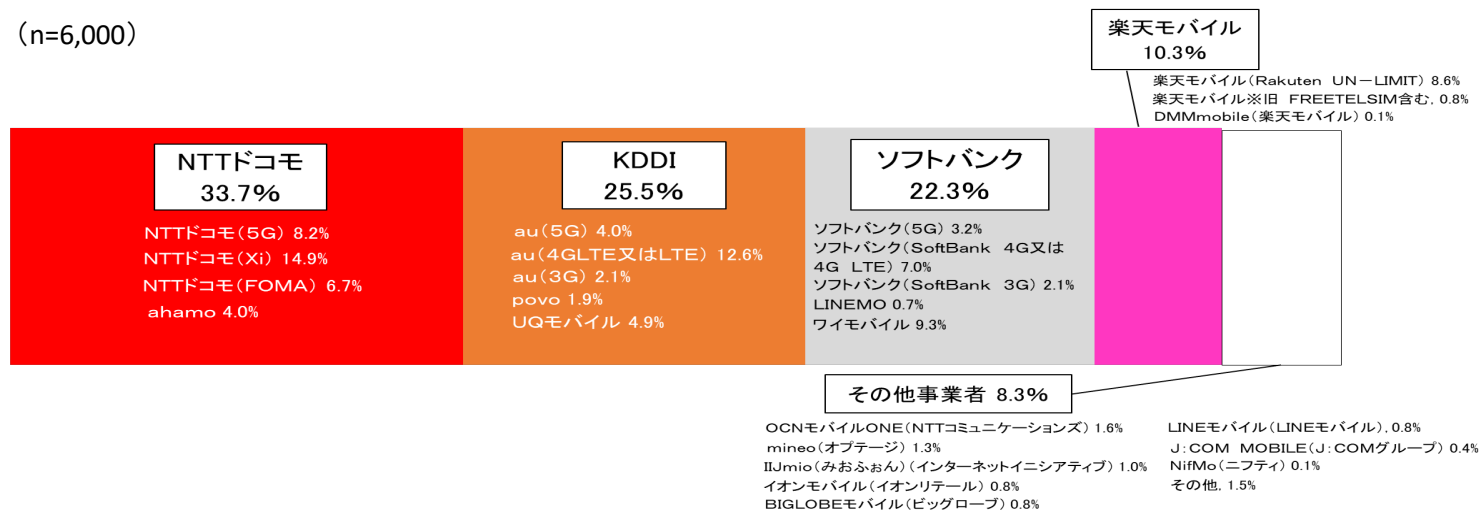
- 2019年度より、楽天モバイルがMNOサービスの提供を開始したほか、楽天モバイル以外のMNOによる廉価プランの提供開始や、5G契約数の急速な拡大なども含め、移動系通信市場を巡る市場環境に大きな変化が生じてきていると考えられる。
- 楽天モバイルがMNOとして参入して以降、MNO3社のシェアは緩やかに減少するとともに、楽天モバイルのシェアは増加し、2021年12月末時点では楽天モバイルのシェアが2.2%となるなど、従来のようなMNO3社が市場の大半を占める状況からは変化が生じてきている(26頁参照)。
- また、新規受付停止済のMVNOにおける契約数の減少を主な要因として、MVNO契約数の総数が減少する場面もみられる。移動系通信全体に占めるMVNO契約数のシェアをみると、直近では、13%台となっており、ほぼ横ばいの状態になっている(26頁参照)。

【その他の変化の状況】

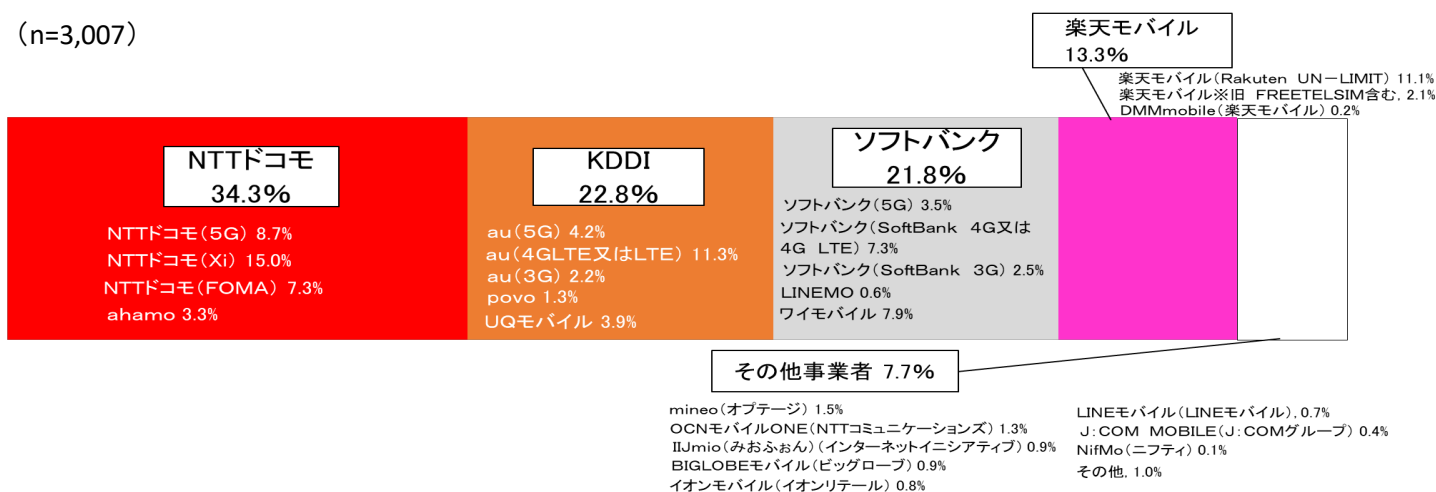
- MVNO事業者数について、一次MVNO事業者及び二次MVNO事業者のいずれも、緩やかに増加を続けている。
- 2020年度末時点における主要各社の移動系通信の契約数の増減率(対前年度末比)については、NTTドコモにおける増加率は+3.4%、KDDIグループは+2.6%、ソフトバンクは+1.3%である一方、MVNOについては+5.6%となっている(27頁参照)。
- また、2021年における主要各社の移動系通信の契約数の増加数・減少数については、MNOは758万の増加(NTTドコモは237万、KDDIグループは156万、ソフトバンクは77万、楽天モバイルは288万)、MVNOは61万の増加となっている(28頁参照)。

- 現在利用している携帯電話サービス(メイン端末・サブ端末)の回答は以下のとおり。**メイン端末、サブ端末ともNTTドコモが最多であり、サブ端末については、楽天モバイルの割合がメイン端末に比べて大きい。**

メイン端末 (n=6,000)



サブ端末 (n=3,007)



- メイン端末・サブ端末ごとに、現在利用している携帯電話サービスの継続利用期間が3年未満の利用者に対して、以前利用していた携帯電話サービスについて確認した。
- メイン端末については、NTTドコモからahamoに、auからpovoに、ソフトバンクからワイモバイルに変更した利用者が多くなっている一方、楽天モバイルについては、幅広い事業者のサービスの利用者から変更先とされていることがみてとれる。また、NTTドコモ、au及びソフトバンクの間での変更も、比較的多くみられる。

		以前利用していた携帯電話サービス(メイン端末)																						
該当数		NTTドコモ	ahamo	au	povo	ソフトバンク	LINEMO	楽天モバイル(MNO)	ワイモバイル	UQモバイル	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	イオンモバイル(イオンリテール)	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	DMMmobile(楽天モバイル)	NifMo(ニフティ)	BIGLOBEモバイル(ビッグロープ)	mineo(オプテージ)	LINEモバイル	楽天モバイル(MVNO)	その他	わからない/覚えていない	現在利用している携帯電話事業者・サービスが初めて	
全体		2182	20.1	0.5	21.8	0.2	20.7	0.4	1.3	6.3	2.7	0.4	0.8	1.1	0.1	0.7	0.2	0.8	1.4	1.1	6.6	2.2	3.3	7.2
現在利用している携帯電話サービス(メイン端末)	NTTドコモ	224	45.1	0.0	12.5	0.4	15.6	0.9	0.9	2.7	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.4	0.0	1.3	1.3	4.5	12.9	
	ahamo	166	64.5	0.0	7.8	1.2	8.4	0.0	1.2	3.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.2	1.2	1.8	1.2	3.0	3.6	
	au	175	15.4	0.0	35.4	0.0	16.0	0.0	0.0	4.6	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	8.6	13.7
	povo	98	0.0	0.0	82.7	0.0	4.1	1.0	5.1	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1
	ソフトバンク	174	10.9	0.6	14.4	0.0	30.5	0.0	0.0	22.4	1.1	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.1	6.3	10.3
	LINEMO	37	2.7	5.4	2.7	0.0	48.6	0.0	2.7	13.5	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	10.8	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	楽天モバイル(MNO)	456	12.9	0.4	11.8	0.4	10.1	0.7	0.0	7.5	3.1	1.3	2.0	2.9	0.2	2.4	0.2	1.5	3.5	2.0	27.0	2.4	1.8	5.9
	ワイモバイル	342	14.0	0.9	11.4	0.0	53.2	0.9	1.8	0.0	4.7	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.3	1.2	0.6	0.3	0.3	1.5	3.2	5.0
	UQモバイル	219	10.0	0.0	51.6	0.0	11.4	0.0	1.4	9.1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.8	2.7	3.7	6.4
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	30	10.0	0.0	20.0	0.0	16.7	0.0	6.7	6.7	3.3	0.0	0.0	6.7	0.0	3.3	0.0	3.3	3.3	0.0	3.3	6.7	3.3	6.7
	イオンモバイル(イオンリテール)	23	17.4	0.0	17.4	0.0	13.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	4.3	30.4
	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	52	42.3	0.0	15.4	0.0	9.6	0.0	1.9	0.0	3.8	3.8	1.9	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	3.8	1.9	3.8	1.9	0.0	5.8
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	16	25.0	0.0	31.3	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3
	DMMmobile(楽天モバイル)	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
NifMo(ニフティ)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
BIGLOBEモバイル(ビッグロープ)	21	14.3	0.0	23.8	0.0	14.3	0.0	4.8	4.8	0.0	4.8	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	
mineo(オプテージ)	23	4.3	0.0	26.1	0.0	21.7	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0	4.3	8.7	8.7	8.7	0.0	4.3	
LINEモバイル(LINEモバイル)	30	13.3	0.0	20.0	0.0	33.3	0.0	3.3	10.0	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	6.7	0.0	3.3	
楽天モバイル(MVNO)	49	12.2	2.0	20.4	0.0	12.2	0.0	10.2	10.2	4.1	0.0	4.1	2.0	0.0	4.1	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	6.1	4.1	6.1	
その他	44	15.9	4.5	20.5	0.0	18.2	0.0	0.0	11.4	4.5	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	9.1	0.0	2.3	

- 他方で、サブ端末については、「現在利用している携帯電話事業者・サービスが初めて」という回答が圧倒的に多く、NTTドコモ利用者、au利用者及びソフトバンク利用者については、自社のサービス内での変更(3Gから4G、4Gから5Gなど)も、比較的多くみられる。

		以前利用していた携帯電話サービス(サブ端末)																							
該当数		NTTドコモ	ahamo	au	povo	ソフトバンク	LINEMO	楽天モバイル(MNO)	ワイモバイル	UQモバイル	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	イオンモバイル(イオンリテール)	NTTコミュニケーションズ	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	DMMmobile(楽天モバイル)	NifMo(ニフティ)	BIGLOBEモバイル(ビッグロブ)	mineo(オプテージ)	LINEモバイル	楽天モバイル(MVNO)	その他	わからない/覚えていない	現在利用している携帯電話事業者・サービスが初めて	
全体		1921	12.4	0.6	7.2	0.4	8.7	0.3	3.0	1.6	1.1	0.4	0.2	0.7	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.2	4.7	2.3	14.3	41.1	
現在利用している携帯電話サービス(サブ端末)	NTTドコモ	497	29.8	1.6	2.2	0.2	3.6	0.2	2.8	1.2	0.2	0.6	0.2	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	1.6	2.4	15.3	37.0	
	ahamo	83	34.9	0.0	2.4	0.0	4.8	0.0	7.2	0.0	2.4	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	13.3	32.5	
	au	297	4.0	0.7	23.2	1.7	5.1	0.0	0.7	1.3	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3	0.7	2.0	19.9	37.7	
	povo	36	0.0	0.0	36.1	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	47.2	
	ソフトバンク	230	8.7	0.9	4.8	0.0	27.4	0.9	3.0	2.6	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	2.2	12.2	35.2
	LINEMO	14	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	
	楽天モバイル(MNO)	301	3.3	0.0	2.3	0.7	3.7	0.0	0.0	3.3	1.7	0.3	0.3	2.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.7	0.3	24.3	1.3	5.6	49.5	
	ワイモバイル	178	5.1	0.0	2.8	0.0	19.7	0.6	5.1	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	16.9	46.6	
	UQモバイル	92	5.4	0.0	16.3	0.0	10.9	0.0	2.2	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	19.6	40.2	
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	21	9.5	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	52.4	
	イオンモバイル(イオンリテール)	18	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	22.2	55.6	
	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	26	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	7.7	19.2	57.7	
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	14.3	
	DMMmobile(楽天モバイル)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
NifMo(ニフティ)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		
BIGLOBEモバイル(ビッグロブ)	20	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	15.0	15.0	45.0		
mineo(オプテージ)	22	0.0	0.0	4.5	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	13.6	54.5		
LINEモバイル	11	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	18.2	54.5		
楽天モバイル(MVNO)	48	4.2	0.0	6.3	0.0	4.2	0.0	16.7	2.1	6.3	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	8.3	43.8		
その他	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	44.4		

- 現在利用契約している携帯電話サービスが仮に利用できなくなった場合、他のどの事業者のサービスに変更するかを確認した。
- メイン端末については、総じて、同一事業者が提供するブランドが変更先として回答される傾向にあり、**同一事業者が提供するブランド間での代替性が高くなっている**ことがうかがえる。また、**楽天モバイル**は、幅広い事業者のサービスについての代替先となっており、**様々な事業者のサービスとの間で一定程度の代替性が存在する**ことがうかがえる。なお、NTTドコモ、au及びソフトバンクについては、互いに主要な代替先となっていることがうかがえる。

		現在利用している携帯電話サービス(メイン端末)が利用できなくなった場合の変更先																			
該当数		NTTドコモ	ahamo	au	povo	ソフトバンク	LINEMO	楽天モバイル	ワイモバイル	UQモバイル	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	イオンモバイル(イオンリテール)	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	DMMmobile(楽天モバイル)	NifMo(ニフティ)	BIGLOBEモバイル(ビッグローブ)	mineo(オプテージ)	LINEモバイル	その他	
全体		6000	10.3	17.9	5.2	6.1	7.3	3.3	19.1	8.0	7.9	1.2	1.1	2.3	0.8	0.9	0.2	0.4	1.4	1.3	5.7
現在利用している携帯電話サービス(メイン端末)	NTTドコモ	1782	0.0	45.2	9.0	0.7	8.5	0.6	17.9	2.4	1.5	0.7	0.8	3.1	1.0	0.2	0.1	0.3	0.5	0.3	7.2
	ahamo	241	53.9	0.0	3.3	11.2	1.7	4.6	14.9	2.9	3.3	0.4	0.0	0.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	1.7
	au	1124	20.1	4.3	0.0	19.2	8.5	1.1	17.7	2.3	18.0	0.3	0.5	0.4	1.3	0.3	0.1	0.4	0.9	0.5	4.2
	povo	112	3.6	32.1	21.4	0.0	1.8	6.3	22.3	1.8	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	ソフトバンク	735	18.5	2.2	6.8	0.8	0.0	5.7	21.0	32.9	3.0	1.0	0.3	0.0	0.3	0.3	0.3	0.1	0.3	1.6	5.0
	LINEMO	41	0.0	12.2	0.0	12.2	22.0	0.0	29.3	7.3	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0
	楽天モバイル(MNO)	517	6.6	14.1	1.0	7.0	3.9	5.0	0.0	14.5	12.6	4.8	2.7	5.6	0.4	5.4	0.0	1.7	5.0	3.7	6.0
	ワイモバイル	560	5.5	4.5	2.0	1.8	25.4	8.8	27.1	0.0	14.1	0.5	1.8	0.2	0.5	0.7	0.4	0.2	0.9	2.0	3.8
	UQモバイル	292	4.5	7.2	13.4	12.7	1.0	2.7	29.5	15.1	0.0	1.4	1.4	3.4	0.7	0.0	0.3	0.0	2.1	1.0	3.8
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	62	4.8	17.7	0.0	0.0	0.0	1.6	29.0	6.5	6.5	0.0	0.0	14.5	1.6	1.6	0.0	0.0	8.1	1.6	6.5
	イオンモバイル(イオンリテール)	49	8.2	0.0	0.0	2.0	4.1	4.1	20.4	8.2	8.2	4.1	0.0	8.2	0.0	2.0	0.0	0.0	10.2	4.1	16.3
	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	94	14.9	9.6	0.0	2.1	2.1	1.1	21.3	2.1	10.6	8.5	4.3	0.0	0.0	2.1	0.0	1.1	8.5	3.2	8.5
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	26	11.5	0.0	3.8	0.0	3.8	0.0	19.2	11.5	11.5	3.8	7.7	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	3.8	0.0	15.4
	DMMmobile(楽天モバイル)	7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9
	NifMo(ニフティ)	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
BIGLOBEモバイル(ビッグローブ)	49	6.1	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	30.6	12.2	12.2	0.0	2.0	8.2	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0	8.2	10.2	
mineo(オプテージ)	77	2.6	5.2	3.9	5.2	0.0	0.0	31.2	5.2	14.3	1.3	5.2	2.6	0.0	0.0	1.3	2.6	0.0	5.2	14.3	
LINEモバイル	45	6.7	2.2	0.0	0.0	0.0	44.4	24.4	0.0	2.2	0.0	2.2	4.4	0.0	6.7	2.2	0.0	4.4	0.0	0.0	
楽天モバイル(MVNO)	94	2.1	10.6	2.1	3.2	3.2	5.3	30.9	9.6	9.6	1.1	2.1	6.4	1.1	2.1	0.0	0.0	2.1	3.2	5.3	
その他	88	12.5	6.8	5.7	2.3	2.3	2.3	30.7	3.4	6.8	2.3	1.1	4.5	2.3	1.1	1.1	0.0	2.3	0.0	12.5	

- 前頁のメイン端末についての結果は、サブ端末についても同様である。

		現在利用している携帯電話サービス(サブ端末)が利用できなくなった場合の変更先																			
該当数		NTTドコモ	ahamo	au	povo	ソフトバンク	LINEMO	楽天モバイル	ワイモバイル	UQモバイル	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	イオンモバイル(イオンリテール)	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	DMMmobile(楽天モバイル)	NifMo(ニフティ)	BIGLOBEモバイル(ビッグローブ)	mineo(オプテージ)	LINEMOモバイル	その他	
全体		3007	9.5	17.2	4.6	5.4	7.4	3.4	16.5	7.9	6.6	1.8	1.5	2.7	1.0	1.1	0.2	0.9	1.6	1.7	9.2
現在利用している携帯電話サービス(サブ端末)	NTTドコモ	933	0.0	42.6	6.6	1.9	9.0	1.1	15.6	2.6	1.9	1.0	0.6	3.5	1.1	0.2	0.2	0.8	1.1	0.4	9.8
	ahamo	99	55.6	0	4	7	3	5	14	1	4	1	0	2	0	0	0	0	1	0	2
	au	531	19.4	6.6	0.0	15.1	8.1	1.9	16.2	2.8	15.3	0.9	1.3	0.8	0.9	0.4	0.6	0.2	1.3	1.3	7.0
	povo	38	2.6	31.6	18.4	0.0	5.3	0.0	18.4	2.6	2.6	5.3	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0
	ソフトバンク	400	16.8	3.0	7.5	0.3	0.0	7.5	17.8	29.0	3.0	1.3	1.3	0.8	0.5	0.0	0.0	0.3	0.3	2.0	9.0
	LINEMO	18	0.0	11.1	0.0	16.7	11.1	0.0	27.8	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
	楽天モバイル(MNO)	333	7.8	8.4	2.4	7.8	5.1	4.8	0.0	12.6	10.2	5.4	2.4	6.6	0.9	6.3	0.0	1.8	4.2	3.0	10.2
	ワイモバイル	239	3.8	4.2	2.5	2.9	24.7	5.0	29.3	0.0	9.6	1.3	2.1	1.3	0.4	0.0	0.0	0.8	0.8	1.7	9.6
	UQモバイル	117	3.4	4.3	14.5	9.4	5.1	2.6	23.9	15.4	0.0	1.7	1.7	2.6	2.6	0.0	0.0	0.9	3.4	0.9	7.7
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	28	7.1	7.1	0.0	0.0	3.6	0.0	21.4	10.7	14.3	0.0	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0	7.1	14.3	0.0	3.6
	イオンモバイル(イオンリテール)	25	4.0	0.0	8.0	0.0	4.0	12.0	20.0	8.0	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	8.0	0.0	0.0	8.0	12.0	8.0
	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	39	12.8	10.3	0.0	7.7	2.6	2.6	10.3	7.7	7.7	2.6	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	2.6	7.7	12.8
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	13	15.4	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1
	DMMmobile(楽天モバイル)	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	NifMo(ニフティ)	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
BIGLOBEモバイル(ビッグローブ)	26	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	19.2	0.0	15.4	3.8	3.8	7.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	15.4	
mineo(オプテージ)	45	2.2	6.7	0.0	4.4	0.0	0.0	33.3	2.2	13.3	4.4	6.7	0.0	0.0	4.4	2.2	0.0	0.0	4.4	15.6	
LINEMOモバイル	20	10.0	5.0	0.0	0.0	5.0	25.0	40.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	
楽天モバイル(MVNO)	62	6.5	8.1	3.2	4.8	1.6	3.2	25.8	4.8	8.1	1.6	4.8	3.2	1.6	1.6	0.0	4.8	0.0	3.2	12.9	
その他	31	6.5	3.2	3.2	3.2	0.0	3.2	19.4	6.5	0.0	9.7	0.0	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	35.5	

- メイン端末及びサブ端末に係る変更先として回答した事業者の選択理由(最も当てはまるもの)については、いずれも総じて「月額料金が安い」が選択されており、特に、**楽天モバイル**を選択した回答者においては、**メイン端末の場合は65.9%、サブ端末の場合は61.3%**にのぼっている。
- 他方で、NTTドコモ、au及びソフトバンクを選択した利用者においては、「通信品質が良い・速度が速い」、「利用可能エリアが広い」など、通信品質を重視した回答も一定程度みられた。なお、いずれの事業者を選択した者についても、「特に理由はない」という回答が一定程度みられたことに留意が必要である。

メイン端末に係る変更先として回答したサービスの選択理由(最も当てはまるもの)

該当数	初期費用(手数料・端末価格等)が安い	月額料金が安い	都合の良い料金体系がある	料金プランがわかりやすい	ネット回線、プロバイダサービスなどの通信サービスと一括契約による	家族割引サービスがある	その他割引サービスが充実している	キャリアシェアバックが充実している	通信品質が良い・速度が速い	利用可能エリアが広い	業界シェアが高い	通信事業者のブランドイメージが良い	新たに利用したいと思つて利用している	端末をそのまま使えるから	魅力的な付加サービス(オプション)がある	利用に応じてポイントが得られる	他のサービスと支払いをまとめられる	アフターサービスやサポートが良い	量販店やWebで手軽に購入・契約できる	解約の条件や手続きがわかりやすい	販売店や電話等で強く勧められた	特に理由はない	その他		
																								2	3
全体	6000	8.3	44.7	5.2	3.8	2.4	2.3	0.8	0.9	3.8	2.9	1.4	1.5	0.2	0.8	0.4	1.9	0.4	0.5	0.4	0.1	0.1	15.8	1.5	
現在利用している携帯電話サービス(メイン端末)が利用できないなくなった場合の変更先	NTTドコモ	619	7.9	14.4	3.9	3.2	2.7	6.3	0.6	11.1	12.6	9.4	6.1	3.4	0.0	0.6	0.2	1.8	0.5	1.0	0.3	0.2	0.0	21.8	1.9
	ahamo	1072	10.7	45.6	3.8	4.3	1.2	1.7	1.0	0.2	5.5	4.1	0.7	2.3	0.3	1.2	0.2	0.4	0.4	0.2	0.6	0.1	0.2	14.5	0.8
	au	309	9.4	18.4	4.2	4.9	4.9	3.9	0.6	1.0	8.1	8.1	4.2	1.9	0.0	1.0	0.3	1.9	0.3	1.6	0.6	0.0	0.0	23.3	1.3
	povo	363	6.9	55.4	8.5	3.9	1.1	1.1	0.6	0.8	2.5	2.2	0.0	1.1	0.3	2.2	0.0	0.3	0.6	0.3	0.3	0.0	0.0	12.1	0.0
	ソフトバンク	438	8.9	18.7	8.2	4.3	5.5	6.6	2.5	1.1	2.7	2.1	3.9	3.4	0.9	0.5	0.7	2.7	0.5	0.2	0.0	0.2	0.0	23.7	2.5
	LINEMO	197	8.6	61.9	5.6	4.6	1.5	0.5	0.5	1.0	2.0	0.5	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	1.5
	楽天モバイル	1145	7.5	65.9	5.1	5.0	0.3	0.4	0.5	1.4	0.6	0.4	0.3	0.3	0.0	0.1	0.3	5.3	0.4	0.1	0.2	0.0	0.0	5.3	0.4
	ワイモバイル	477	7.3	55.3	4.4	2.3	2.5	2.9	1.0	1.3	1.0	0.2	0.2	0.4	0.4	1.3	1.0	2.5	0.2	0.4	0.2	0.0	0.0	13.8	1.0
	UQモバイル	471	5.7	60.1	5.3	3.4	2.5	1.7	0.4	0.2	2.8	1.7	0.2	1.1	0.0	1.3	0.2	0.4	0.4	0.8	0.6	0.0	0.2	9.8	1.1
	IJmio(インターネットイニシアティブ)	71	11.3	52.1	8.5	4.2	5.6	0.0	1.4	2.8	0.0	1.4	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	5.6
	イオンモバイル(イオンリテール)	65	12.3	44.6	6.2	9.2	1.5	0.0	1.5	1.5	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	1.5	0.0	0.0	15.4	0.0
	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	135	7.4	54.1	4.4	0.7	8.1	0.7	1.5	0.0	5.9	4.4	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	7.4	1.5
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	48	12.5	20.8	10.4	6.3	22.9	4.2	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	6.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	6.3	2.1
	DMMmobile(楽天モバイル)	52	9.6	50.0	3.8	7.7	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.1	1.9
	NifMo(ニフティ)	11	9.1	27.3	0.0	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	BIGLOBEモバイル(ビッグロブ)	24	20.8	37.5	8.3	0.0	12.5	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
mineo(オブテージ)	86	8.1	54.7	10.5	1.2	2.3	1.2	0.0	0.0	1.2	2.3	0.0	2.3	0.0	1.2	2.3	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	7.0	2.3	
LINEモバイル	78	12.8	48.7	3.8	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	0.0	23.1	1.3	
その他	339	3.8	20.4	3.5	0.6	1.2	1.5	0.3	0.3	0.9	0.9	0.3	0.3	0.0	0.9	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	56.3	7.7	

サブ端末に係る変更先として回答したサービスの選択理由(最も当てはまるもの)

該当数	初期費用(手数料・端末価格等)が安い	月額料金が安い	都合の良い料金体系がある	料金プランがわかりやすい	ネット回線、プロバイダ(ISP)などの通信サービスとの一括契約による	家族割引サービスがある	その他割引サービスが充実している	キャリアショップが充実している	通信品質が良い・速度が速い	利用可能エリアが広い	業界シェアが高い	通信事業者のブランドイメージが良い	新たに利用したいと思っ ている端末が利用できるから	端末をそのまま使えるから	魅力的な付加サービス(オプション)がある	利用に応じてポイントが得られる	他のサービスと支払いをまとめられる	アフターサービスやサポートが良い	入・契約できる	量販店やWebで手軽に購 入・契約できる	解約の条件や手続きがわか りやすい	販売店や電話等で強く勧め られた	特に理由はない	その他		
																									3007	10.4
全体	3007	10.4	38.9	4.6	4.1	2.3	2.5	1.3	1.2	3.0	2.6	1.4	1.4	0.4	1.1	0.4	1.4	0.3	0.4	0.2	0.2	0.1	20.1	1.7		
現在利用している携 帯電話サービス(サ ブ端末)が利用	NTTドコモ	287	11.5	15.3	3.5	4.9	2.4	5.6	2.1	0.7	7.7	6.6	4.9	3.8	0.7	0.7	0.3	0.7	0.3	1.7	0.0	0.0	0.0	25.1	1.4	
	ahamo	518	14.3	40.2	4.1	4.1	1.7	1.4	1.2	0.8	4.2	3.9	2.5	2.1	0.0	1.5	0.4	0.4	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	16.6	0.4	
	au	139	7.2	18.7	6.5	3.6	4.3	5.0	2.9	2.2	10.8	6.5	2.2	1.4	0.7	0.7	0.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0	23.7	0.7	
	povo	163	11.0	54.0	5.5	6.1	0.6	0.6	0.6	0.6	3.7	1.8	0.6	0.0	1.2	1.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	10.4	0.0
	ソフトバンク	223	10.8	22.4	6.3	3.1	5.8	7.2	2.2	2.7	1.3	4.0	3.1	2.2	0.9	0.9	0.9	2.2	0.4	0.0	0.0	0.9	0.4	22.0	0.0	
	LINEMO	101	11.9	50.5	5.0	6.9	4.0	5.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.9	0.0	
	楽天モバイル	496	9.5	61.3	4.4	4.4	0.4	1.4	1.0	2.0	0.2	0.2	0.0	0.4	0.2	0.6	0.2	4.0	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0	8.5	0.2	
	ワイモバイル	238	11.3	45.0	5.9	3.8	2.1	2.5	1.3	1.3	2.1	0.8	0.0	1.3	1.3	1.3	0.8	1.3	0.4	1.3	0.0	0.0	0.4	15.5	0.4	
	UQモバイル	197	9.1	56.3	4.1	4.6	2.0	1.5	2.5	0.5	2.5	1.5	0.0	2.0	0.0	1.5	0.0	1.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	8.1	0.5	
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	54	9.3	44.4	5.6	9.3	1.9	1.9	1.9	0.0	3.7	1.9	1.9	3.7	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	1.9	
	イオンモバイル(イオンリテール)	44	9.1	34.1	13.6	4.5	2.3	6.8	2.3	4.5	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	13.6	0.0	
	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	80	7.5	51.3	6.3	1.3	5.0	0.0	0.0	1.3	6.3	5.0	1.3	0.0	0.0	1.3	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	1.3	
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	29	13.8	27.6	3.4	6.9	13.8	6.9	3.4	0.0	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	6.9	3.4	
	DMMmobile(楽天モバイル)	32	9.4	46.9	9.4	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	
	NifMo(ニフティ)	6	16.7	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	BIGLOBEモバイル(ビッグローブ)	26	19.2	38.5	0.0	3.8	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	23.1	0.0	
	mineo(オプテージ)	47	8.5	51.1	6.4	0.0	2.1	2.1	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.9	2.1	
LINEモバイル	51	15.7	41.2	5.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	3.9	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	0.0		
その他	276	3.6	8.0	1.1	0.4	0.7	0.4	0.4	0.0	0.4	1.1	0.4	0.4	0.0	1.1	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	67.8	13.4		

- メイン端末及びサブ端末に係る変更先として回答した事業者に現時点で切り替えない理由(最も当てはまるもの)については、いずれも総じて「現在利用しているサービスに満足しているから」が選択されており、メイン端末の場合は37.7%、サブ端末の場合は41.4%にのぼっている。他方で、「通信会社を変更するのが面倒だから」との回答は、メイン端末の場合は14.0%、サブ端末の場合は10.9%であった。

メイン端末に係る変更先として回答したサービスに現時点で切り替えない理由(最も当てはまるもの)

	該当数	サブ利用(3台目以降)の回線として利用している	サブサービスの内容をよく知らないから	身近で契約できる場所がないから	契約の仕方がわからないから	初期費用が高いから	月額利用料金が高いから	トータルのコストが高いから	電話料金や専用アプリを利用しなげればならぬ面倒くさいから	都合の良い料金体系がないから	料金プランがわかりにくいから	割引やキャッシュバックがないから	固定通信やインターネット契約が利用できなくなるから	通信速度が遅いと思うから	通信品質に不安があるから	アフターサービスやサポートに不安があるから	設定が難しくそうだから	メールアドレスを変更したくないから	利用可能な端末に魅力を感じないから	端末のまま端末を利用できないから	魅力的なサービスがないから	ブランドイメージが良くないから	通信会社を変更するのが面倒だから	現在利用しているサービスに満足しているから	その他	
全体	6000	2.7	9.1	1.9	2.3	1.2	6.2	3.0	1.1	1.3	0.8	0.8	1.9	0.8	3.5	1.3	1.0	4.6	0.5	0.3	0.7	0.2	14.0	37.7	3.2	
現在利用している携帯電話サービス(メイン端末)が利用できる携帯電話サービスの変更に	NTTドコモ	619	3.1	7.3	2.1	0.8	2.6	14.1	3.9	0.6	1.3	0.5	0.8	1.3	0.3	1.0	0.6	0.2	3.7	0.5	0.3	0.2	0.2	13.7	38.8	2.3
	ahamo	1072	4.0	10.4	1.2	3.5	0.9	5.0	3.5	0.9	1.4	1.4	0.7	2.1	0.6	1.3	2.8	2.1	6.0	0.2	0.4	0.8	0.2	10.2	38.4	1.9
	au	309	4.5	11.3	2.6	2.3	1.6	10.7	3.2	0.3	1.6	0.3	0.6	0.3	0.6	1.9	1.0	1.3	2.3	0.3	1.0	0.0	0.0	14.6	36.2	1.0
	povo	363	1.9	12.7	2.5	4.4	0.6	3.9	3.9	1.1	1.4	0.8	0.6	2.8	0.6	1.1	1.7	1.1	7.4	0.6	0.0	0.6	0.6	12.1	34.4	3.6
	ソフトバンク	438	1.8	9.8	2.7	1.6	1.4	8.7	4.1	1.8	0.9	0.7	0.9	1.6	0.7	0.5	0.0	0.5	5.0	0.2	0.2	0.9	0.0	12.8	41.8	1.4
	LINEMO	197	3.0	11.7	1.0	2.0	2.0	4.6	5.1	1.5	1.5	1.0	1.5	0.0	1.0	2.5	2.0	1.0	4.6	0.0	1.0	0.5	0.0	13.2	36.0	3.0
	楽天モバイル	1145	1.9	7.9	2.6	1.8	0.7	2.6	1.9	1.6	0.9	0.6	0.4	3.0	2.0	13.1	1.1	0.5	4.5	0.8	0.3	0.5	0.1	18.4	28.1	4.5
	ワイモバイル	477	2.7	8.6	0.4	1.5	1.3	6.9	1.3	0.8	2.3	1.0	1.0	2.9	0.0	1.0	0.6	1.0	5.2	0.2	0.6	0.6	0.0	17.4	38.4	4.0
	UQモバイル	471	0.8	8.1	2.1	2.3	0.4	4.2	3.8	0.6	1.5	0.0	1.7	2.1	0.8	1.3	1.9	1.1	6.4	0.6	0.2	0.2	0.2	17.4	39.3	2.8
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	71	7.0	1.4	2.8	2.8	2.8	8.5	1.4	1.4	1.4	1.4	4.2	2.8	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.7	40.8	5.6
	イオンモバイル(イオンリテール)	65	4.6	10.8	1.5	10.8	1.5	6.2	4.6	0.0	1.5	1.5	3.1	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	38.5	1.5
	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	135	3.0	7.4	2.2	1.5	3.7	5.9	0.7	1.5	0.0	0.7	0.7	0.0	0.7	0.7	1.5	0.0	4.4	1.5	0.0	1.5	0.7	11.9	47.4	2.2
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	48	0.0	10.4	0.0	10.4	0.0	6.3	10.4	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	6.3	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	39.6	6.3
	DMMmobile(楽天モバイル)	52	7.7	5.8	0.0	0.0	1.9	3.8	3.8	0.0	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0	5.8	5.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	7.7	50.0	0.0
	NifMo(ニフティ)	11	18.2	9.1	9.1	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0
BIGLOBEモバイル(ビッグローブ)	24	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	8.3	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	12.5	54.2	4.2	
mineo(オブテージ)	86	2.3	3.5	2.3	1.2	1.2	8.1	2.3	1.2	0.0	1.2	0.0	1.2	2.3	1.2	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	48.8	5.8	
LINEモバイル	78	5.1	9.0	3.8	3.8	0.0	9.0	1.3	2.6	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	1.3	2.6	0.0	9.0	47.4	0.0	
その他	339	1.2	10.3	0.6	0.0	1.5	4.1	2.1	0.3	1.5	0.9	0.0	0.9	0.0	1.2	0.0	0.6	1.5	1.2	0.0	1.2	0.9	10.9	50.4	8.8	

サブ端末に係る変更先として回答したサービスに現時点で切り替えない理由(最も当てはまるもの)

		該当数	サブ利用(3台目以降)の回線として利用している	サービスの内容をよく知らないから	身近で契約できる場所がないから	契約の仕方がわからないから	初期費用が高いから	月額利用料金が高いから	トータルのコストが高いから	電話料金を安く抑えるためには、電話の際に専用のアプリを利用しなければならず面倒くさいから	都合の良い料金体系がないから	料金プランがわかりにくいから	割引やキャッシュバックがないから	固定通信やインターネット接続サービスなどのセット契約、セット割引が利用できなくなるから	通信速度が遅いと思うから	通信品質に不安があるから	アフターサービスやサポートに不安があるから	設定が難しそうだから	メールアドレスを変更したくないから	利用可能な端末に魅力を感じないから	端末にSIMロックがかかっておりそのまま端末を利用できないから	魅力的なサービスがないから	ブランドイメージが良くないから	通信会社を変更するのが面倒だから	現在利用しているサービスに満足しているから	その他
全体		3007	4.9	7.4	3.2	2.8	1.9	4.6	3.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.6	0.7	2.5	0.8	1.0	3.5	0.5	0.3	0.7	0.2	10.9	41.4	3.3
現在利用している携帯電話番号が変わった場合のサブ端末(サブ端末)が利用	NTTドコモ	287	6.6	6.6	3.8	1.0	1.4	10.5	5.2	1.0	1.7	1.7	1.4	1.4	0.0	0.3	0.7	0.0	3.1	0.3	0.3	1.0	0.0	7.0	43.2	1.4
	ahamo	518	6.8	9.5	2.5	3.7	0.6	3.7	3.1	1.9	0.8	1.2	1.5	0.6	1.2	0.8	1.5	2.3	4.8	0.6	0.0	0.8	0.2	8.7	42.5	1.0
	au	139	6.5	10.1	4.3	6.5	2.9	6.5	3.6	1.4	2.9	1.4	1.4	0.7	0.0	1.4	0.7	0.7	3.6	0.0	0.0	0.7	0.7	10.8	32.4	0.7
	povo	163	5.5	8.6	3.7	3.1	0.6	0.6	4.3	1.8	1.8	2.5	3.1	1.8	0.0	0.6	1.2	0.6	3.7	0.6	0.6	0.6	0.0	8.6	43.6	2.5
	ソフトバンク	223	4.0	9.4	3.1	2.2	5.8	9.0	3.6	2.2	0.9	0.4	0.0	0.9	0.9	0.0	0.4	0.0	3.1	0.4	0.4	0.4	0.0	12.1	39.5	0.9
	LINEMO	101	5.9	11.9	5.9	2.0	4.0	5.0	5.0	0.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	2.0	0.0	0.0	6.9	0.0	1.0	0.0	1.0	9.9	30.7	1.0
	楽天モバイル	496	4.2	6.3	4.2	2.6	1.6	2.0	2.2	1.2	0.6	1.0	0.8	3.2	1.8	10.3	1.0	1.0	3.0	0.4	0.2	0.8	0.4	15.5	33.9	1.6
	ワイモバイル	238	6.7	5.9	2.5	2.9	1.7	5.0	1.7	0.8	1.3	1.7	1.7	2.1	0.0	1.3	0.0	1.7	3.8	0.8	0.4	0.4	0.0	15.1	39.5	2.9
	UQモバイル	197	1.5	11.2	2.5	3.6	1.5	3.6	1.5	0.5	1.0	0.5	1.5	2.0	0.5	1.5	0.5	1.0	4.1	0.0	0.5	0.0	0.0	16.8	42.6	1.5
	IIJmio(インターネットイニシアティブ)	54	7.4	1.9	5.6	1.9	1.9	5.6	3.7	1.9	0.0	1.9	0.0	1.9	0.0	1.9	1.9	0.0	3.7	0.0	0.0	1.9	0.0	9.3	46.3	1.9
	イオンモバイル(イオンリテール)	44	6.8	4.5	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	2.3	2.3	4.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	36.4	0.0
	OCNモバイルONE(NTTコミュニケーションズ)	80	3.8	6.3	2.5	2.5	1.3	5.0	2.5	0.0	3.8	1.3	1.3	2.5	1.3	1.3	1.3	0.0	5.0	3.8	0.0	0.0	0.0	11.3	43.8	0.0
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	29	0.0	13.8	0.0	3.4	3.4	6.9	3.4	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4	0.0	3.4	3.4	0.0	6.9	3.4	0.0	3.4	0.0	0.0	34.5	3.4
	DMMmobile(楽天モバイル)	32	6.3	6.3	0.0	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	6.3	62.5	0.0
NifMo(ニフティ)	6	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
BIGLOBEモバイル(ビッグロブ)	26	3.8	3.8	0.0	0.0	3.8	7.7	0.0	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	69.2	0.0	
mineo(オプテージ)	47	2.1	2.1	0.0	0.0	2.1	6.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	8.5	0.0	2.1	0.0	0.0	8.5	59.6	2.1	
LINEモバイル	51	3.9	2.0	3.9	5.9	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	58.8	2.0	
その他	276	1.1	2.9	1.4	0.7	1.4	2.5	3.6	0.0	1.1	0.0	0.4	0.7	0.4	0.4	1.1	0.0	1.1	0.4	0.0	1.4	0.4	8.3	49.6	21.4	

**② 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響
（重点的検証項目）**

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、携帯電話サービスの契約を何らかに変更したかについて確認した結果、回答者全体では「**特に変更しなかった**」との回答が**81.7%**(昨年度:81.4%)と大多数を占めている。「特に変更しなかった」との回答について、世帯年収への影響別(新型コロナウイルス感染症の拡大により世帯年収が減少したか否か)にみると、**世帯年収が減少した回答者では73.1%**(昨年度:75.3%)、**世帯年収が増加した回答者では66.7%**(昨年度:63.6%)、**世帯年収が変化しなかった回答者では85.4%**(昨年度:84.6%)となっている。
- 携帯電話サービスの契約を何らかに変更したという回答者においては、「**携帯電話の通話利用が増加したため、通話料金プランを変更した**」、「**家計支出が変化したため、安い料金プランに変更した**」との回答が一定程度みられた。

	全体	減少した	変わらない	増加した	その他・わからない
該当数	6000	1563	3940	192	305
携帯電話の通話利用が増加したため、通話料金プランを変更した	4.1	6.3	3.1	8.3	3.3
携帯電話の通話利用が増加したため、他の携帯会社へ乗り換えた	2.2	3.7	1.7	3.1	0.7
テザリングが行えるようオプションに加入した	1.7	2.2	1.4	3.1	1.3
テザリングが行えるよう他の携帯会社へ乗り換えた	1.5	2.6	1.2	1.6	0.7
テザリングオプションを解約した	1.2	1.4	1.1	3.1	0.3
携帯電話のデータ通信利用が増加したため、データ通信プランを変更した	2.9	4.5	2.1	6.8	2.6
携帯電話のデータ通信利用が増加したため、他の携帯会社へ乗り換えた	1.9	2.5	1.6	5.2	0.7
自宅のWi-Fiを利用することにより携帯電話のデータ通信利用が減少したため、安い料金プランに変更した	2.9	4.7	2.2	4.7	1.6
自宅のWi-Fiを利用することにより携帯電話のデータ通信利用が減少したため、他の携帯会社へ乗り換えた	1.6	1.7	1.5	3.6	0.7
サブ(2台目)の携帯電話サービスを契約した	1.3	2.2	0.8	4.2	0.3
家計支出が変化したため、安い料金プランに変更した	3.6	6.8	2.4	4.7	2.6
家計支出が変化したため、他の携帯会社へ乗り換えた	1.2	2.0	0.8	3.6	0.7
家計支出が変化したため、サブ(2台目)の携帯電話サービスを解約した	0.5	0.8	0.3	2.1	0.3
その他	0.4	0.6	0.3	0.5	0.3
特に変更しなかった	81.7	73.1	85.4	66.7	86.9

- また、世帯年収への影響の度合い別にみると、世帯年収が2割以上～3割未満減少した回答者や、5割以上減少した回答者においては、「家計支出が変化したため、安い料金プランに変更した」と回答した者の割合が約1割にのぼっている。

	世帯年収が減少した						世帯年収が増加した					
	1割未満	1割以上～2割未満	2割以上～3割未満	3割以上～4割未満	4割以上～5割未満	5割以上	1割未満	1割以上～2割未満	2割以上～3割未満	3割以上～4割未満	4割以上～5割未満	5割以上
該当数	353	608	324	125	49	104	58	67	37	15	3	12
携帯電話の通話利用が増加したため、通話料金プランを変更した	6.2	7.1	5.2	6.4	4.1	5.8	6.9	10.4	2.7	13.3	0.0	16.7
携帯電話の通話利用が増加したため、他の携帯会社へ乗り換えた	4.2	3.9	4.0	1.6	0.0	3.8	1.7	1.5	2.7	13.3	0.0	8.3
テザリングが行えるようオプションに加入した	0.8	2.8	3.1	1.6	2.0	1.9	0.0	1.5	2.7	13.3	0.0	16.7
テザリングが行えるよう他の携帯会社へ乗り換えた	2.0	2.1	4.0	2.4	2.0	2.9	0.0	0.0	2.7	6.7	0.0	8.3
テザリングオプションを解約した	0.8	1.2	3.4	0.0	0.0	1.0	1.7	0.0	5.4	13.3	0.0	8.3
携帯電話のデータ通信利用が増加したため、データ通信プランを変更した	3.7	4.3	4.9	6.4	0.0	6.7	3.4	7.5	2.7	20.0	33.3	8.3
携帯電話のデータ通信利用が増加したため、他の携帯会社へ乗り換えた	1.1	3.1	3.4	3.2	0.0	1.0	0.0	4.5	2.7	26.7	0.0	16.7
自宅のWi-Fiを利用することにより携帯電話のデータ通信利用が減少したため、安い料金プランに変更した	2.5	5.4	6.5	1.6	6.1	4.8	1.7	0.0	13.5	6.7	0.0	16.7
自宅のWi-Fiを利用することにより携帯電話のデータ通信利用が減少したため、他の携帯会社へ乗り換えた	0.8	1.8	2.2	0.0	6.1	1.9	1.7	0.0	10.8	6.7	0.0	8.3
サブ(2台目)の携帯電話サービスを契約した	1.4	2.3	2.8	1.6	4.1	1.9	3.4	4.5	0.0	13.3	0.0	8.3
家計支出が変化したため、安い料金プランに変更した	5.1	6.7	9.3	3.2	8.2	9.6	3.4	6.0	2.7	6.7	0.0	8.3
家計支出が変化したため、他の携帯会社へ乗り換えた	2.0	1.6	1.9	4.0	2.0	1.9	3.4	4.5	0.0	6.7	0.0	8.3
家計支出が変化したため、サブ(2台目)の携帯電話サービスを解約した	0.6	0.8	0.0	0.8	2.0	3.8	0.0	1.5	0.0	6.7	0.0	16.7
その他	0.6	0.8	0.3	0.0	0.0	1.9	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特に変更しなかった	76.8	71.9	68.8	78.4	77.6	73.1	72.4	71.6	62.2	33.3	66.7	66.7

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、携帯電話サービスに関する認識・行動等において、何らかの変化が生じたかについて確認した結果、回答者全体では「特に変化はなかった」との回答が76.3%(昨年度:73.4%)と大多数を占めている。「特に変化はなかった」との回答について、世帯年収への影響別にみると、世帯年収が減少した回答者では66.2%(昨年度:64.0%)、世帯年収が増加した回答者では57.3%(昨年度:59.3%)、世帯年収が変化しなかった回答者では80.6%(昨年度:77.8%)となっている。
- 携帯電話サービスに関する認識・行動等において何らかの変化が生じたという回答者においては、「以前よりも携帯電話でインターネット等を利用する時間が増加した」との回答が最も多く、「以前よりも通信速度といった通信品質を重視するようになった」との回答が一定程度みられた。

	全体	減少した	変わらない	増加した	わ か ら な い ・ そ の 他
該当数	6000	1563	3940	192	305
以前よりも通信速度といった通信品質を重視するようになった	6.5	9.3	5.3	10.9	4.9
以前よりも通信速度といった通信品質を重視しなくなった	1.8	3.1	1.2	2.6	2.0
以前よりも携帯電話で通話する時間が増加した	4.9	6.9	4.2	6.8	2.0
以前よりも携帯電話で通話する時間が減少した	3.0	4.6	2.3	4.7	1.6
以前よりも携帯電話でインターネット等を利用する時間が増加した	11.6	18.2	8.9	21.9	6.6
以前よりも携帯電話でインターネット等を利用する時間が減少した	1.3	2.1	1.0	2.1	0.7
以前よりも5Gサービスへの興味・関心が高まった	3.0	4.7	2.3	7.3	1.6
以前よりも5Gサービスへの興味・関心が薄まった	0.5	0.7	0.4	1.0	0.0
その他	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3
特に変化はなかった	76.3	66.2	80.6	57.3	84.9

- また、世帯年収への影響の度合い別にみると、世帯年収の減少又は増加度合いが大きくなるほど携帯電話サービスに関する認識・行動等において何らかの変化が生じた割合が高くなるという傾向はみられなかったものの、世帯年収が1割以上減少した回答者や世帯年収が増加した回答者においては、「以前よりも携帯電話でインターネット等を利用する時間が増加した」と回答した者の割合が約2割にのぼり、世帯年収が1割以上増加した回答者においては、「以前よりも通信速度といった通信品質を重視するようになった」と回答した者の割合が約1割にのぼっている。

	世帯年収が減少した						世帯年収が増加した					
	1割未満	1割以上 ～ 2割未満	2割以上 ～ 3割未満	3割以上 ～ 4割未満	4割以上 ～ 5割未満	5割以上	1割未満	1割以上 ～ 2割未満	2割以上 ～ 3割未満	3割以上 ～ 4割未満	4割以上 ～ 5割未満	5割以上
該当数	353	608	324	125	49	104	58	67	37	15	3	12
以前よりも通信速度といった通信品質を重視するようになった	9.3	9.0	11.7	4.8	12.2	7.7	6.9	14.9	10.8	6.7	33.3	8.3
以前よりも通信速度といった通信品質を重視しなくなった	3.4	3.1	2.8	4.0	0.0	2.9	3.4	1.5	2.7	6.7	0.0	0.0
以前よりも携帯電話で通話する時間が増加した	5.4	8.2	8.0	4.0	4.1	5.8	6.9	3.0	5.4	13.3	0.0	25.0
以前よりも携帯電話で通話する時間が減少した	4.0	4.4	5.6	3.2	8.2	4.8	5.2	1.5	8.1	13.3	0.0	0.0
以前よりも携帯電話でインターネット等を利用する時間が増加した	14.7	18.1	21.3	20.0	22.4	17.3	20.7	20.9	18.9	40.0	0.0	25.0
以前よりも携帯電話でインターネット等を利用する時間が減少した	1.1	2.3	2.8	2.4	0.0	2.9	3.4	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0
以前よりも5Gサービスへの興味・関心が高まった	3.1	5.6	7.1	2.4	0.0	2.9	5.2	6.0	5.4	13.3	0.0	25.0
以前よりも5Gサービスへの興味・関心が薄まった	0.8	0.3	0.6	0.0	2.0	2.9	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	8.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特に変化はなかった	70.0	66.6	60.2	68.8	63.3	68.3	60.3	59.7	54.1	40.0	66.7	58.3

出所: 2021年度利用者アンケート(市場検証会議)

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、固定インターネットサービスの契約を何らかに変更したかについて確認した結果、回答者全体では「**特に変更はなかった**」との回答が**85.7%**(昨年度:88.6%)と大多数を占めている。「特に変更はなかった」との回答について、世帯年収への影響別(新型コロナウイルス感染症の拡大により世帯年収が減少したか否か)にみると、**世帯年収が減少した回答者では80.9%**(昨年度:85.1%)、**世帯年収が増加した回答者では74.2%**(昨年度:73.1%)、**世帯年収が変化しなかった回答者では87.8%**(昨年度:90.4%)となっている。
- 固定インターネットサービスの契約を何らかに変更したという回答者においては、「**通信容量や安定した通信速度を確保するため、新たに固定インターネットサービスを契約した**」、「**固定インターネットのデータ通信量が増加したり、より速い通信速度が必要になったため、固定インターネットサービスの同一事業者のより高速のプランに変更した**」との回答が一定程度みられた一方、「**家計支出が変化したため、固定インターネットサービスを解約した**」との回答は限定的であった。

	全体	減少した	変わらない	増加した	その他・わからない
該当数	5700	1488	3752	182	278
通信容量や安定した通信速度を確保するため、新たに固定インターネットサービスを契約した。	6.5	9.3	5.5	9.3	2.9
固定インターネットのデータ通信量が増加したり、より速い通信速度が必要になったため、固定インターネットサービスの同一事業者のより高速のプランに変更した。	5.5	7.6	4.5	12.6	2.2
固定インターネットのデータ通信量が増加したり、より速い通信速度が必要になったため、固定インターネットサービスの事業者を変更した。	3.4	4.5	2.8	8.2	2.5
家計支出が変化したため、固定インターネットサービスを解約した。	1.0	1.7	0.7	1.6	0.7
その他	0.2	0.4	0.1	0.5	1.1
特に変更はなかった。	85.7	80.9	87.8	74.2	91.4

- また、世帯年収への影響の度合い別にみると、世帯年収が2割以上～3割未満減少した回答者においては、「新たに固定インターネットサービスを契約した」、「同一事業者のより高速のプランに変更した」と回答した者の割合がいずれも1割を超えている。

	世帯年収が減少した						世帯年収が増加した					
	1割未満	1割以上～2割未満	2割以上～3割未満	3割以上～4割未満	4割以上～5割未満	5割以上	1割未満	1割以上～2割未満	2割以上～3割未満	3割以上～4割未満	4割以上～5割未満	5割以上
該当数	337	584	310	113	47	97	55	64	34	15	3	11
通信容量や安定した通信速度を確保するため、新たに固定インターネットサービスを契約した。	8.3	9.4	12.6	3.5	10.6	7.2	5.5	10.9	2.9	20.0	0.0	27.3
固定インターネットのデータ通信量が増加したり、より速い通信速度が必要になったため、固定インターネットサービスの同一事業者のより高速のプランに変更した。	5.0	7.5	10.3	11.5	2.1	6.2	7.3	10.9	17.6	33.3	0.0	9.1
固定インターネットのデータ通信量が増加したり、より速い通信速度が必要になったため、固定インターネットサービスの事業者を変更した。	2.4	4.3	8.1	4.4	0.0	4.1	3.6	4.7	2.9	46.7	0.0	18.2
家計支出が変化したため、固定インターネットサービスを解約した。	1.2	1.5	2.3	0.9	2.1	3.1	1.8	0.0	0.0	6.7	33.3	0.0
その他	0.9	0.3	0.0	0.0	0.0	1.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特に変更はなかった。	84.0	80.3	74.8	84.1	89.4	85.6	80.0	81.3	76.5	33.3	66.7	54.5

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、固定インターネットサービスに関する認識・行動等において、何らかの変化が生じたかについて確認した結果、回答者全体では「特に変化はなかった」との回答が77.6%(昨年度:76.8%)と大多数を占めた。「特に変化はなかった」との回答について、世帯年収への影響別にみると、世帯年収が減少した回答者では69.2%(昨年度:68.7%)、世帯年収が増加した回答者では64.8%(昨年度:66.7%)、世帯年収が変化しなかった回答者では80.9%(昨年度80.3%)となっている。
- 固定インターネットサービスに関する認識・行動等において何らかの変化が生じたという回答者においては、「以前よりも固定インターネットを利用する時間が増加した」との回答が最も多く、「以前よりも通信速度といった通信品質を重視するようになった」、「以前よりも固定インターネットで大容量の通信を行う機会(動画配信サービスの利用など)が増加した」との回答が一定程度みられた。

	全体	減少した	変わらない	増加した	その他・わからない
該当数	5700	1488	3752	182	278
以前よりも通信速度といった通信品質を重視するようになった。	10.1	14.9	8.2	12.6	7.6
以前よりも通信速度といった通信品質を重視しなくなった。	2.1	3.0	1.8	2.2	0.7
以前よりも固定インターネットを利用する時間が増加した。	11.2	16.8	9.0	17.0	6.8
以前よりも固定インターネットを利用する時間が減少した。	1.8	1.9	1.7	6.6	0.7
以前よりも固定インターネットで大容量の通信を行う機会(動画配信サービスの利用など)が増加した。	5.6	8.0	4.7	7.7	5.0
以前よりも固定インターネットで大容量の通信を行う機会(動画配信サービスの利用など)が減少した。	0.3	0.3	0.3	1.1	0.0
その他	0.1	0.2	0.1	0.0	0.4
特に変化はなかった。	77.6	69.2	80.9	64.8	85.6

- また、世帯年収への影響の度合い別にみると、世帯年収が2割以上～4割未満減少した回答者においては、「以前よりも固定インターネットを利用する時間が増加した」と回答した者の割合が2割を超えており、世帯年収が1割以上～3割未満減少した回答者においては、「以前よりも通信速度といった通信品質を重視するようになった」と回答した者の割合が約15%にのぼっている。

	世帯年収が減少した						世帯年収が増加した					
	1割未満	1割以上～2割未満	2割以上～3割未満	3割以上～4割未満	4割以上～5割未満	5割以上	1割未満	1割以上～2割未満	2割以上～3割未満	3割以上～4割未満	4割以上～5割未満	5割以上
該当数	337	584	310	113	47	97	55	64	34	15	3	11
以前よりも通信速度といった通信品質を重視するようになった。	14.2	15.6	16.8	12.4	10.6	11.3	7.3	15.6	5.9	20.0	0.0	36.4
以前よりも通信速度といった通信品質を重視しなくなった。	2.4	4.8	1.0	4.4	0.0	1.0	1.8	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0
以前よりも固定インターネットを利用する時間が増加した。	13.6	14.9	23.5	21.2	8.5	16.5	23.6	14.1	11.8	13.3	33.3	18.2
以前よりも固定インターネットを利用する時間が減少した。	1.2	1.0	3.5	4.4	0.0	3.1	3.6	3.1	8.8	26.7	33.3	0.0
以前よりも固定インターネットで大容量の通信を行う機会(動画配信サービスの利用など)が増加した。	4.5	7.7	11.0	10.6	4.3	11.3	3.6	9.4	2.9	26.7	0.0	9.1
以前よりも固定インターネットで大容量の通信を行う機会(動画配信サービスの利用など)が減少した。	0.3	0.2	0.6	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	9.1
その他	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特に変化はなかった。	72.4	69.7	61.9	67.3	83.0	74.2	67.3	68.8	70.6	40.0	33.3	54.5

- 事業者アンケートを通じて、新型コロナウイルス感染症による事業への影響を確認したところ、**影響が生じているとする回答及び生じていないとする回答のいずれも、それぞれ多数みられた。**
- 新型コロナウイルス感染症によって事業に何らかの影響が生じたとの回答については、以下のとおり整理・分類できる。

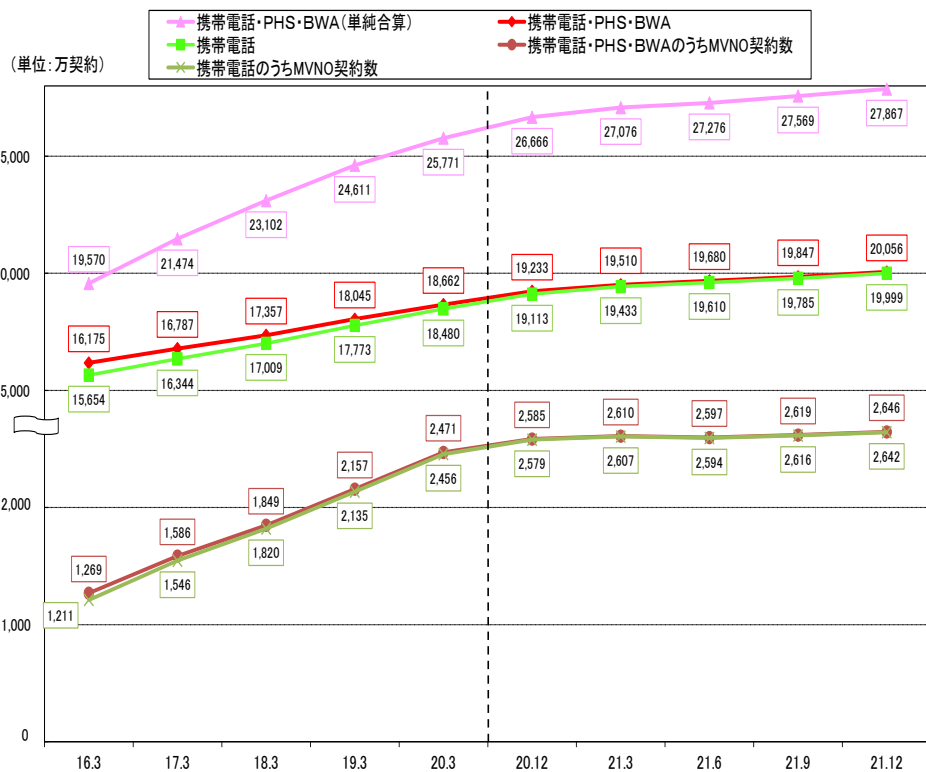
固定系通信における需要の変化	<ul style="list-style-type: none"> － テレワークや遠隔学習などの増加に伴い、固定系通信への需要が増大し、トラヒックも増大した。 － 観光業向け等について、通信サービスの需要が減少している。
移動系通信における需要の変化	<ul style="list-style-type: none"> － 訪日外国人や技能実習生向けのプリペイドSIMカードの需要や、飲食業界等の店舗向けのサービスへの需要が大幅に減少した。 － テレワークの増加に伴い、自宅における通話利用も増え、携帯電話サービスへの需要も増大した。
固定系通信・移動系通信における供給面での変化	<ul style="list-style-type: none"> － 世界的な半導体不足により、端末機器の納入遅れが生じている。 － 回線工事について、工期が長期化している。
営業活動・業績・競争状況への影響	<ul style="list-style-type: none"> － 店舗の休業・営業時間の短縮や、顧客への訪問が困難になることにより、営業活動に影響が生じている。 － カスタマーセンター(コールセンター)の運営に影響が生じている。 － 営業活動に生じた影響を通じて、損益に影響が生じた。 － 競争状況への影響については、同業他社への影響も同様と考えており、変化は少ないと想定。 － 営業活動に影響は生じたものの、競争への著しい阻害要因とはなっていない。

- 固定系通信や移動系通信の分野において、**需要が増大又は減少する影響が生じたとする回答**がみられた。しかしながら、実際のところ、**各事業者のシェアが大きく変動している事実はない。**
- また、営業活動や業績、競争状況に関しては、**営業活動への影響**が生じ、それを通じて**業績に影響**が生じたとする回答がみられた一方で、**そうした影響は、同業他社も同様**であるため、競争状況への影響は限定である又は影響はないとする回答がみられた。
- このように、利用者における通信サービスの利用意向等の変化を通じて、**固定系通信や移動系通信の需要に一定程度の影響**は生じているものの、**当該影響は各事業者に共通していることから、事業者のシェアに影響を及ぼしておらず、競争状況に大きな変化は生じていないものと考えられる。**

③ 移動系通信市場

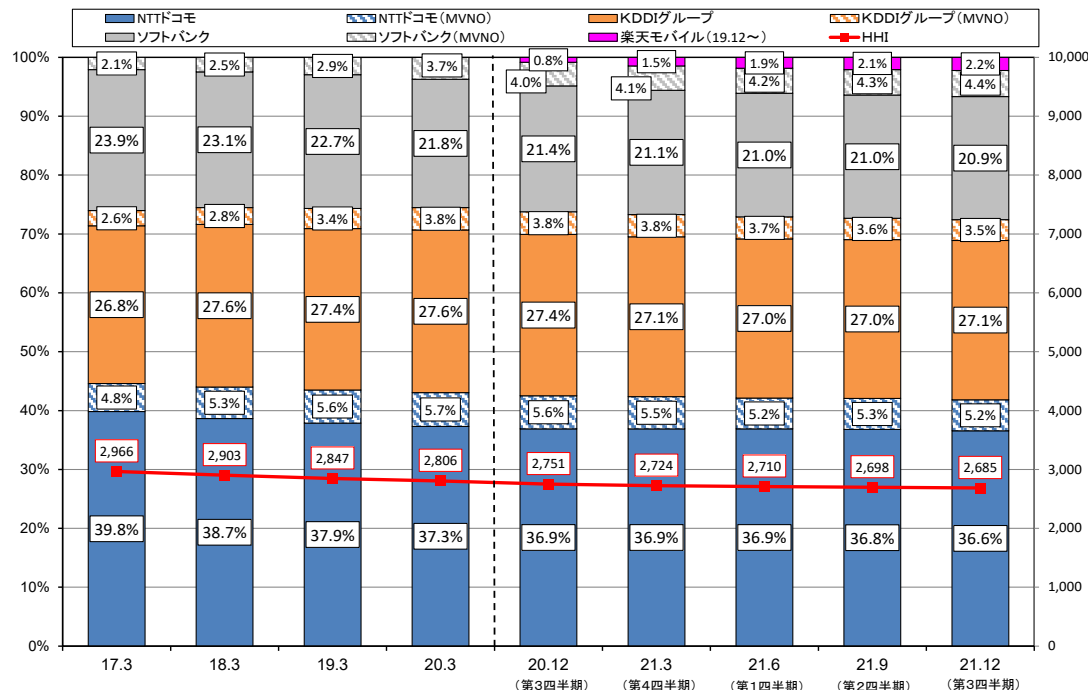
- 2021年12月末時点における**移動系通信の契約数**は、**2億56万**（前期比+1.1%、前年同期比+4.3%）、**携帯電話の契約数**は、**1億9,999万**（前期比+1.1%、前年同期比+4.6%）となっている。
- **MNO4グループ及びMVNO別の移動系通信市場におけるシェアの分布**（2021年12月末）は以下のとおり。
 - **NTTドコモ**が**36.6%**（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.3ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると**41.8%**）
 - **KDDIグループ**が**27.1%**（前期比+0.1ポイント、前年同期比▲0.3ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると**30.6%**）
 - **ソフトバンク**が**20.9%**（前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.5ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると**25.3%**）
 - **楽天モバイル**が**2.2%**（前期比+0.2ポイント、前年同期比+1.4ポイント）
 - **MVNO**が**13.2%**（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.2ポイント）

【移動系通信の契約数の推移】



注:MNOからの報告を基に作成。

【移動系通信市場におけるシェア及び市場集中度の推移】



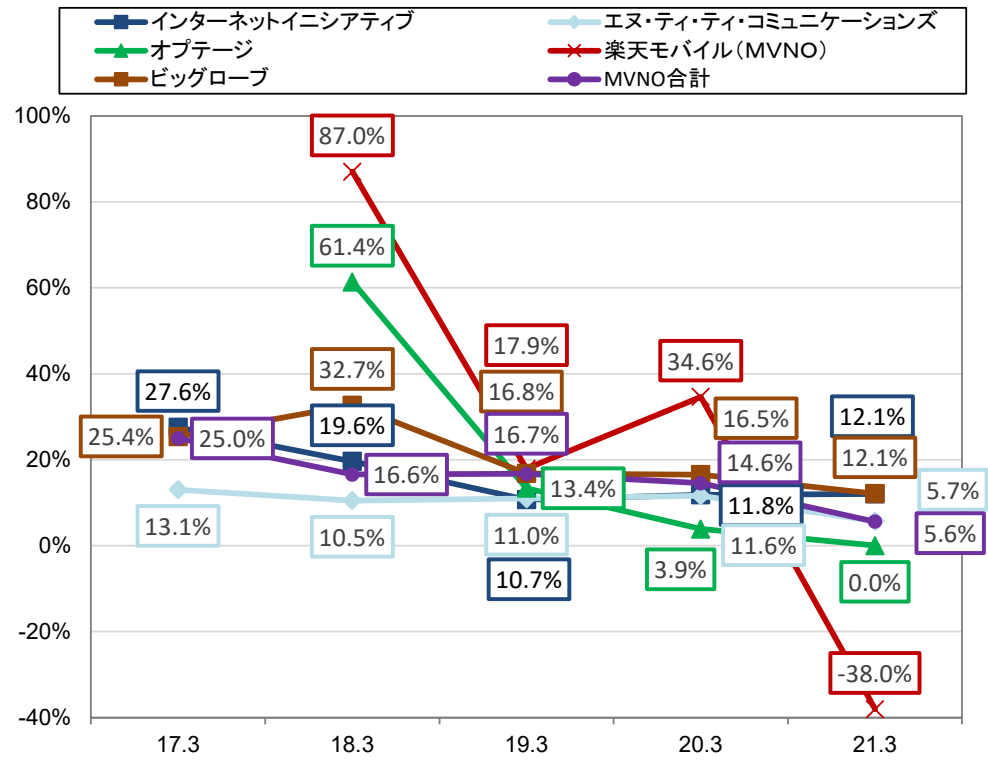
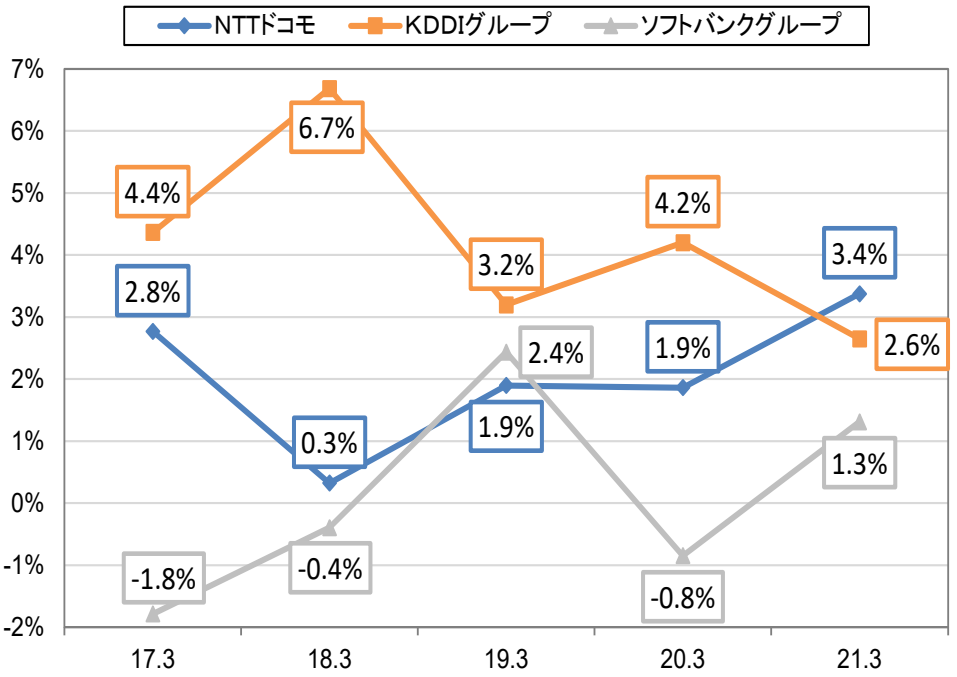
注1:「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズが含まれる。
 注2: MVNOのシェアを提供元のMNOグループごとに合算し、当該MNOグループ名の後に「(MVNO)」と付記して示している。
 注3: 楽天モバイルが提供するMVNOサービスは、「NTTドコモ(MVNO)」及び「KDDIグループ(MVNO)」に含まれる。
 注4: HHIはMVNOのシェアを全て合算して算出している。

出所:電気通信事業報告規則に基づく報告

移動系通信の契約数の増減率の推移

- 2020年度末時点における主要各社の移動系通信の契約数の増減率(対前年度末比)をみると、
 - ・ 楽天モバイルを除くMNO3グループの中では、NTTドコモの増加率が最も大きく(+3.4%)、次いでKDDIグループ(+2.6%)、ソフトバンク(+1.3%)の順となっている。
 - ・ MVNO合計については、増加率は減少しているものの、全体としてはMNO3グループよりも高い水準(+5.6%)にある。

【主要各社の移動系通信の契約数の増減率(対前年度末比)の推移】



(参考) オプテージの増減率 (17.3) : 141.9%
 楽天モバイル (MVNO) の増減率 (17.3) : 160.4%

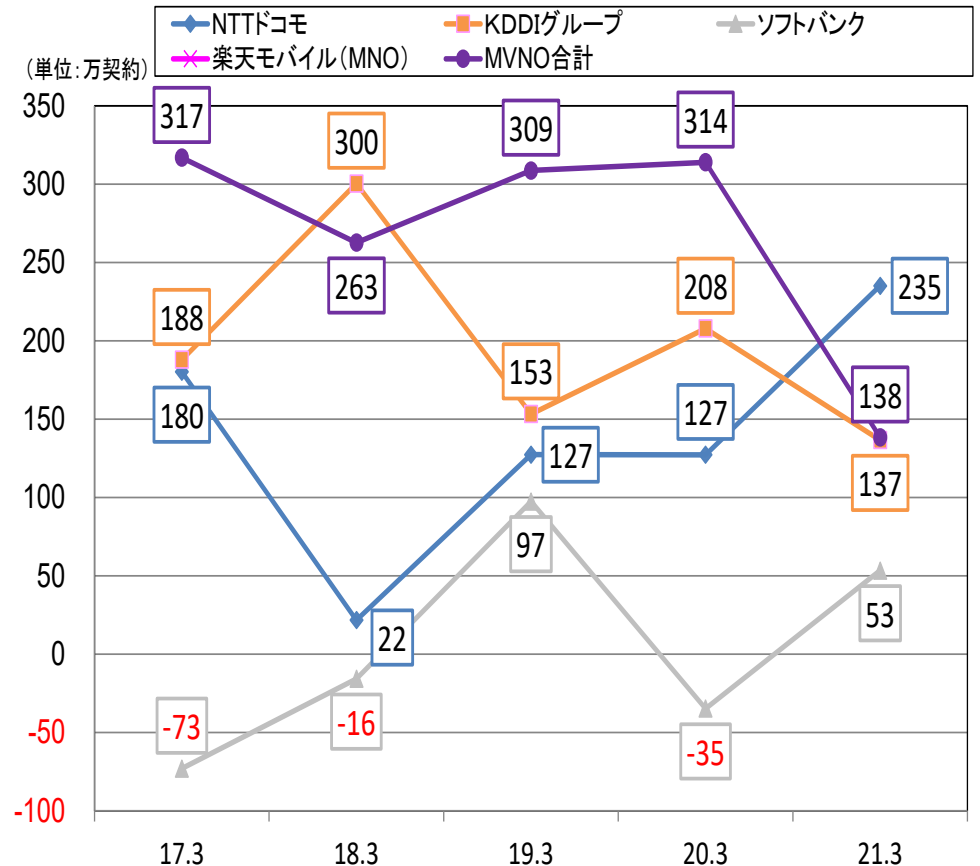
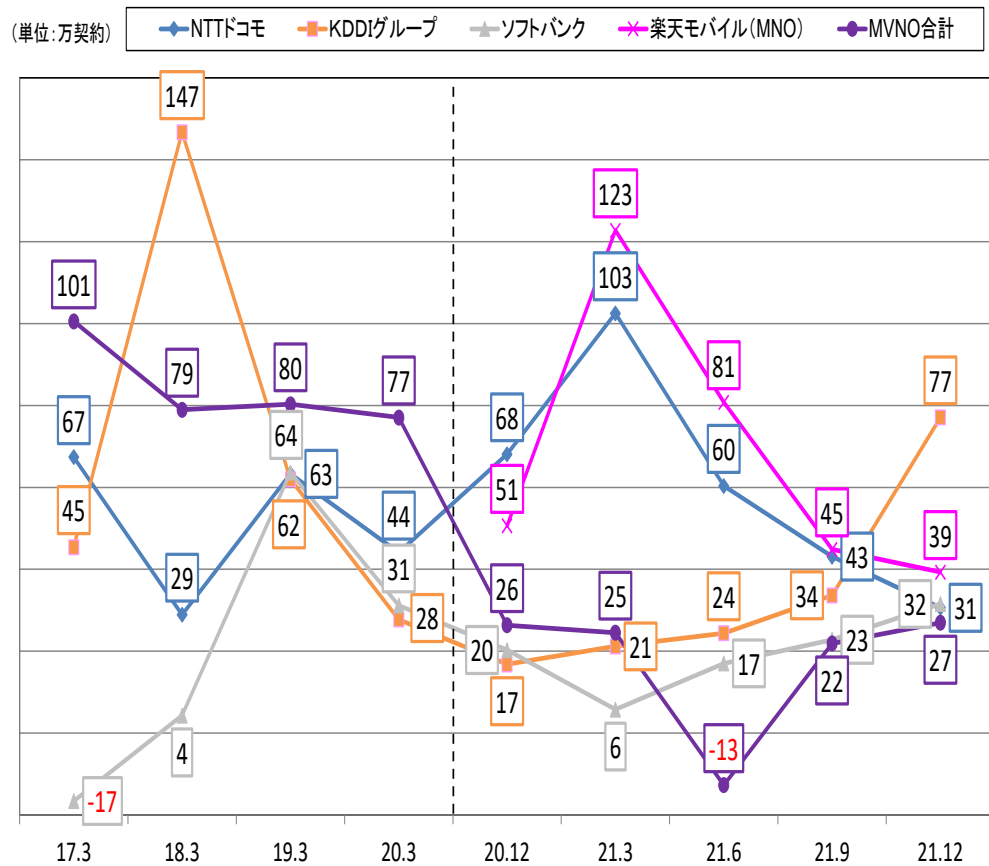
注:MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。

出所:電気通信事業報告規則に基づく報告

- 2021年12月末時点における主要各社の移動系通信の契約数の増加数・減少数(四半期単位)の推移をみると、
 - ・ MNO4グループの中では、**KDDIグループ**の増加数が最も大きく(+77万)、次いで**楽天モバイル(MNO)**(+39万)、**ソフトバンク**(+32万)、**NTTドコモ**(+31万)の順となっている。
 - ・ **MVNO合計**については、直近ではMNO4グループよりも**低い水準**(+27万)にある。

【主要各社の移動系通信の契約数の増加数・減少数(四半期単位)の推移】

【主要各社の移動系通信の契約数の増加数・減少数(年度単位)の推移】



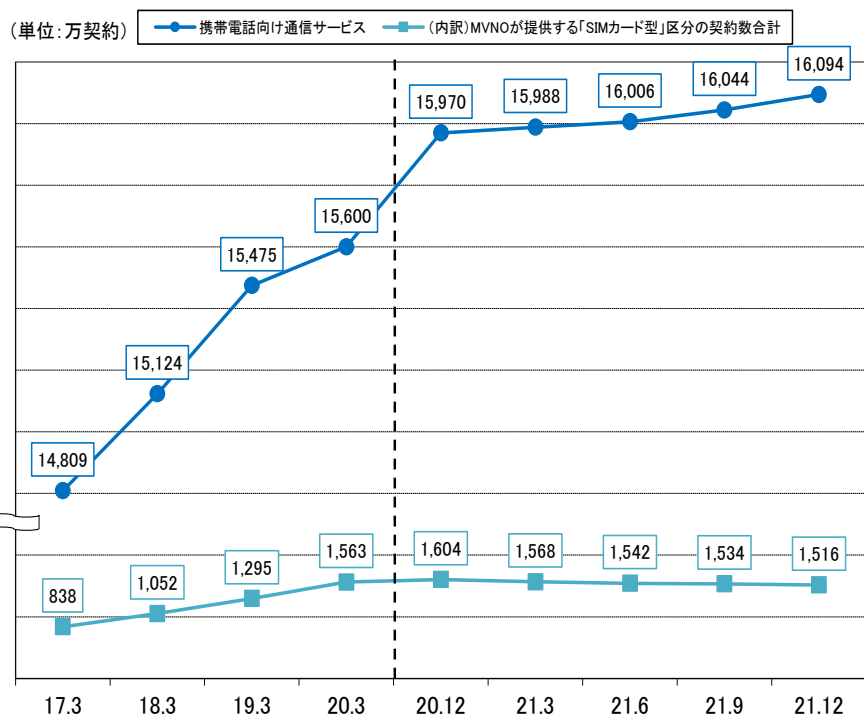
注:MNOからの報告を基に作成。

出所:電気通信事業報告規則に基づく報告

- 2021年12月末時点における携帯電話向け通信サービス※の契約数は、**1億6,094万**（前期比+0.3%、前年同期比+0.8%）となっている。
- **MNO4グループ及びMVNO別の携帯電話向け通信サービス市場におけるシェアの分布**（2021年12月末）は以下のとおり。
 - **NTTドコモが37.6%**（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.4ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると**43.9%**）
 - **KDDIグループが24.7%**（前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.9ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると**27.6%**）
 - **ソフトバンクが23.3%**（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると**25.6%**）
 - **楽天モバイルが2.8%**（前期比+0.2ポイント、前年同期比+1.8ポイント）
 - **MVNOが11.6%**（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.4ポイント）

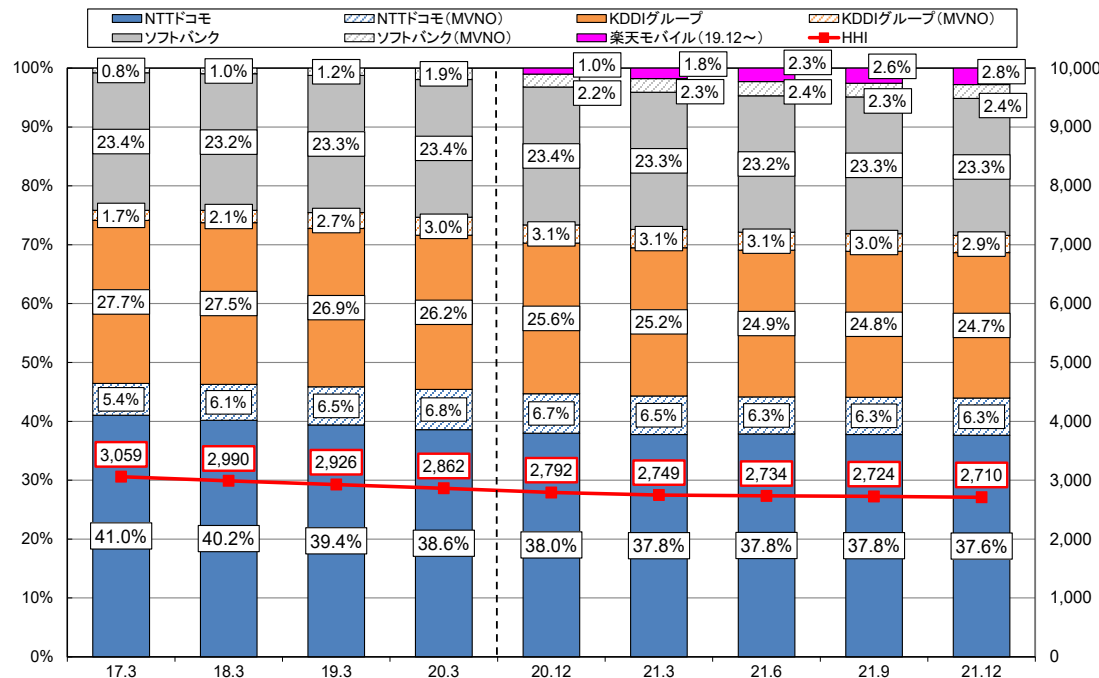
※ 携帯電話契約数から通信モジュール契約数を除いたもの

【携帯電話向け通信サービスの契約数の推移】



注: MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。

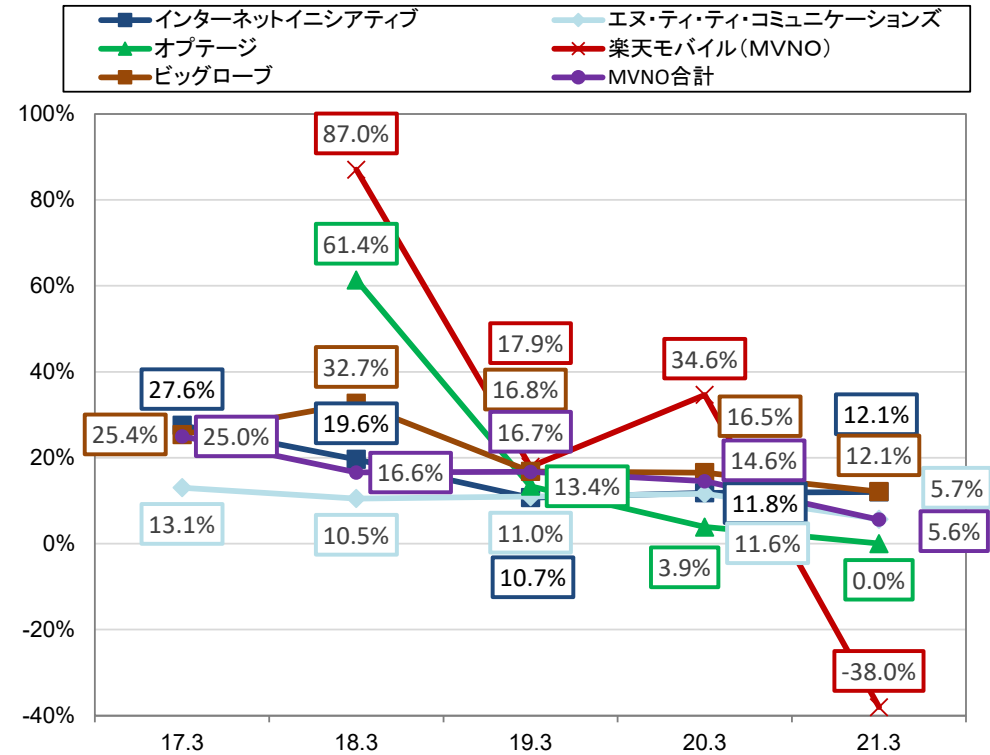
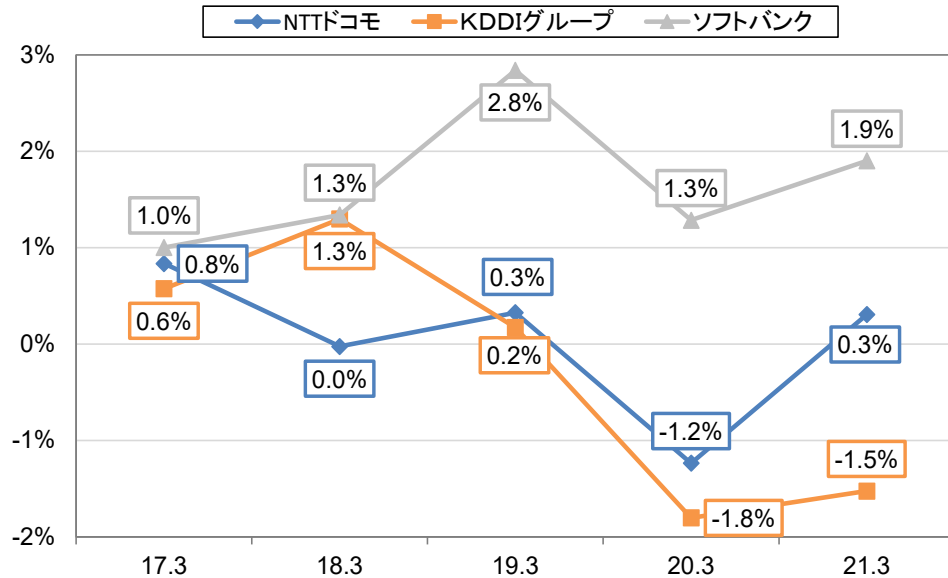
【携帯電話向け通信サービス市場におけるシェア及び市場集中度の推移】



注1: 「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズ(2020年度第2四半期まで)が含まれる。
 注2: MVNOのシェアを提供元のMNOグループごとに合算し、当該MNOグループ名の後に「(MVNO)」と付記して示している。
 注3: 楽天モバイルが提供するMVNOサービスは、「NTTドコモ(MVNO)」及び「KDDIグループ(MVNO)」に含まれる。
 注4: HHIはMVNOのシェアを全て合算して算出している。
 注5: 各社のMVNO契約数については、提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成しているため、MVNO契約数が実際よりも過少となっている可能性がある。

- 2020年度末時点における主要各社の携帯電話向け通信サービスの契約数の増減率(対前年度末比)をみると、
 - ・ 楽天モバイルを除くMNO3グループの中では、ソフトバンクの増加率が大きく(+1.9%)、次いでNTTドコモ(+0.3%)、KDDIグループ(▲1.5%)の順となっている。
 - ・ **MVNO合計**については、増加率は減少しているものの、全体としてはMNO3グループよりも**高い水準(+5.6%)**にある。

【主要各社の携帯電話向け通信サービスの契約数の増減率(対前年度末比)の推移】

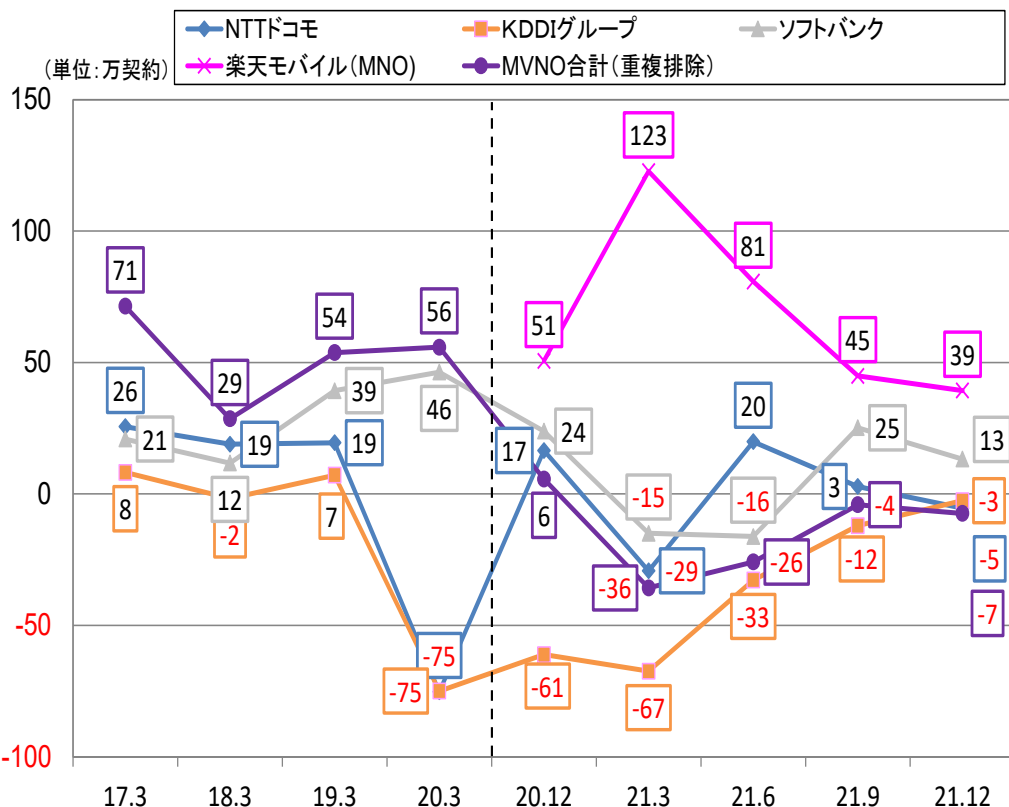


※27頁右グラフ再掲

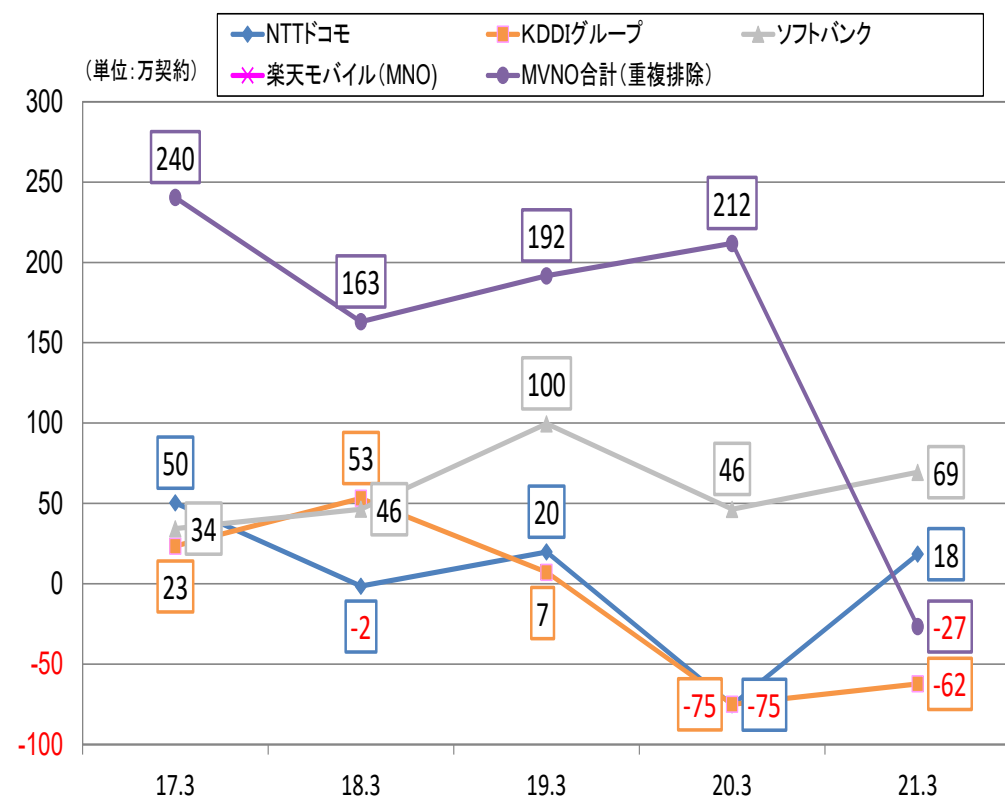
注1:MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。
 注2:そのほかの留意点については、29頁及び32頁の右グラフの注も参照。

- 2021年12月末時点における主要各社の携帯電話向け通信サービスの契約数の増加数・減少数(四半期単位)をみると、
 - ・ MNO4グループの中では、**楽天モバイル(MNO)**の増加数が最も大きく(+39万)、次いで**ソフトバンク(+13万)**、**KDDIグループ(▲3万)**、**NTTドコモ(▲5万)**の順となっている。
 - ・ **MVNO合計**については、直近ではMNO4グループよりも**低い水準(▲7万)**にある。

【主要各社の携帯電話向け通信サービスの契約数の増加数・減少数(四半期単位)の推移】



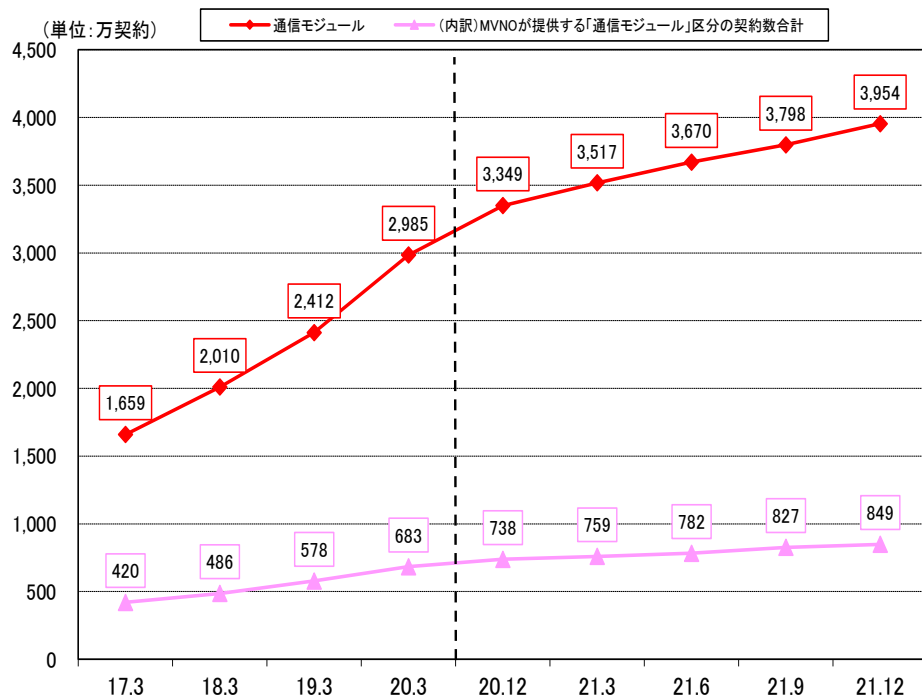
【主要各社の携帯電話向け通信サービスの契約数の増加数・減少数(年度単位)の推移】



注1: MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。
 注2: そのほかの留意点については、29頁及び32頁の右グラフの注も参照。

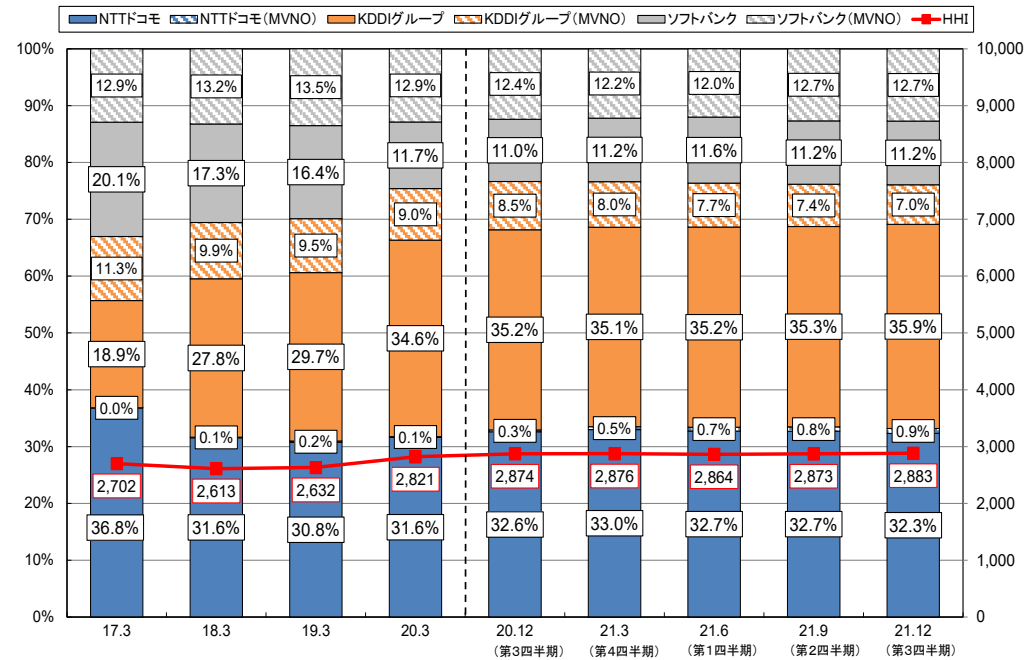
- 2021年12月末時点における**通信モジュールの契約数**は、**3,954万**（前期比+4.1%、前年同期比+18.0%）となっている。
- **MNO3グループ及びMVNO別の通信モジュール市場におけるシェアの分布**（2021年12月末）は以下のとおり。
 - **NTTドコモが32.3%**（前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲0.3ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると**33.2%**）
 - **KDDIグループが35.9%**（前期比、前年同期比とも+0.7ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると**42.9%**）
 - **ソフトバンクが11.2%**（前期比±0ポイント、前年同期比+0.2ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると**23.9%**）
 - **MVNOが20.6%**（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲0.6ポイント）

【通信モジュールの契約数の推移】



注: MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。

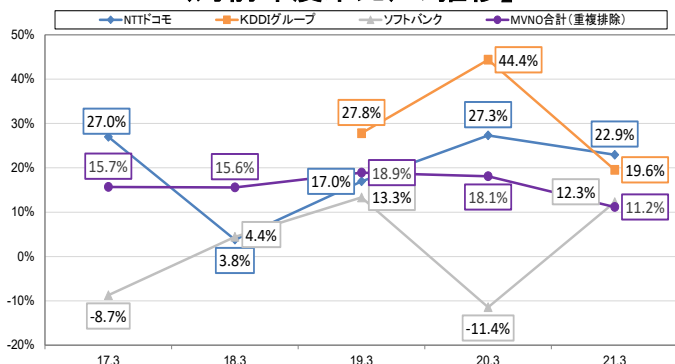
【通信モジュール市場におけるシェア及び市場集中度の推移】



- 注1: 「KDDIグループ」には、KDDI及び沖縄セルラーを含む。
- 注2: MVNOのシェアを提供元のMNOごとに合算し、当該MNO名の後に「(MVNO)」と付記して示している。
- 注3: 各社のMVNO契約数については、提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成しているため、MVNO契約数が実際よりも過少となっている可能性がある。
- 注4: 実質的にはIoT向けと考えられるものの、MVNOから「通信モジュール」ではなく「SIMカード型」として契約数の報告がなされている場合も存在する可能性があるため、MVNO契約数が実際よりも過少となっている可能性がある。
- 注5: 通信モジュールを提供するMVNOの中には、MNOと同様の形態でサービスを提供していないものも含まれている可能性がある。
- 注6: 本グラフでは、携帯電話回線を用いた通信モジュール契約数からシェアを算出している。

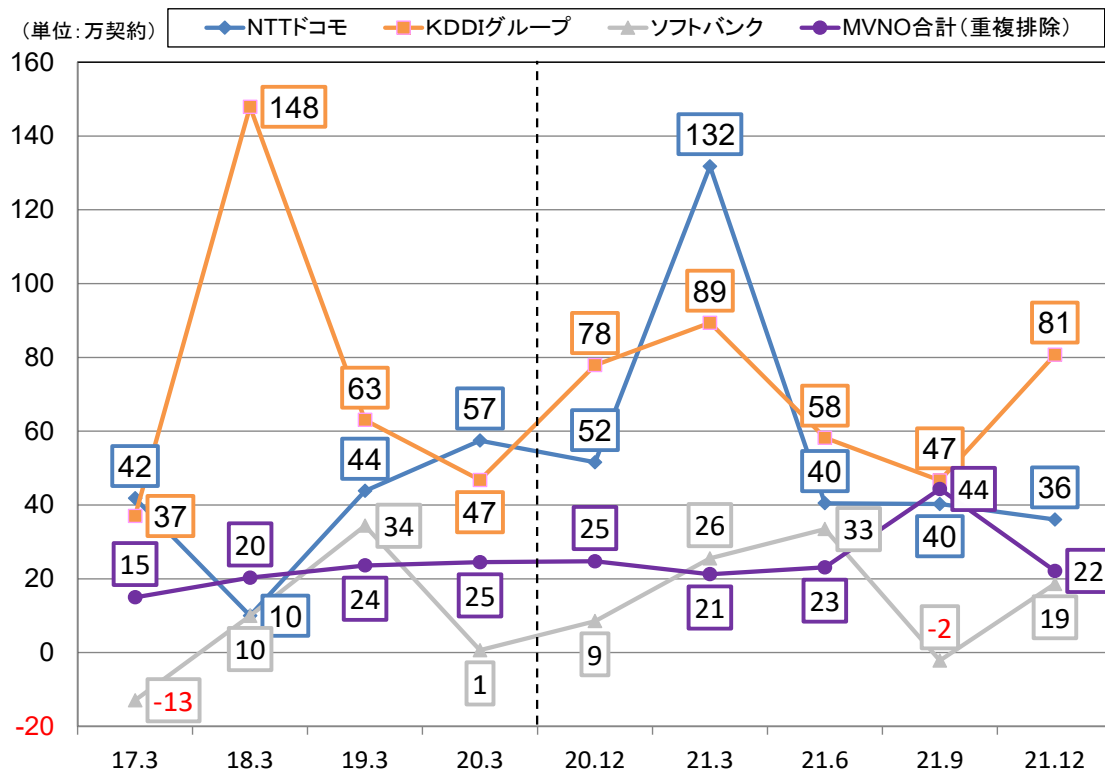
- 2020年度末時点における主要各社の**通信モジュールの契約数の増減率(対前年同期比)**をみると、MNO3グループの中では、**NTTドコモ**の増加率が最も大きく(+22.9%)、次いで**KDDIグループ**(+19.6%)、**ソフトバンク**(+12.3%)の順となっている。**MVNO合計**については、MNO3グループよりも**低い水準**(+11.2%)にある。
- 2021年12月末時点における主要各社の**携帯電話向け通信サービスの契約数の増加数・減少数(四半期単位)**をみると、**KDDIグループ**の増加数が最も大きく(+81万)、次いで**NTTドコモ**(+36万)、**MVNO合計**(+22万)、**ソフトバンク**(+19万)の順となっている。

【主要各社の通信モジュールの契約数の増減率(対前年度末比)の推移】

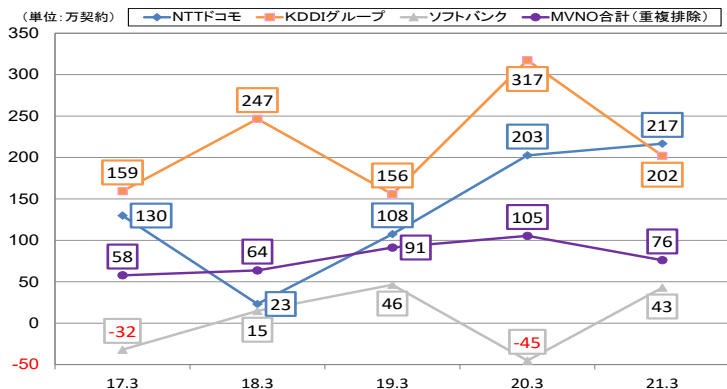


(参考) KDDIグループの増減率(17.3)、(18.3) : 103.6%、78.8%

【主要各社の通信モジュールの契約数の増加数・減少数(四半期単位)の推移】



【主要各社の通信モジュールの契約数の増加数・減少数(年度単位)の推移】

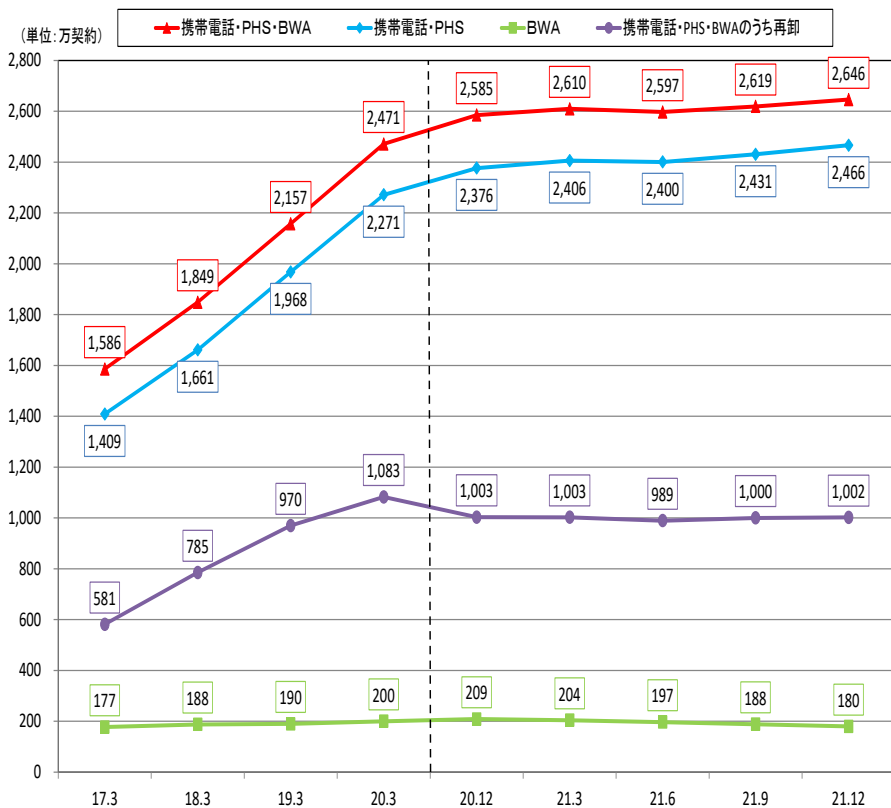


注1: MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。
 注2: そのほかの留意点については、29頁及び32頁の右グラフの注も参照。 出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

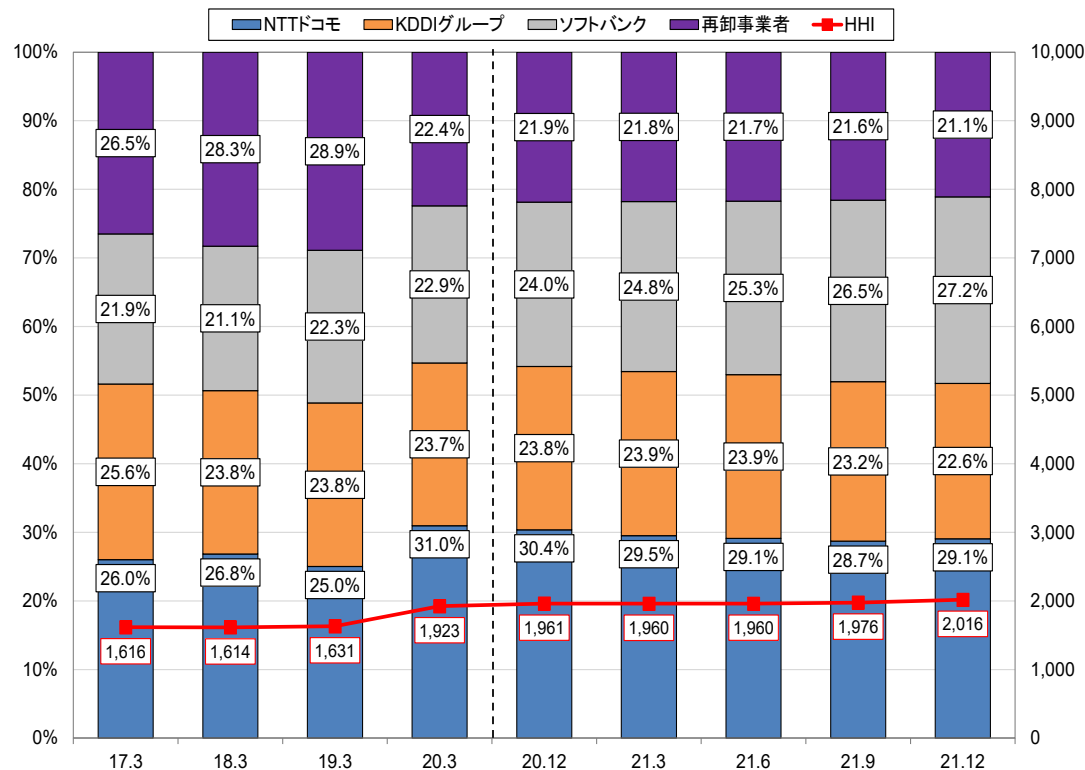
- 2021年12月末時点におけるMNOの卸契約数は**2,646万**(前期比+1.0%、前年同期比+2.3%)となっており、引き続き増加傾向にある。また、再卸事業者が提供する契約数は**1,002万**(前期比+0.2%、前年同期比▲0.1%)となっており、直近では**横ばい**となっている。
- 2021年12月末時点における**最終利用者に提供するMVNO***の卸元事業者別シェアは、NTTドコモが**29.1%**(前期比+0.4ポイント、前年同期比▲1.3ポイント)、KDDIグループが**22.6%**(前期比▲0.6ポイント、前年同期比▲1.2ポイント)、ソフトバンクが**27.2%**(前期比+0.7ポイント、前年同期比+3.2ポイント)、再卸事業者が**21.1%**(前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲0.8ポイント)となっている。HHIは**2,016**となっている。

※ 提供している契約数が3万以上のMVNO

【移動系通信の卸契約数の推移】



【最終利用者に提供するMVNOの卸元事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注1: 「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズを含む。

注2: 提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。

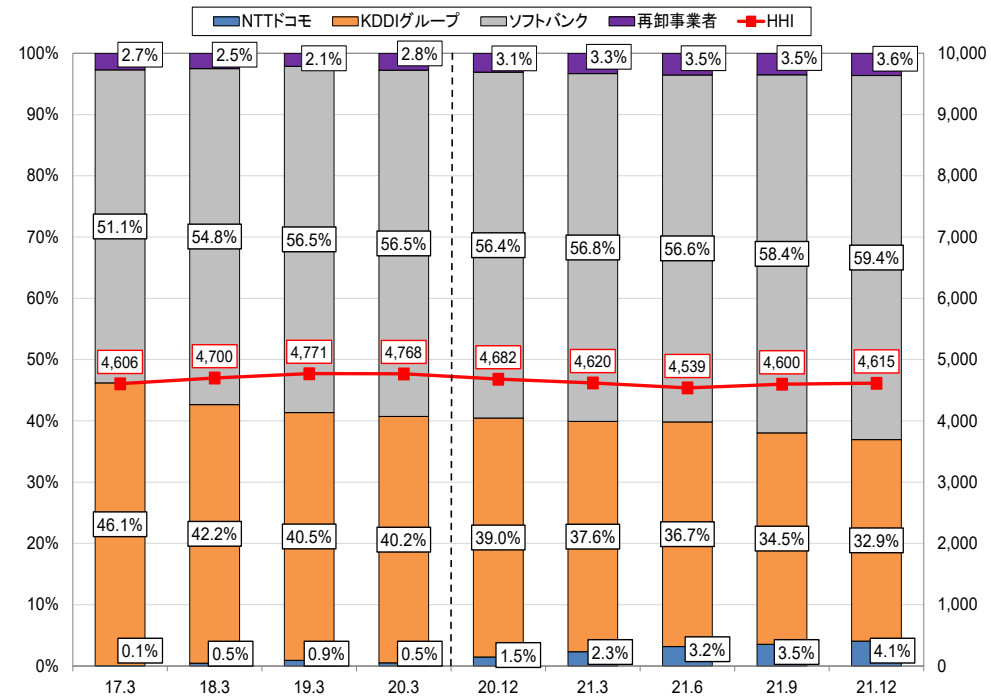
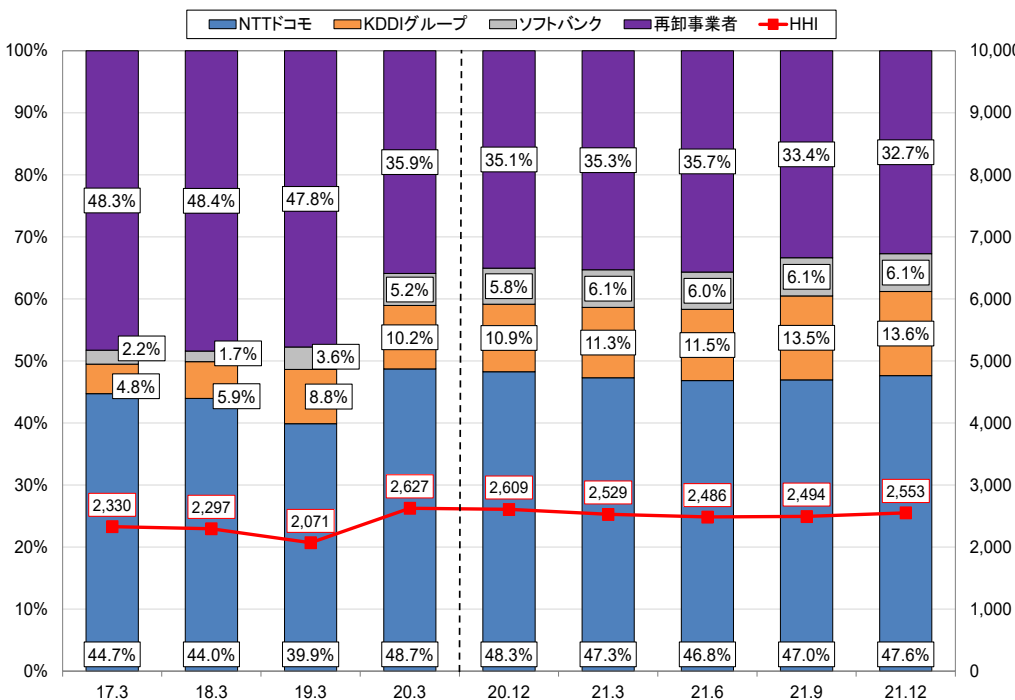
注3: MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。

- 2021年12月末時点における携帯電話向け通信サービス市場の最終利用者に提供するMVNO※の卸元事業者別シェアは、NTTドコモが**47.6%**(前期比+0.7ポイント、前年同期比▲0.6ポイント)、**KDDIグループが13.6%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+2.7ポイント)、**ソフトバンクが6.1%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比+0.3ポイント)、**再卸事業者が32.7%**(前期比▲0.6ポイント、前年同期比▲2.3ポイント)となっている。HHIは**2,553**となっている。
- 2021年12月末時点における通信モジュール市場の最終利用者に提供するMVNO※の卸元事業者別シェアは、NTTドコモが**4.1%**(前期比+0.5ポイント、前年同期比+2.6ポイント)、**KDDIグループが32.9%**(前期比▲1.6ポイント、前年同期比▲6.1ポイント)、**ソフトバンクが59.4%**(前期比+1.0ポイント、前年同期比+3.0ポイント)、**再卸事業者が3.6%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.5ポイント)となっている。HHIは**4,615**となっている。

※ 提供している契約数が3万以上のMVNO

【最終利用者に提供するMVNOの卸元事業者別シェア及び市場集中度の推移(SIMカード型)】

【最終利用者に提供するMVNOの卸元事業者別シェア及び市場集中度の推移(通信モジュール)】

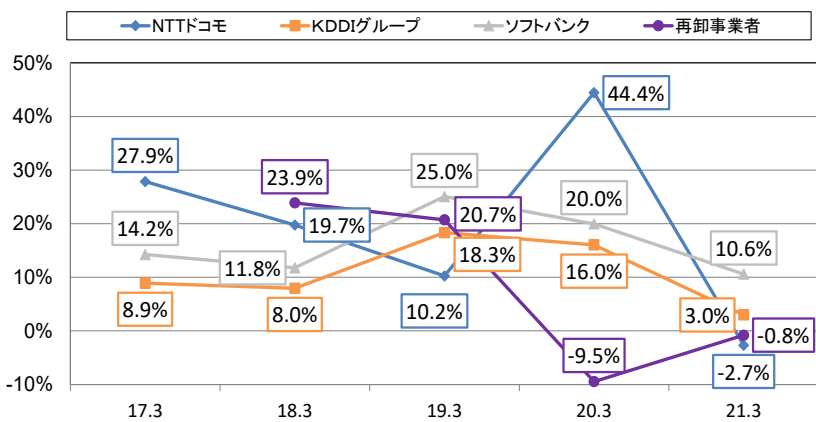


注1:「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズを含む。
 注2:提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。
 注3:MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。

注1:「KDDIグループ」には、KDDI及びUQコミュニケーションズを含む。
 注2:提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。
 注3:MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。 出所:電気通信事業報告規則に基づく報告

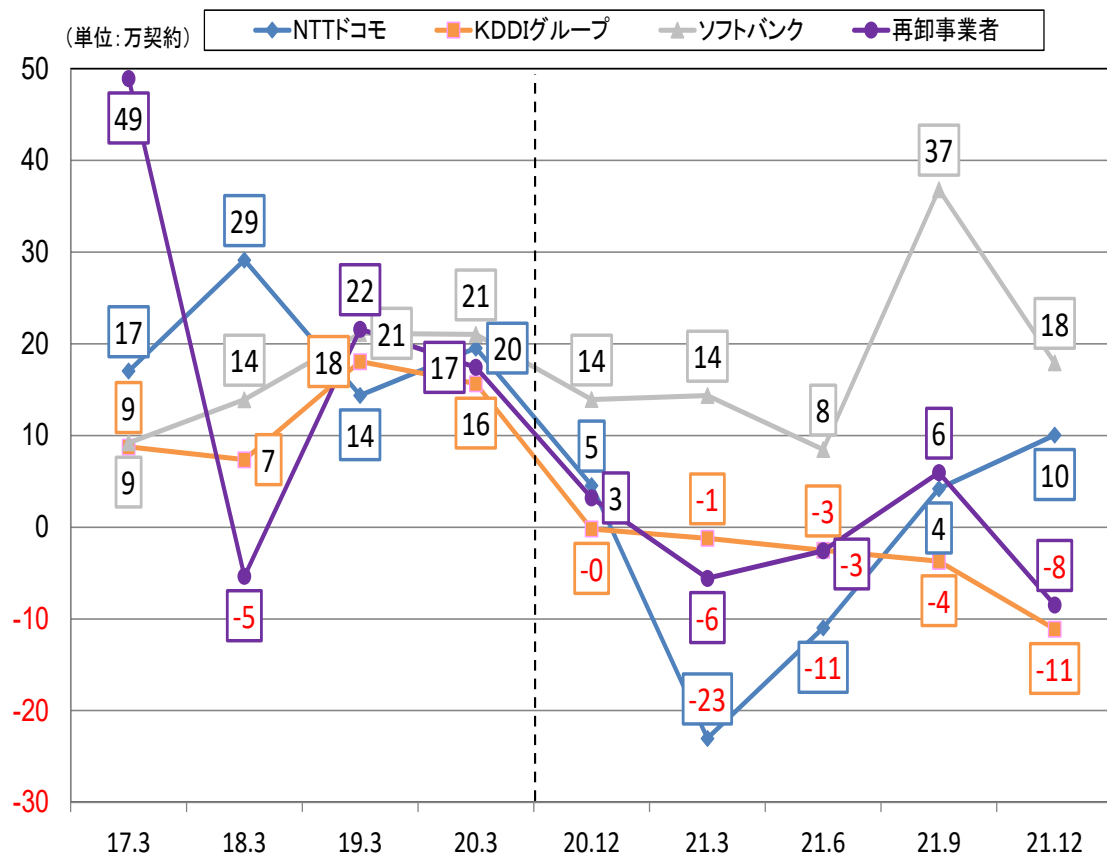
- 2020年度末時点の主要各社の卸契約数※の増減率(対前年度末比)をみると、MNO3グループの中では、ソフトバンクの増加率が最も大きく(+10.6%)、次いでKDDIグループ(+3.0%)、NTTドコモ(▲2.7%)の順となっている。再卸事業者については、直近では微減(▲0.8%)している。
※ 提供している契約数が3万以上のMVNOより報告のあった、最終利用者に提供されるMVNOへの卸契約数
- 2021年12月末時点における主要各社の卸契約数の増加数・減少数(四半期単位)をみると、ソフトバンクの増加数が最も大きく(+18万)、次いでNTTドコモ(+10万)、再卸事業者(▲8万)、KDDIグループ(▲11万)の順となっている。

【主要各社の卸契約数の増減率(対前年度末比)の推移】



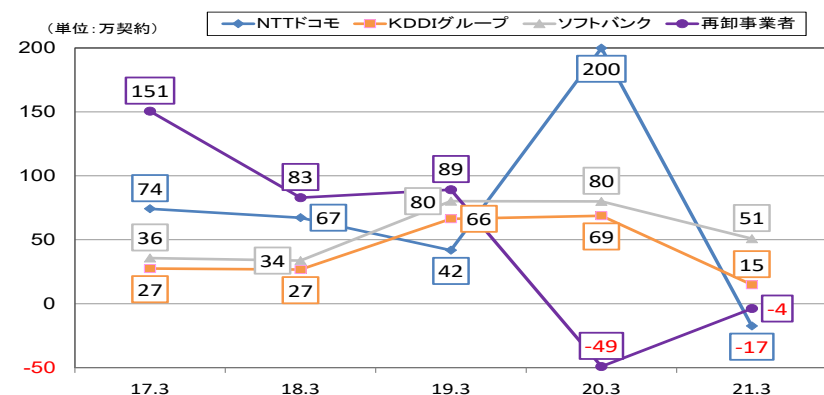
(参考) 再卸事業者の増減率 (17.3) : 76.5%

【主要各社の卸契約数の増加数・減少数(四半期単位)の推移】



注1: 提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。
 注2: MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。

【主要各社の卸契約数の増加数・減少数(年度単位)の推移】



- 10年以上同一の事業者の携帯電話サービスを継続して利用している者が**4割程度**となっている。一方、**3分の1程度**の者は、**3年未満**の継続利用年数となっており、「**比較的頻繁に事業者を変更する人**」と「**長期間同一の事業者のサービスを継続する人**」との分化がなされていることがうかがえる。
- 一方で、複数の携帯電話サービスを利用している者におけるサブ端末についてみると、**3年未満**の継続利用年数となっている者が**過半数**となっており、**新たにサービスを利用し始めた場合又はサービスを切り替えてから間もない場合が多い**ことがうかがえる。

		該当数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上
全体		6000	20.0	8.9	7.5	11.0	7.1	5.0	40.6
現在利用している携帯電話サービス(メイン端末)	NTTドコモ	1782	5.3	3.8	3.5	6.6	4.8	5.4	70.6
	ahamo	241	59.8	6.6	2.5	2.5	2.1	2.1	24.5
	au	1124	5.7	3.8	6.0	8.8	7.0	8.6	60.0
	povo	112	76.8	9.8	0.9	0.9	0.9	3.6	7.1
	ソフトバンク	735	11.2	7.1	5.4	11.7	8.3	8.2	48.2
	LINEMO	41	73.2	14.6	2.4	4.9	2.4	0.0	2.4
	楽天モバイル(MNO)	517	58.2	22.1	7.9	6.2	4.4	0.2	1.0
	ワイモバイル	560	27.7	15.7	17.7	21.8	9.6	1.1	6.4
	UQモバイル	292	42.8	18.8	13.4	18.8	4.8	0.0	1.4
	その他MVNO	596	19.8	13.4	15.6	23.2	17.3	4.5	6.2

		該当数	1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上7年未満	7年以上10年未満	10年以上
全体		3007	44.4	10.2	9.3	10.8	6.0	2.7	16.6
現在利用しているサブ端末(携帯電話)	NTTドコモ	933	38.4	6.5	8.4	9.2	5.5	2.8	29.3
	ahamo	99	64.6	14.1	5.1	8.1	1.0	2.0	5.1
	au	531	39.5	7.3	9.0	11.5	7.0	3.4	22.2
	povo	38	86.8	2.6	5.3	2.6	2.6	0.0	0.0
	ソフトバンク	400	38.5	9.5	9.5	14.3	7.5	3.5	17.3
	LINEMO	18	61.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
	楽天モバイル(MNO)	333	62.5	21.9	6.0	6.0	2.1	0.0	1.5
	ワイモバイル	239	46.9	14.6	13.0	13.8	3.3	2.9	5.4
	UQモバイル	117	51.3	12.8	14.5	10.3	4.3	0.9	6.0
	その他MVNO	1006	41.5	10.0	13.0	15.7	12.7	4.0	3.0

- 直近3年間に事業者を切り替えたことがある利用者に対し、自らが現在利用している携帯電話サービスを選択した際に選択肢となった事業者の範囲について確認した。
- メイン端末及びサブ端末のいずれについても、「現在利用中の1社のみしか検討しなかった」との回答が約4割程度となっている。**2社以上**を比較検討した回答者においては、**楽天モバイル、UQモバイル、ワイモバイル**が選択肢となったと回答した者が比較的多くみられた。
- 現在利用しているサービス別にみた場合、**MNO利用者**においては、**MNO事業者が提供するサービスが選択肢の中心**となっているものの、**MVNO事業者も一定程度選択肢として挙げられており、MVNO利用者においては、その反対の状況**がみられる。

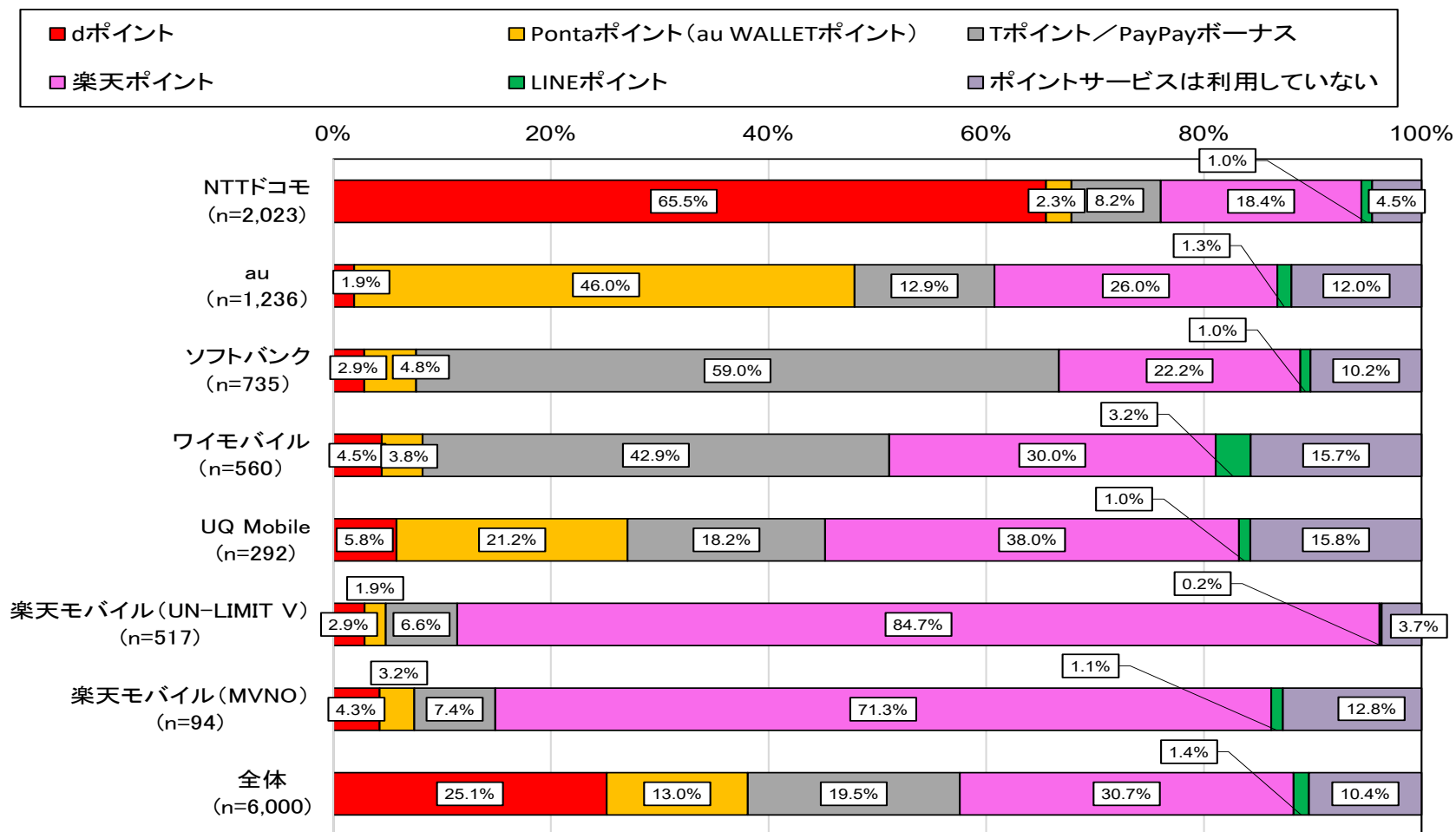
		該当数	現在の利用中の1社のみしか検討しなかった	2社以上検討した	わからない
全体		2182	38.8	44.1	17.1
現在利用している携帯電話サービス（メイン端末）	NTTドコモ	224	51.3	32.6	16.1
	ahamo	166	44.0	42.2	13.9
	au	175	38.3	37.7	24.0
	povo	98	25.5	45.9	28.6
	ソフトバンク	174	37.4	44.8	17.8
	LINEMO	37	37.8	43.2	18.9
	楽天モバイル(MNO)	456	42.5	44.1	13.4
	ワイモバイル	342	38.6	43.0	18.4
	UQモバイル	219	30.1	55.3	14.6
	その他MVNO	291	32.6	50.2	17.2

2社以上検討した回答者が挙げた他の選択肢(上位5つ)				
MVNO 17.2%	楽天モバイル 10.4%	UQモバイル 9.9%	ワイモバイル 7.0%	ソフトバンク 6.4%
MVNO 10.3%	au 6.3%	ahamo 5.4%	ソフトバンク 5.4%	UQモバイル 4.5%
NTTドコモ 9.0%	povo 8.4%	楽天モバイル 8.4%	MVNO 6.6%	LINEMO 6.0%
NTTドコモ 5.1%	MVNO 5.1%	ソフトバンク 4.6%	UQモバイル 4.0%	povo 2.9%
ahamo 20.4%	MVNO 17.3%	au 9.2%	ソフトバンク 9.2%	UQモバイル 6.1%
楽天モバイル 8.0%	MVNO 6.9%	UQモバイル 6.3%	ワイモバイル 6.3%	NTTドコモ 5.7%
ahamo 13.5%	povo 13.5%	楽天モバイル 8.1%	MVNO 8.1%	ワイモバイル 8.1%
MVNO 18.2%	UQモバイル 9.0%	ワイモバイル 6.8%	ahamo 5.0%	NTTドコモ 4.6%
UQモバイル 13.7%	MVNO 10.2%	楽天モバイル 10.2%	ソフトバンク 6.1%	au 3.8%
楽天モバイル 15.1%	ワイモバイル 12.8%	MVNO 9.1%	au 9.1%	povo 8.7%
楽天モバイル 14.4%	UQモバイル 11.3%	ワイモバイル 6.2%	LINEMO 4.1%	ahamo 3.8%

		該当数	か つ た の 現 在 利 用 中 の 1 社	2 社 以 上 検 討 し た	わ か ら な い
全体		1921	39.4	29.9	30.8
現在 利用 して いる 携 帯 電 話 サ ー ビ ス (サブ 端 末)	NTTドコモ	497	43.7	23.7	32.6
	ahamo	83	34.9	37.3	27.7
	au	297	35.4	28.6	36.0
	povo	36	19.4	50.0	30.6
	ソフトバンク	230	36.1	34.3	29.6
	LINEMO	14	28.6	57.1	14.3
	楽天モバイル(MNO)	301	48.2	27.9	23.9
	ワイモバイル	178	39.9	30.3	29.8
	UQモバイル	92	29.3	33.7	37.0
	その他MVNO	193	35.2	34.2	30.6

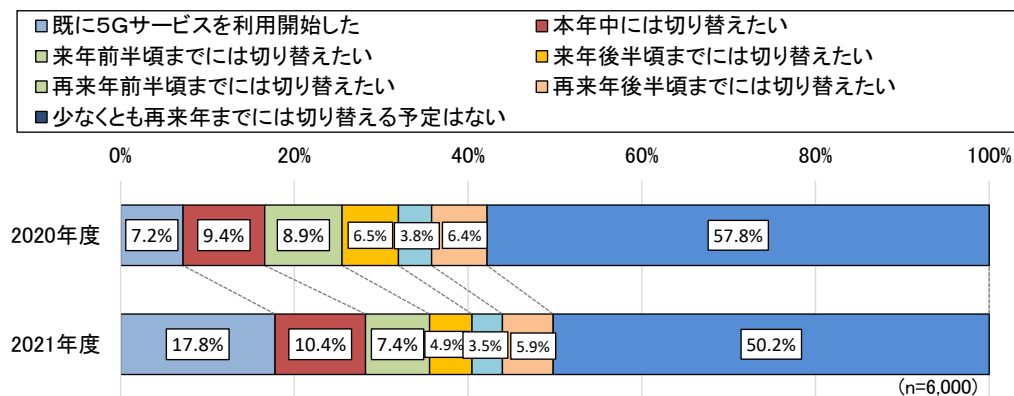
2社以上検討した回答者が挙げた 他の選択肢(上位5つ)				
au 8.9%	ahamo 6.6%	楽天モバイル 5.5%	NTTドコモ 4.8%	LINEMO 4.4%
ahamo 15.7%	au 3.4%	楽天モバイル 2.4%	ソフトバンク 2.0%	LINEMO 1.8%
MVNO 19.3%	au 12.0%	LINEMO 8.4%	楽天モバイル 4.8%	povo 3.6%
NTTドコモ 17.8%	ahamo 2.7%	povo 2.4%	ソフトバンク 2.0%	LINEMO 1.7%
au 47.2%	MVNO 19.4%	NTTドコモ 16.7%	楽天モバイル 13.9%	ahamo 11.1%
楽天モバイル 22.6%	au 8.7%	ahamo 6.1%	NTTドコモ 5.7%	LINEMO 3.0%
UQモバイル 14.3%	MVNO 14.3%	楽天モバイル 7.1%	au 7.1%	ワイモバイル 7.1%
LINEMO 12.3%	au 8.3%	ワイモバイル 5.3%	UQモバイル 4.0%	ahamo 2.7%
楽天モバイル 5.6%	LINEMO 3.4%	au 2.2%	MVNO 2.2%	povo 1.7%
ワイモバイル 16.3%	LINEMO 6.5%	au 6.5%	NTTドコモ 4.3%	楽天モバイル 2.2%
au 33.2%	ワイモバイル 5.7%	ソフトバンク 5.2%	LINEMO 2.6%	UQモバイル 2.1%

- 日頃の買い物の際に「最も」利用しているポイントサービスについては、携帯電話サービスの利用に応じて得られるポイントサービスを挙げる者が多くみられた。
- 携帯電話サービスの利用に応じて得られるポイントサービスが仮に利用できなくなった場合、携帯電話サービスの利用を継続するか否かについて確認したところ、**利用を継続しない**との回答は**16.1%**にとどまった。



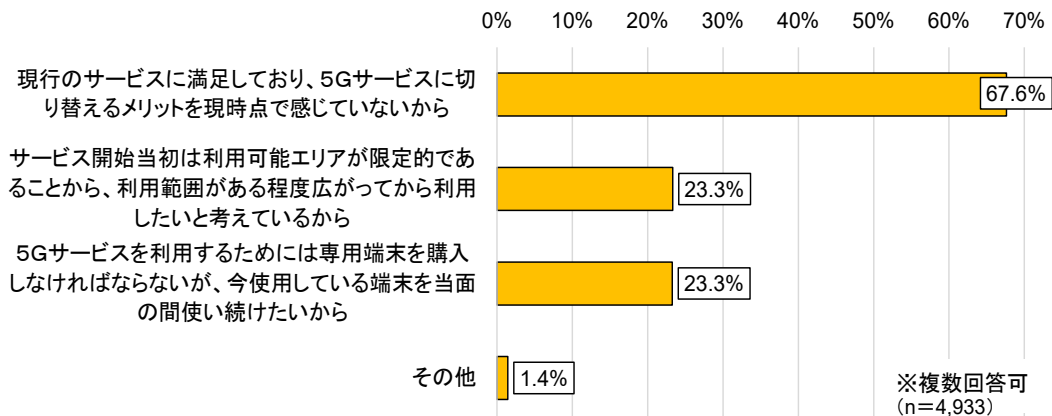
- 5Gサービスへの切り替え意向については、「既に5Gサービスを利用開始した」と回答した者は**17.8%**であり、**昨年度(7.2%)より大幅に増加した**。
- 5Gサービスにすぐに切り替えない理由としては、「**現行のサービスに満足しており、5Gサービスに切り替えるメリットを現時点で感じていないから**」を挙げる者が多かった(67.6%)。

【5Gサービスへの切り替え時期】

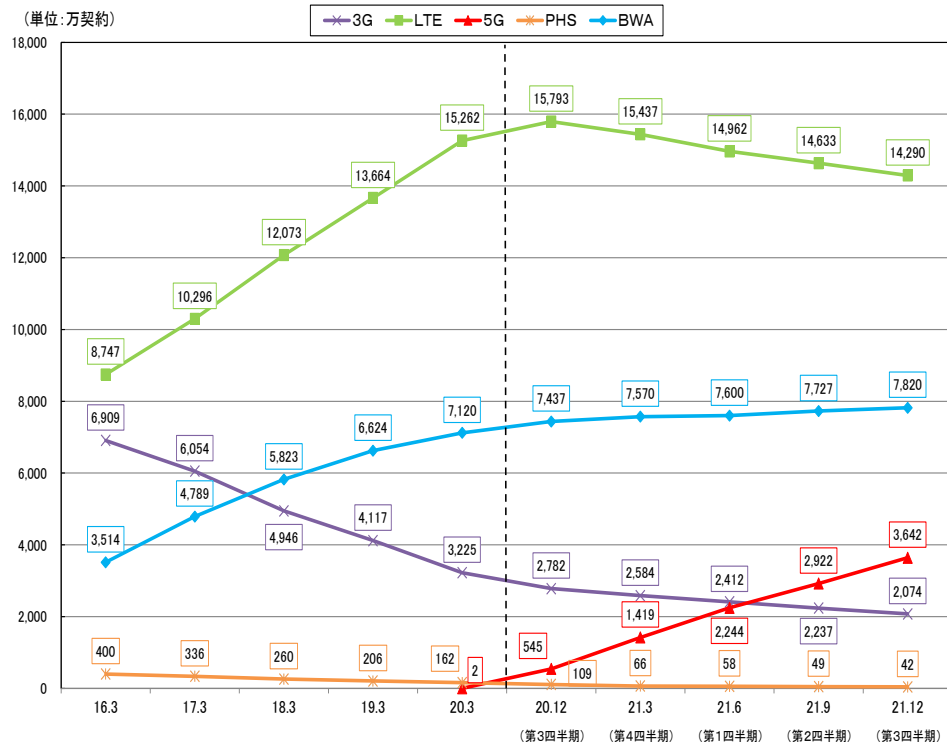


注: 2020年度調査における「本年」は2021年、2021年度調査における「本年」は2022年を指す。

【5Gに切り替えない理由】

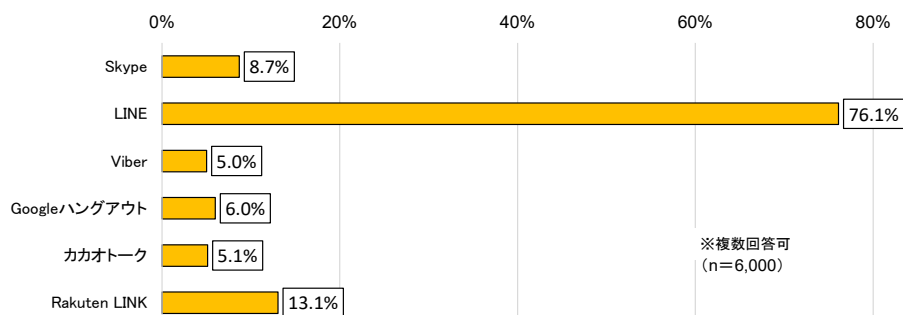


(参考) 3G・LTE・5G・PHS・BWAの各契約数の推移(単純合算)



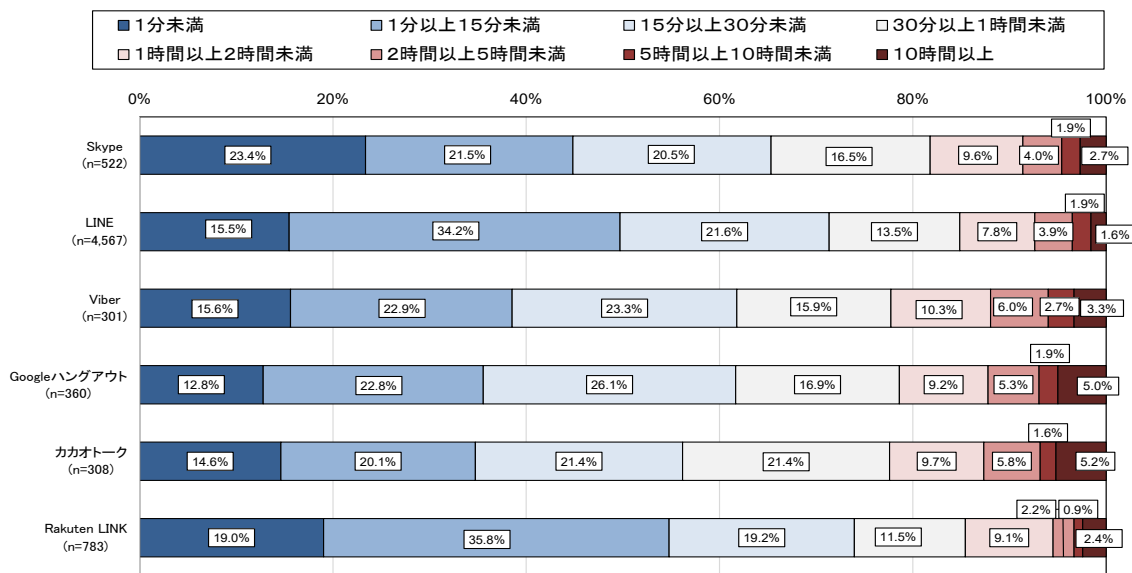
- 現在利用している音声通話アプリケーションについては、「LINE」が**76.1%**と突出していた。こうした通話アプリケーションを用いた通話の利用時間(1週間当たり)は、いずれのサービスでも、大多数が「1分未満」又は「1分以上15分未満」との回答であった。
- また、こうした音声通話アプリケーションについて、携帯電話サービスにおける通話との使い分けについて確認したところ、使い分けをしていないとの回答をした者は、いずれのサービスにおいても約1～2割に留まっており、**携帯電話サービスにおける通話と通話アプリケーションとを使い分けている**回答者が圧倒的に多かった。

【音声通話アプリ利用状況】



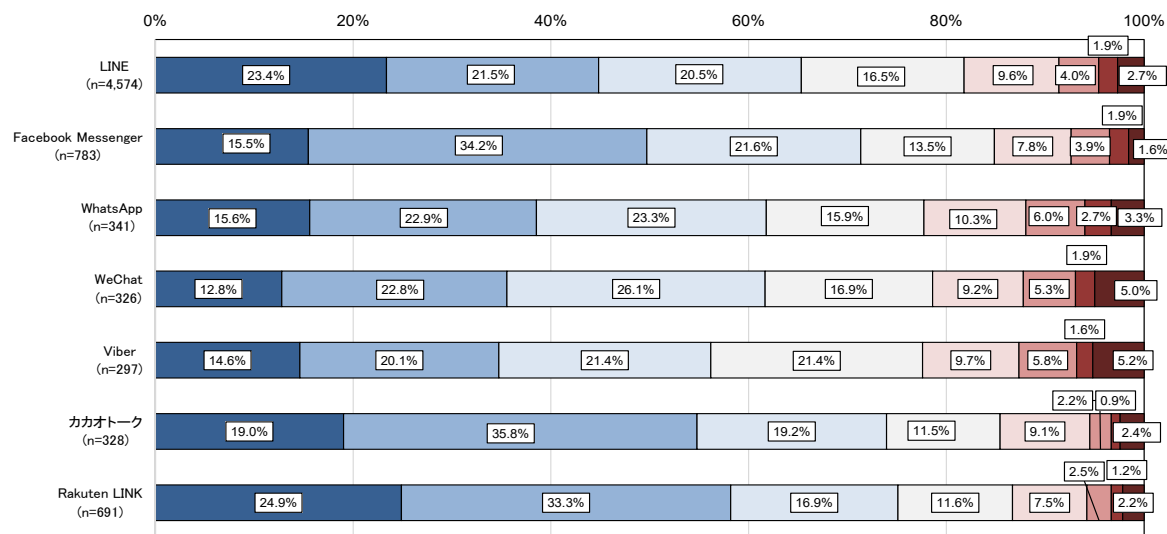
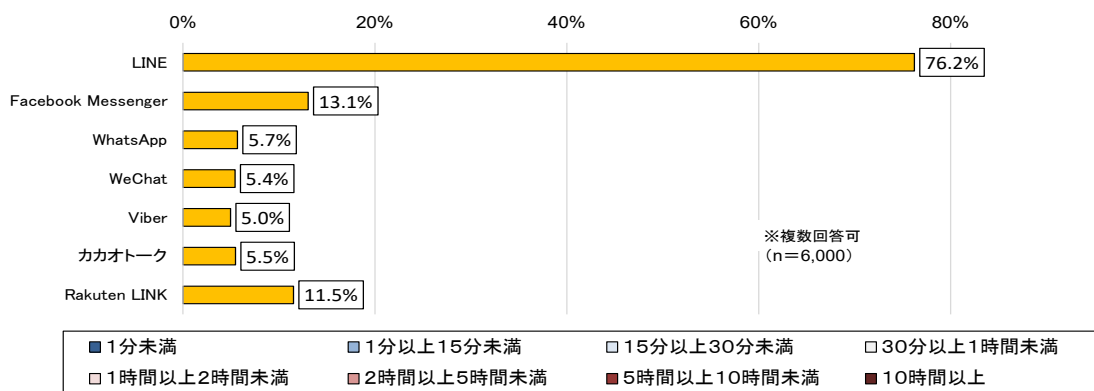
【携帯電話サービスにおける通話との使い分け状況】

サービス	使い分けをしていないとの回答割合
Skype (n=522)	10.3%
LINE (n=4,567)	18.5%
Viber (n=301)	14.6%
Google ハングアウト (n=360)	13.9%
カカオトーク (n=308)	12.3%
Rakuten LINK (n=783)	24.5%



- 現在利用しているメッセージングアプリについては、「LINE」が**76.2%**と突出していた。こうしたメッセージングアプリの利用時間(1週間当たり)については、いずれのサービスでも、大多数が「**1分未満**」又は「**1分以上15分未満**」との回答であった。
- また、こうしたメッセージングアプリについて、携帯電話サービスにおけるメールとの使い分けについて確認したところ、使い分けをしていないとの回答をした者は、通話アプリケーションの場合よりも割合が多くなっているものの、いずれのサービスにおいても約1～3割となっており、**携帯電話サービスにおけるメールとメッセージングアプリとを使い分け**ている回答者が圧倒的に多かった。

【メッセージングアプリ利用状況】



【携帯電話サービスにおけるメールとの使い分け状況】

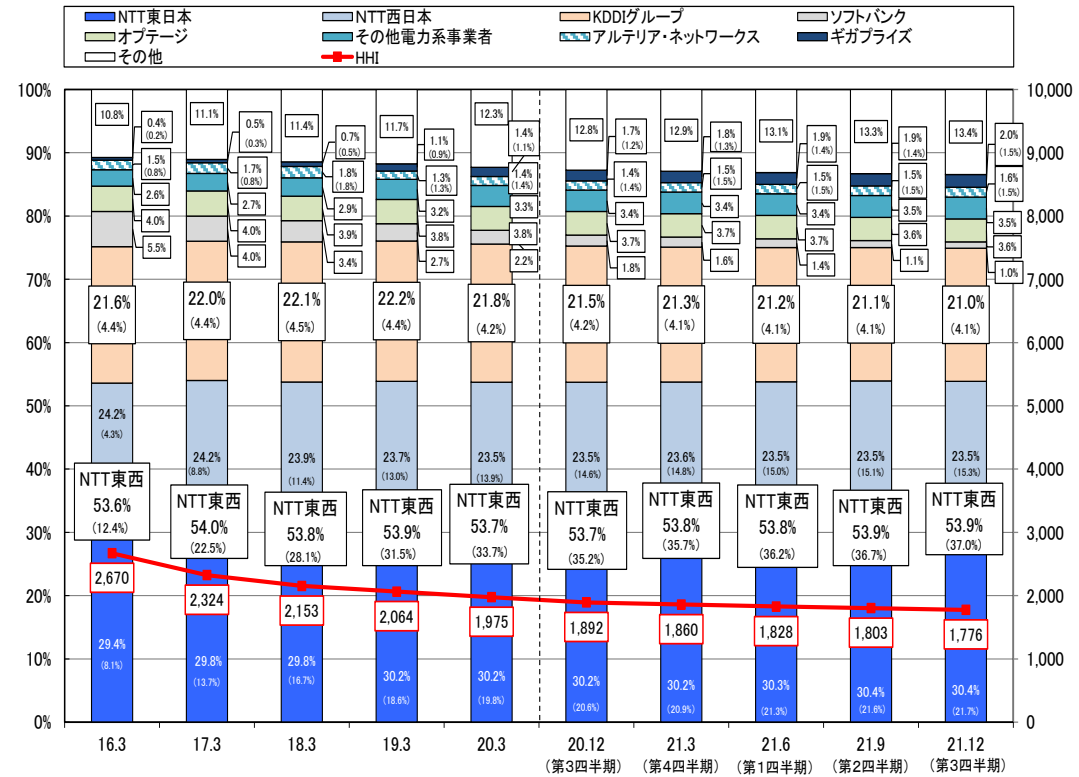
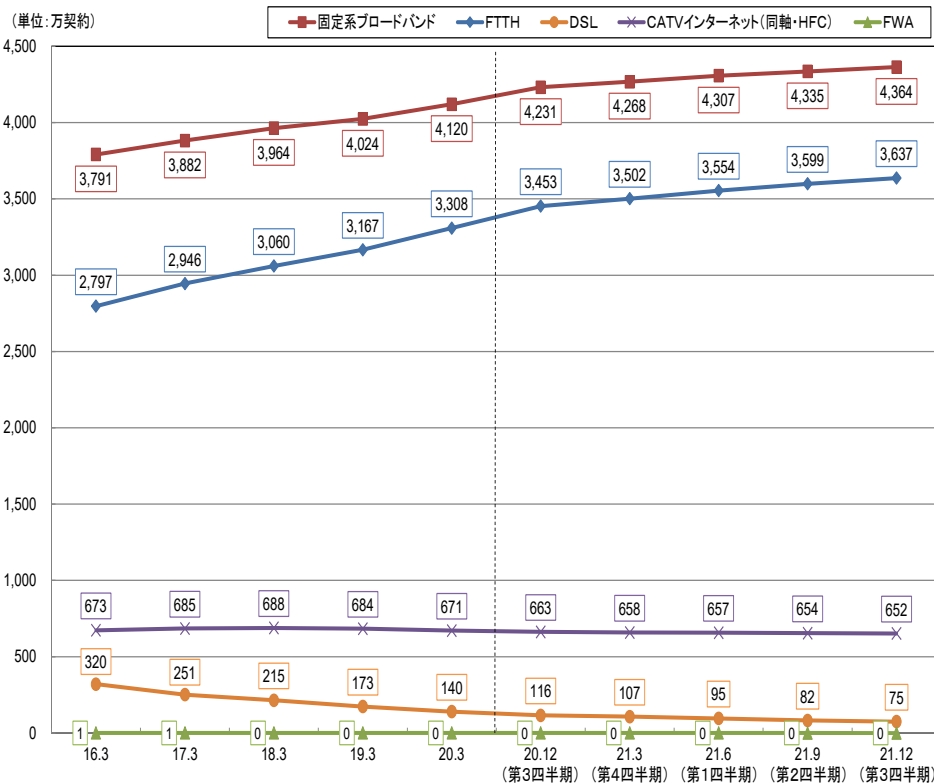
サービス名	使い分けをしていないとの回答割合
LINE (n=4,574)	24.0%
Facebook Messenger (n=783)	24.8%
WhatsApp (n=341)	15.2%
WeChat (n=326)	14.7%
Viber (n=297)	17.5%
カカオトーク (n=328)	15.5%
Rakuten LINK (n=691)	30.7%

④ 固定系通信市場

- 2021年12月末における固定系ブロードバンド市場の契約数は**4,364万**（前期比+0.7%、前年同期比+3.1%）となっている。このうち、**FTTH契約数は3,637万**（前期比+1.1%、前年同期比+5.3%）であり、**固定系ブロードバンド契約数全体に占める割合は83.3%**（前期比+0.3ポイント、前年同期比+1.7ポイント）となっている。
- 事業者別シェアは、**NTT東西が16.9%**（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.6ポイント:卸電気通信役務の提供に係るものを含めると53.9%）、**KDDIグループが17.0%**（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.4ポイント:卸電気通信役務の提供に係るものを含めると21.0%）、**オプテージが3.6%**（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント）となっている。**HHIは1,776**（前期比▲28、前年同期比▲117）。

【固定系ブロードバンドサービスの契約数の推移】

【固定系ブロードバンド市場の事業者別シェア及び市場集中度の推移】



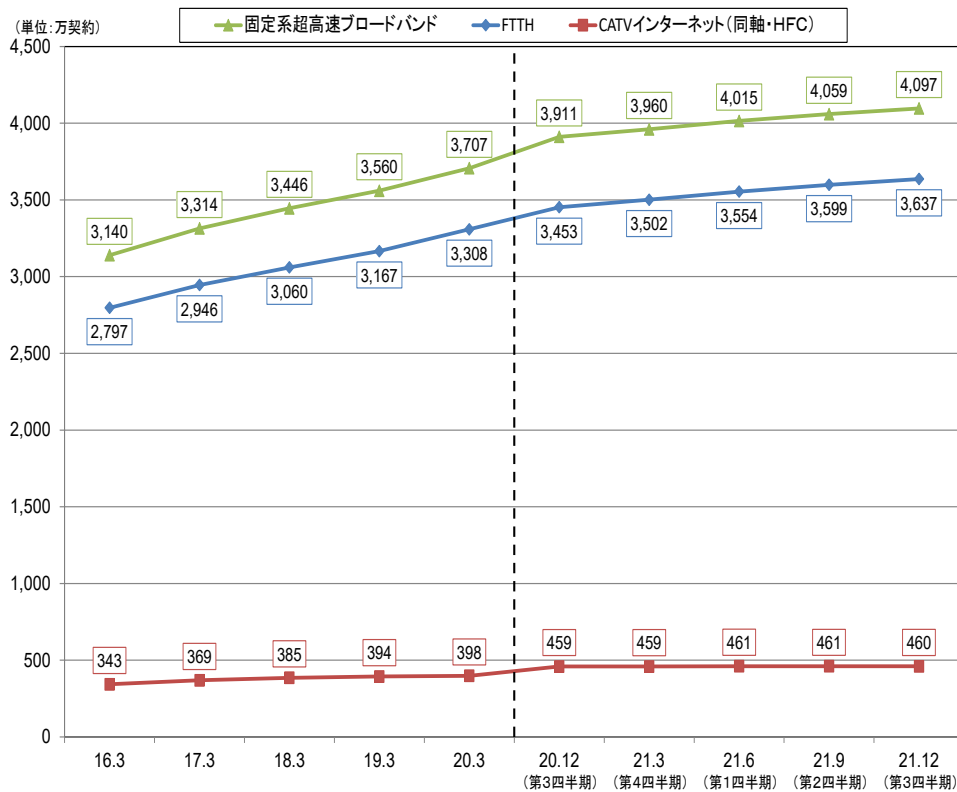
注1: 固定系ブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネット(同軸・HFC)を対象としており、FWAを含んでいない。
 注2: 「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー、CTC、OTNet及びJ:COMグループが含まれる。以下、特段の記載がない限り同じ。
 注3: 「その他電力系事業者」には、Qnet、北陸通信ネットワーク、STNet、エネルギア・コミュニケーションズ及びファミリーネット・ジャパンが含まれる。
 注4: 括弧内は、卸電気通信役務の提供に係るシェア。

- 2021年12月末における固定系超高速ブロードバンド※1市場の契約数は**4,097万**(前期比+0.9%、前年同期比+4.7%)、このうち、**CATVインターネット(通信速度下り30Mbps以上)**は**460万**(前期比▲0.1%、前年同期比+0.2%)となっている。
- 事業者別シェアは、**NTT東西**が**17.2%**(前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.8ポイント:卸電気通信役務の提供に係るものを含めると56.6%)、**KDDIグループ**が**5.7%**(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.2ポイント:卸電気通信役務の提供に係るものを含めると10.0%)、**CATV事業者**※2が**17.7%**(前期比±0ポイント、前年同期比+0.1ポイント)。**HHI**は**3,680**(前期比▲19、前年同期比▲80)。

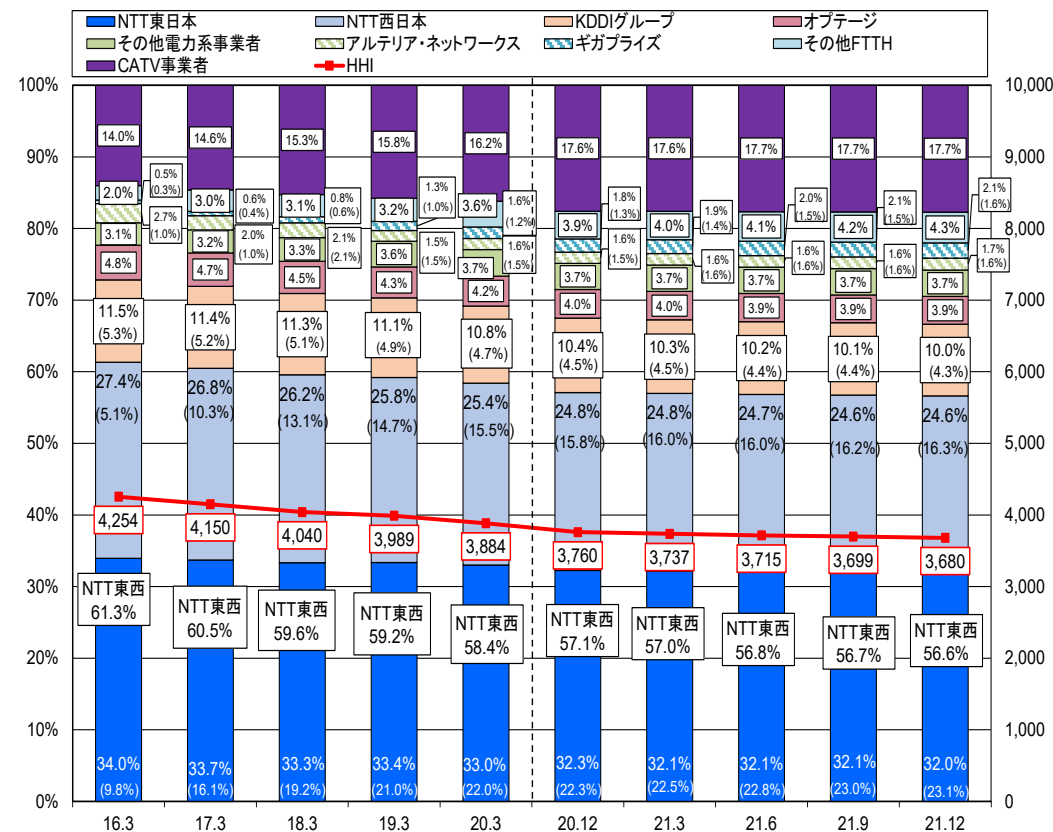
※1 FTTH及び通信速度下り30Mbps以上のCATVインターネットの合計。

※2 CATV事業者が提供するFTTH及び通信速度下り30Mbps以上のCATVインターネットの合計。

【固定系超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移】



【固定系超高速ブロードバンド市場の事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注1:「CATV事業者」には、J:COMグループが含まれる。

注2:括弧内は、卸電気通信役務の提供に係るシェア。

出所:電気通信事業報告規則に基づく報告

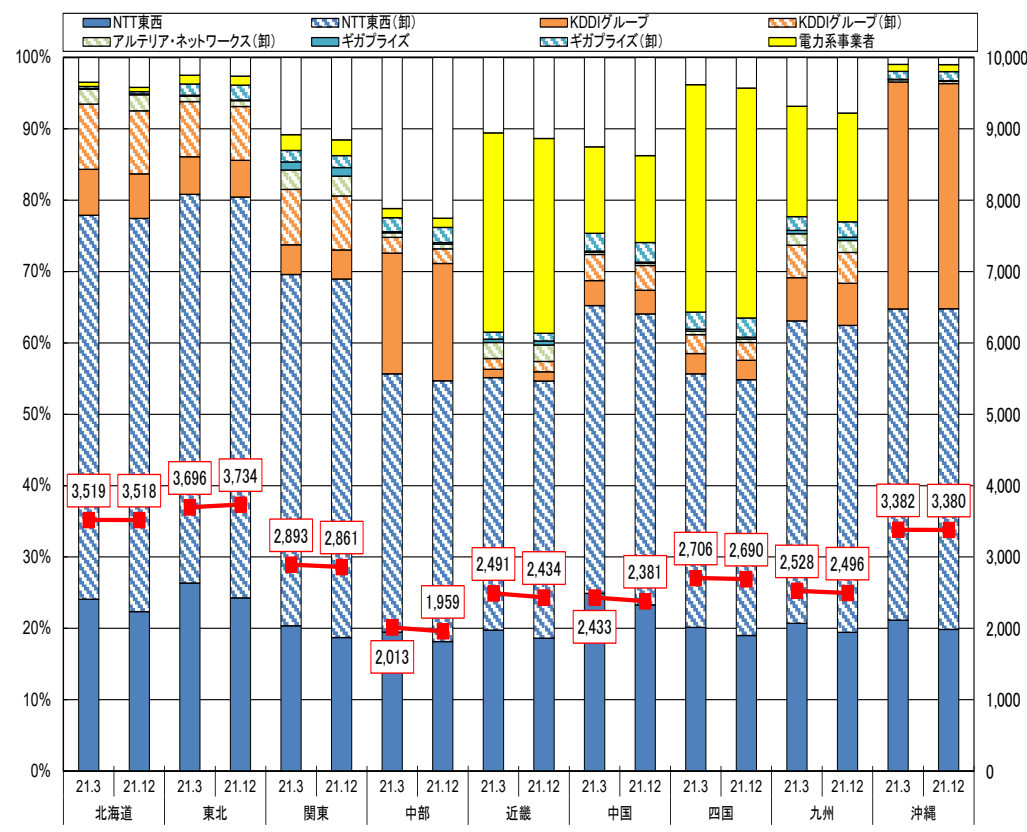
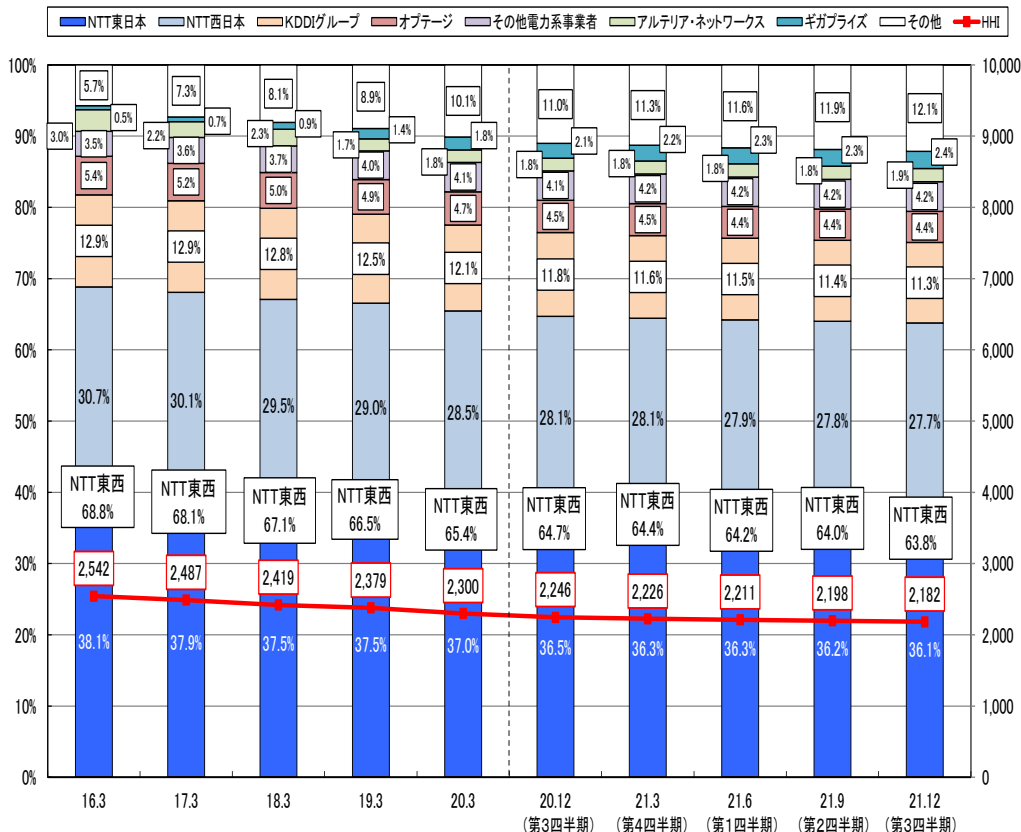
FTTH市場（設備設置事業者別）の事業者別シェア

- FTTH市場（設備設置事業者別）の事業者別シェア※（2021年12月末）をみると、**NTT東西が63.8%**（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.9ポイント）、**KDDIグループが11.3%**（前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.5ポイント）、**オプテージが4.4%**（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.2ポイント）。**HHIは2,182**（前期比▲16、前年同期比▲64）。
- 2021年3月末時点と比較して、**NTT東西の小売シェアは、全ての地域ブロックで減少**している一方、卸電気通信役務（サービス卸）の提供に係るものを含めたシェアは、**最も高い東北で8割超、最も低い近畿でも過半**を占めており、依然として**NTT東西の設備シェアが高い**。

※ 卸電気通信役務の提供に係るものを含む。

【FTTH市場（設備設置事業者別）の事業者別シェア及び市場集中度の推移】

【FTTH市場（設備設置事業者別）の事業者別シェア（地域ブロック別）】

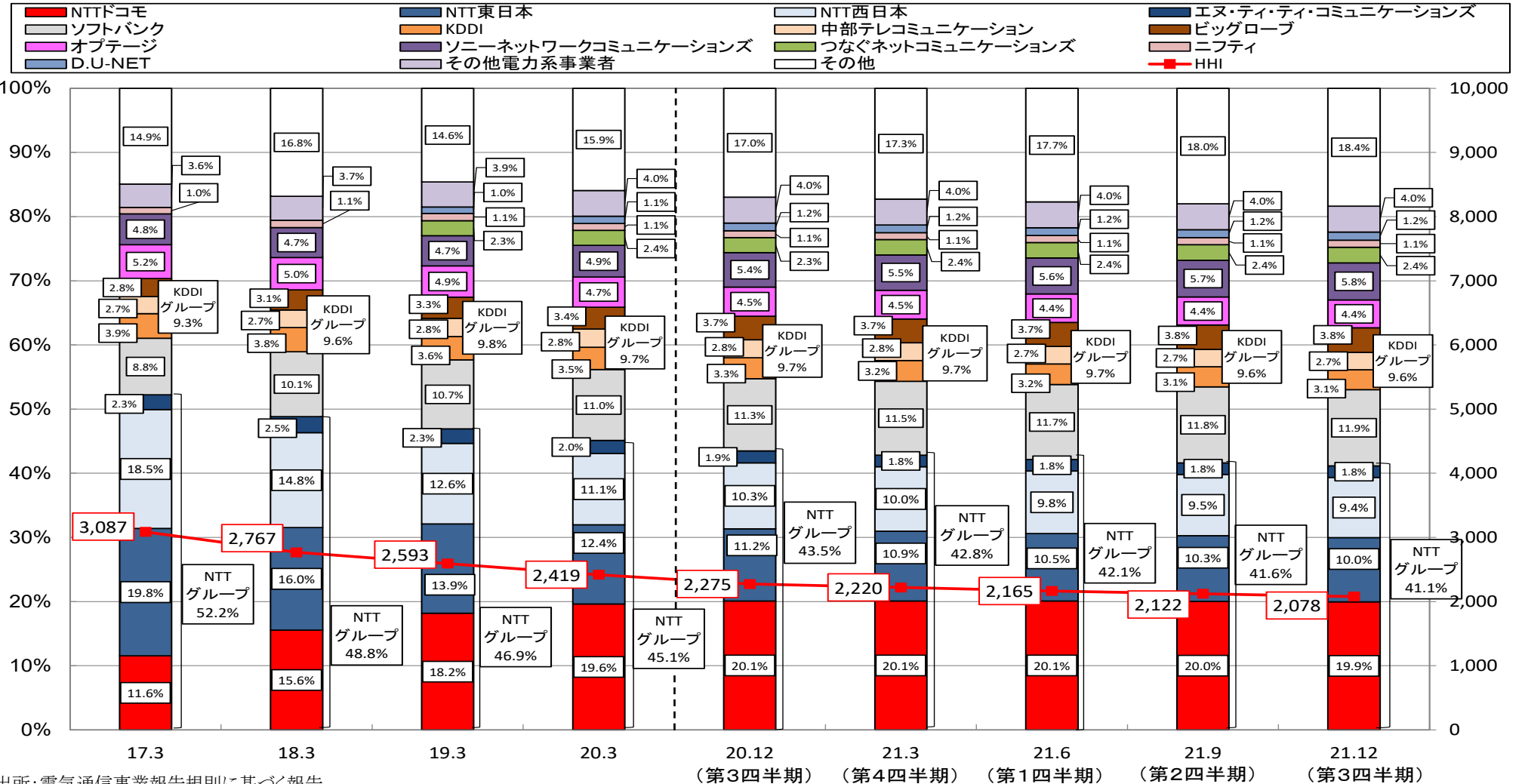


出所：電気通信事業報告規則に基づく報告

FTTH市場(サービス提供主体別)の事業者別シェア

- FTTH市場(サービス提供主体別*)の事業者別シェア(2021年12月末)をみると、**NTT東西が19.4%**(前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲2.1ポイント)、**NTTドコモが19.9%**(前期比、前年同期比とも▲0.1ポイント)、**KDDIグループが9.6%**(前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)、**ソフトバンクが11.9%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.6ポイント)。**HHIは2,078**(前期比▲43、前年同期比▲196)。
- **NTTドコモが最大のシェアを有しているが、直近では横ばい傾向にある。**

* 卸電気通信役務の提供を受け、最終利用者にてFTTHサービスの提供を行う事業者を含む。

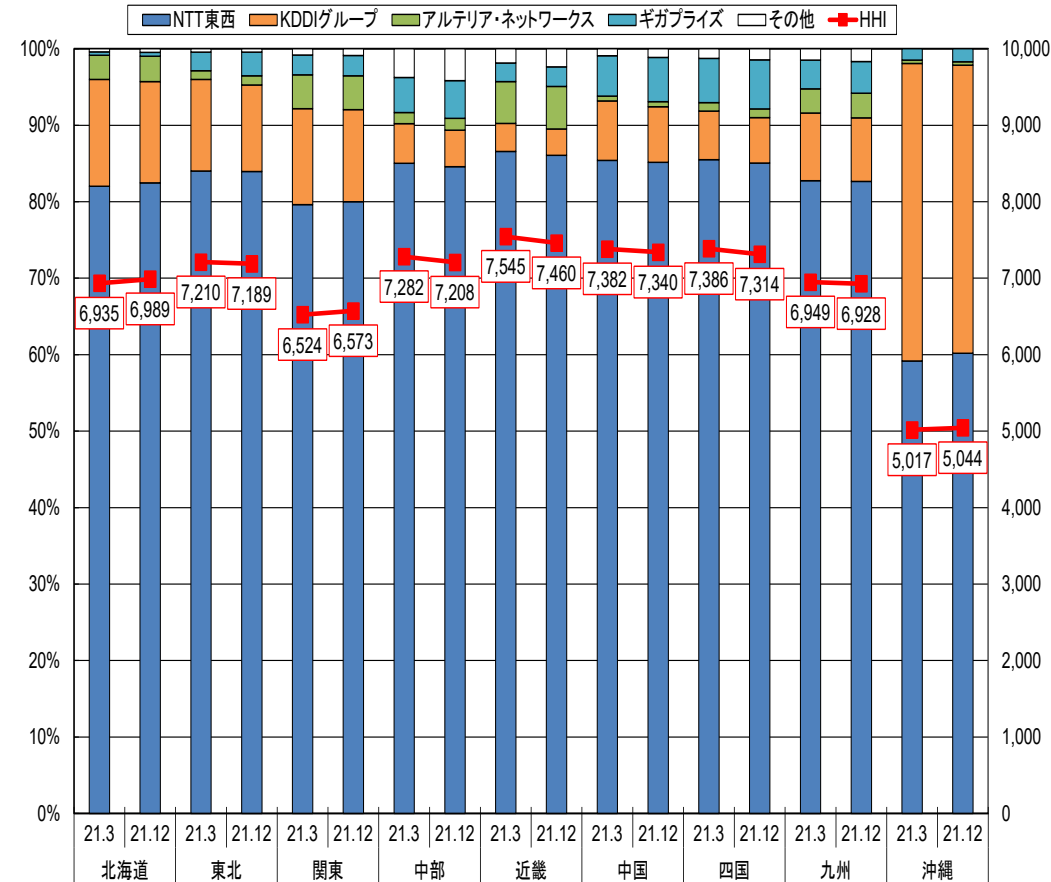
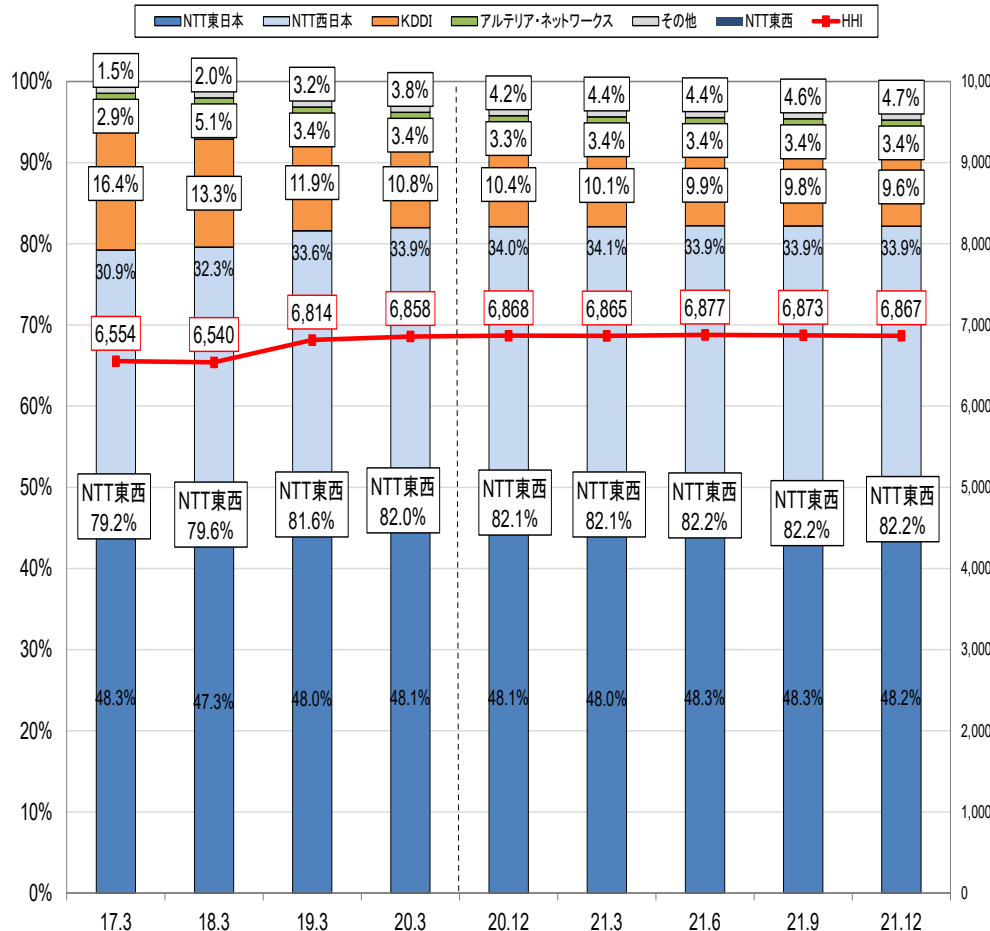


FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア

- FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア(2021年12月末)をみると、**NTT東西(サービス卸)**が**82.2%**(前期比±0ポイント、前年同期比+0.1ポイント)、**KDDI**が**9.6%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.7ポイント)となっている。**HHI**は**6,867**(前期比▲6、前年同期比▲1)。
- **地域ブロック別**でみると、**NTT東西のシェアが沖縄を除く全ての地域で8割超(最も低い沖縄でも6割を占める。)**となっている。**HHI**は、**最も高い地域は近畿で7,460、最も低い地域は沖縄で5,044**。

【FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア及び市場集中度の推移】

【FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア及び市場集中度の推移(地区ブロック別)】

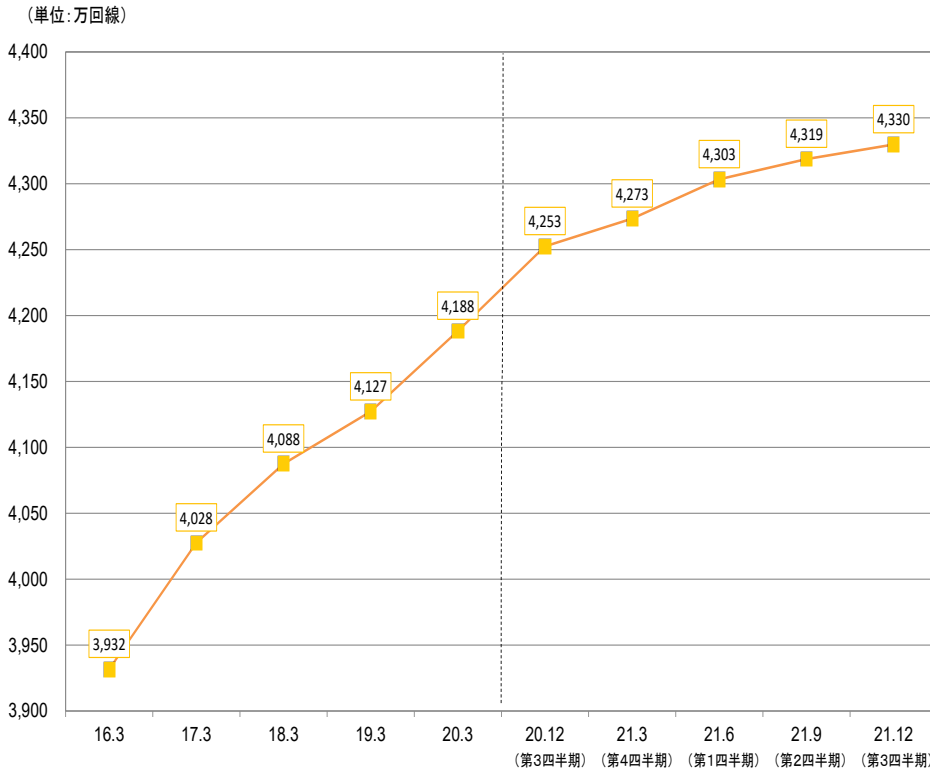


注:設備を設置して提供する事業者及び接続により提供する事業者による 卸電気通信役務の提供に係る事業者別シェアであり、当該卸先事業者による再卸先事業者への再卸に係るものは含まない。

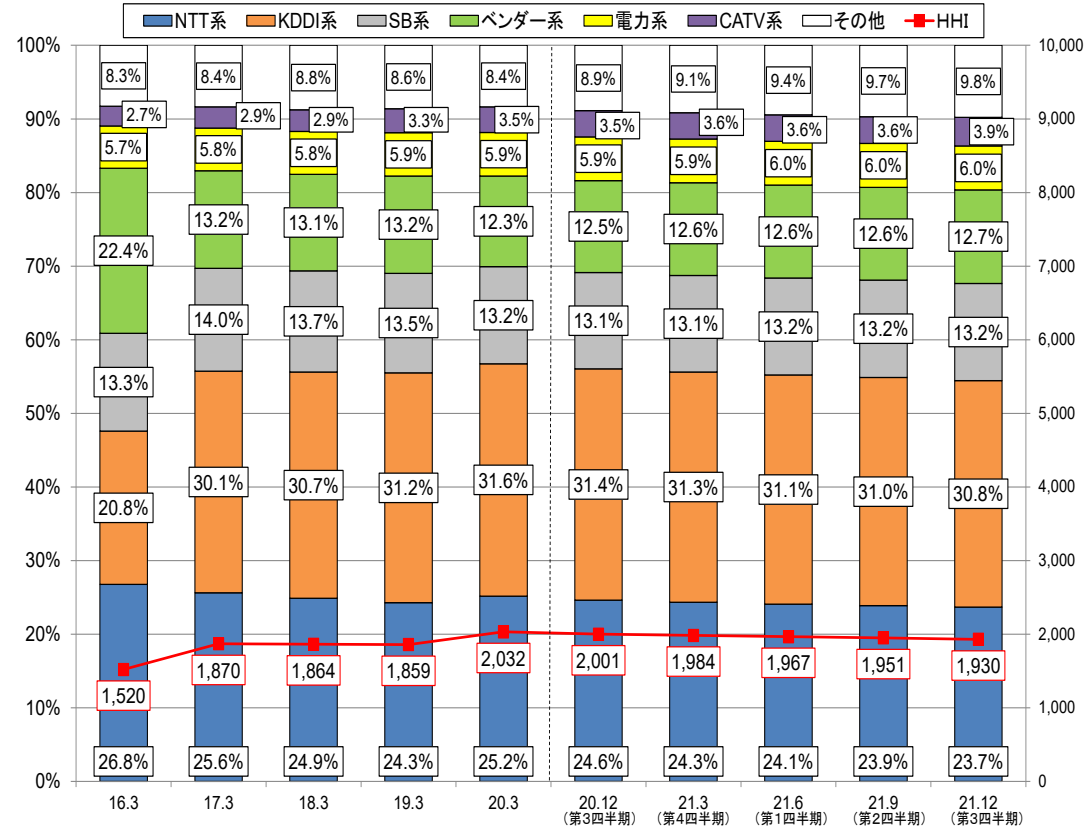
出所:電気通信事業報告規則に基づく報告

- 2021年12月末時点におけるISP(固定系)の契約数は**4,330万**(前期比+0.3%、前年同期比+1.8%)となっている。
- ISP(固定系)契約数における事業者別シェアは、**KDDI系が30.8%**(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.6ポイント)、**NTT系が23.7%**(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.9ポイント)、**ソフトバンク系が13.2%**(前期比±0ポイント、前年同期比+0.1ポイント)及び**電力系が6.0%**(前期比、前年同期比ともに±0ポイント)となっている。**HHIは1,930**(前期比▲20、前年同期比▲70)。

【ISP(固定系)の契約数】



【ISP(固定系)契約数における事業者別シェア】



注1: 主契約のみの契約数。

注2: NTT系のシェアには、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、NTTぷらら、NTTドコモ等が含まれる。

注3: KDDI系のシェアには、KDDI、中部テレコミュニケーション、J:COM、ビッグロブ(2017年3月末以降)等が含まれる。

注4: ソフトバンク系のシェアには、旧ソフトバンクBB、旧ワイモバイル等が含まれる。

注5: ベンダー系のシェアには、ビッグロブ(2016年12月末まで)、ソニーネットワークコミュニケーションズ、ニフティ等が含まれる。

注6: 電力系のシェアには、オプテージ、STNet、QNet等が含まれる。

固定電話市場の規模(契約数)

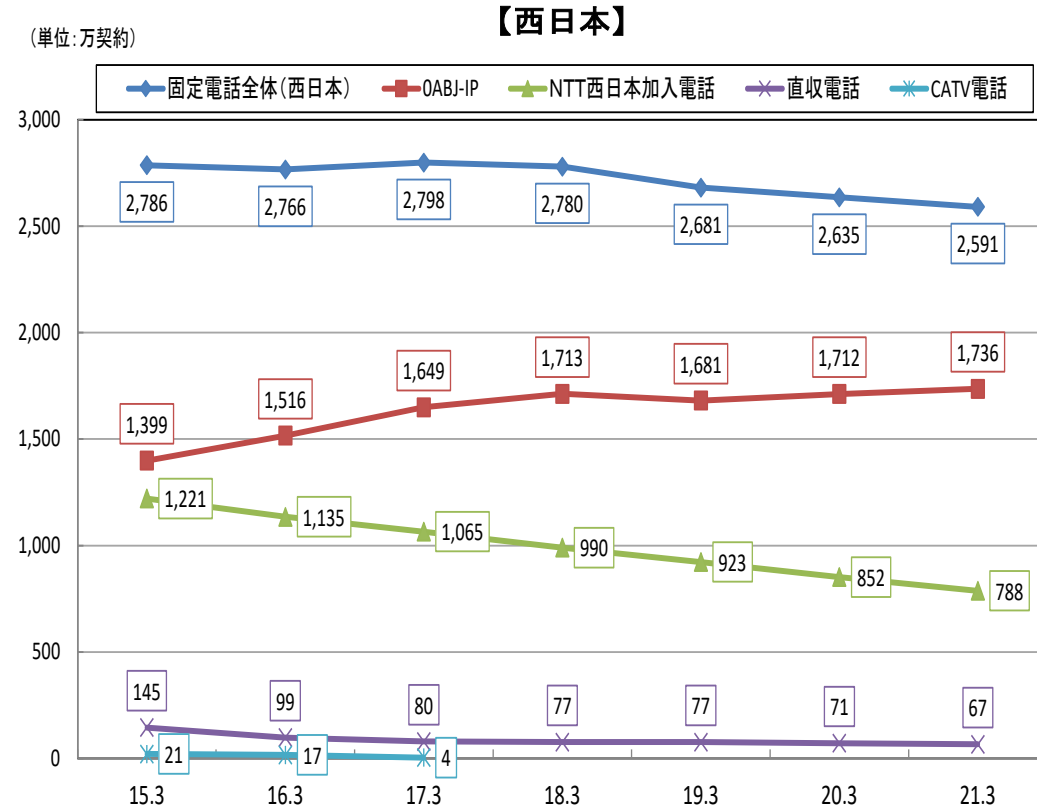
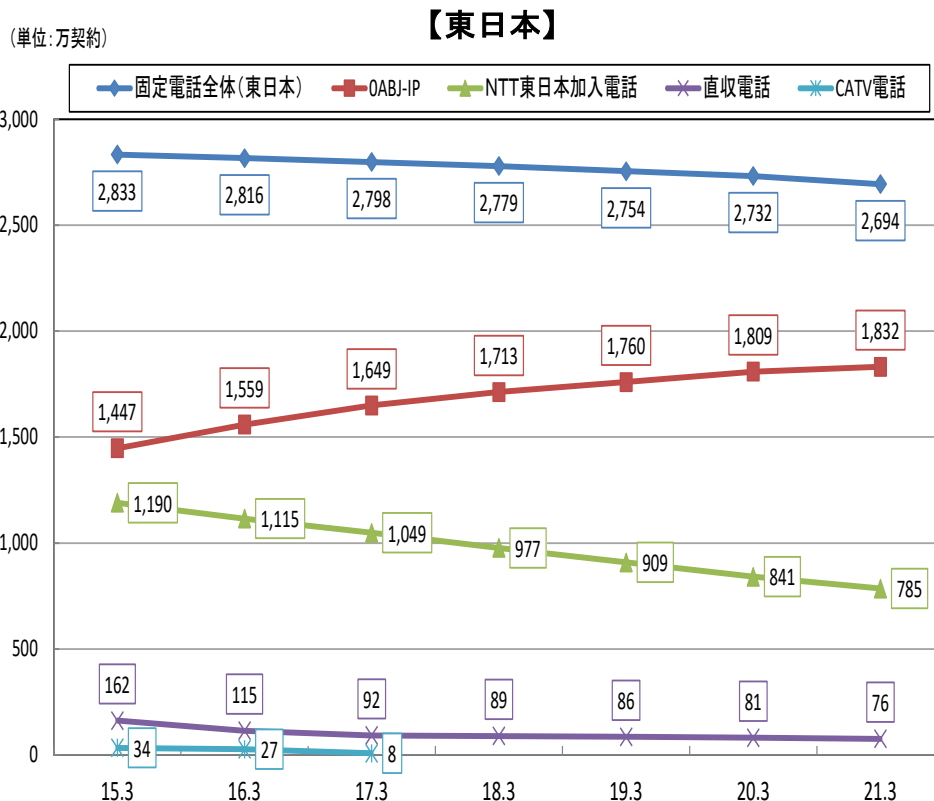
- 2020年度末における**固定電話※¹の契約数※²**を東西別にみると、東日本では**2,694万**(前年同期比▲1.4%)、西日本では**2,591万**(前年同期比▲1.7%)。このうち、**OABJ-IP電話**は東日本では**1,832万**(前年同期比+1.3%)、西日本では**1,736万**(前年同期比+1.4%)。また**NTT東西加入電話**は東日本では**785万**(前年同期比▲6.7%)、西日本では**788万**(前年同期比▲7.6%)。
- **OABJ-IP電話以外※³の契約数**は東日本では**862万**(前年同期比▲6.6%)、西日本では**854万**(前年同期比▲7.5%)。

※1 NTT東西加入電話(ISDNを含む。)、直収電話(直加入、新型直収、直収ISDNの合計)、OABJ-IP電話及びCATV電話を指す。以下同じ。

※2 卸電気通信役務の提供に係るものを含む。以下本頁及び次頁において同じ。

※3 NTT東西加入電話(ISDNを含む。)、直収電話(直加入、新型直収、直収ISDNの合計)及びCATV電話を指す。

【固定電話の契約数の推移(東西別)】



注1:「OABJ-IP電話」は、利用番号数をもって契約数とみなしている。なお、OABJ-IP電話はNTT東西加入電話等との代替性が高いため固定電話に加えている。

注2:「CATV電話」は、CATV事業者が提供する固定電話サービスのうちアナログ電話を計上している。

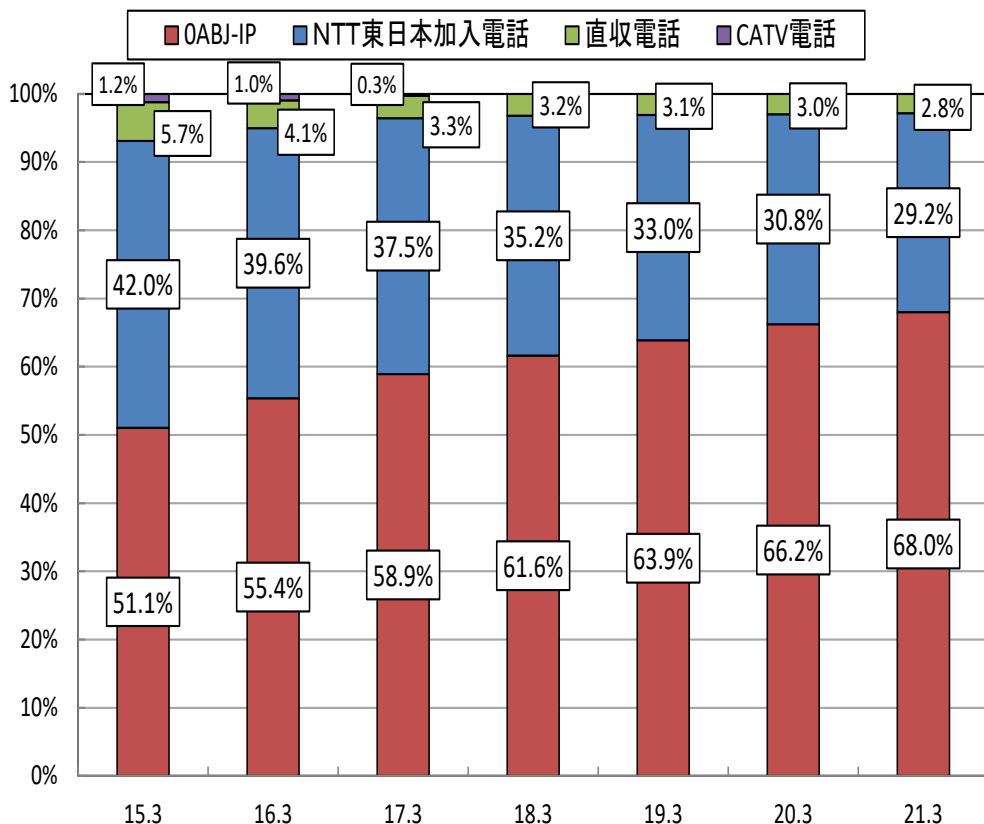
なお、CATV事業者が提供するIP電話については「OABJ-IP電話」に計上している。

固定電話市場の規模(サービス別内訳)

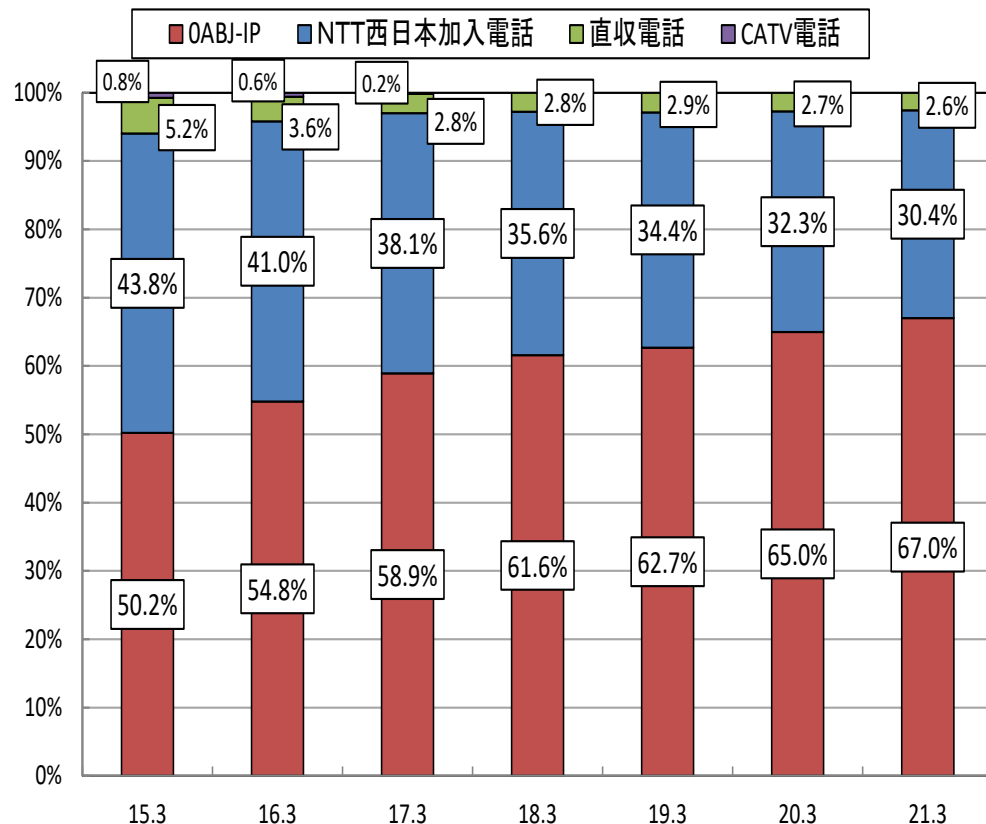
- 2020年度末における固定電話の契約数におけるサービス別内訳(東西別)は、以下のとおり。
【東日本】OABJ-IP電話は68.0%(前年同期比+1.8ポイント)、**NTT東日本加入電話は29.2%**(前年同期比▲1.6ポイント)。
【西日本】OABJ-IP電話は67.0%(前年同期比+2.1ポイント)、**NTT西日本加入電話は30.4%**(前年同期比▲1.9ポイント)。

【固定電話の契約数におけるサービス別内訳の推移(東西別)】

【東日本】



【西日本】

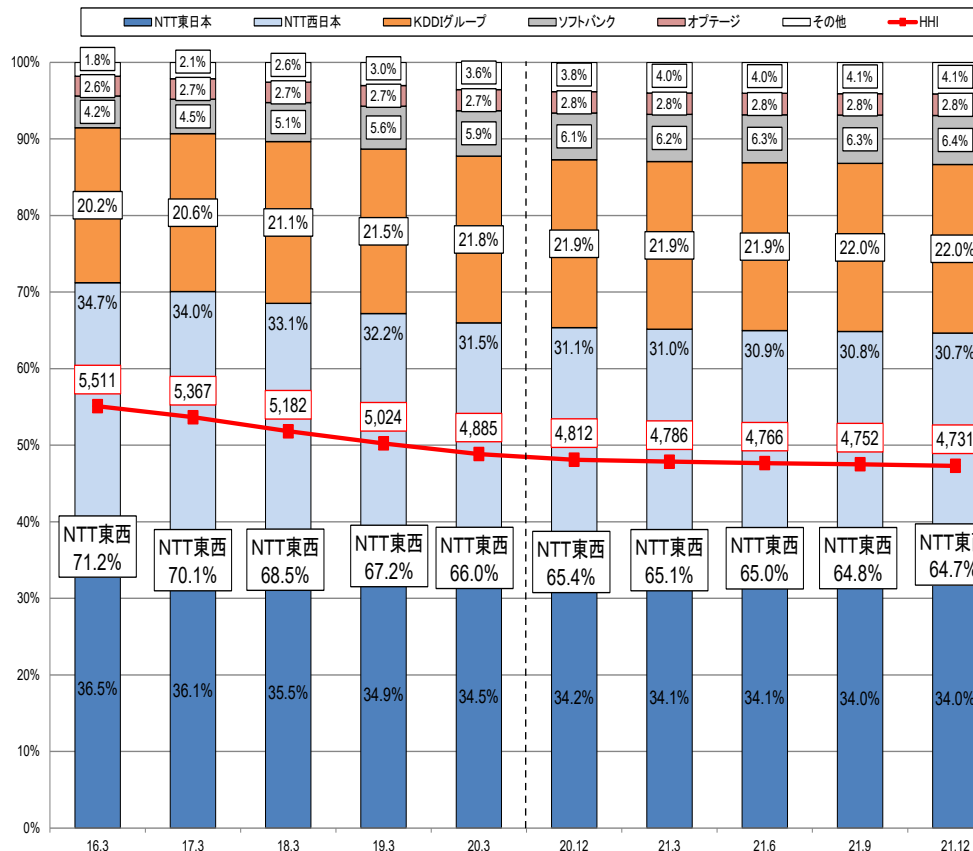


注1:「OABJ-IP電話」は、利用番号数をもって契約数とみなしている。なお、OABJ-IP電話はNTT東西加入電話等との代替性が高いため固定電話に加えている。
 注2:「CATV電話」は、CATV事業者が提供する固定電話サービスのうちアナログ電話を計上している。
 なお、CATV事業者が提供するIP電話については「OABJ-IP電話」に計上している。

固定電話市場の事業者別シェア

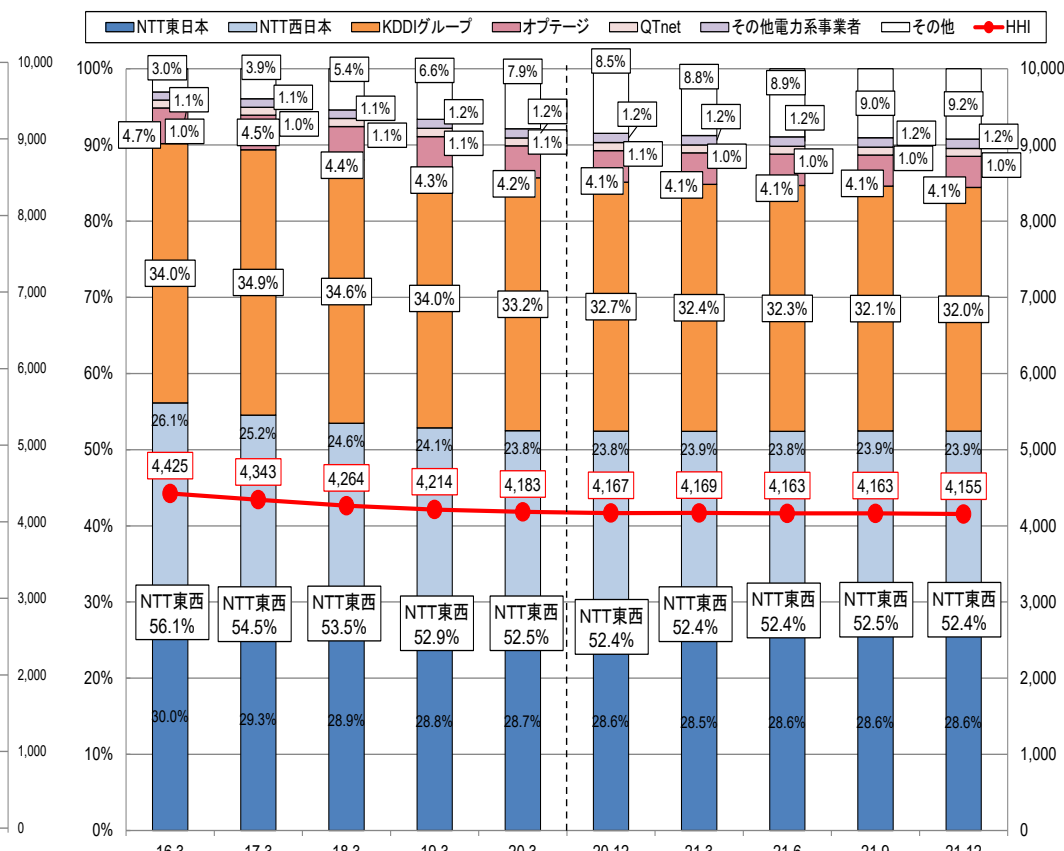
- 2021年12月末時点における固定電話市場の事業者別シェアは、**NTT東西**が**64.7%**（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.7ポイント）、**KDDIグループ**が**22.0%**（前期比、前年同期比とも+0.1ポイント）、**ソフトバンク**が**6.4%**（前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.3ポイント）。**HHI**は**4,731**（前期比▲21、前年同期比▲80）。
- 0ABJ-IP電話の利用番号数における事業者別シェアは、**NTT東西**が**52.4%**（前期比、前年同期比とも±0ポイント）、**KDDIグループ**が**32.0%**（前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.7ポイント）、**オプテージ**が**4.1%**（前期比±0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント）。**HHI**は**4,155**（前期比▲8、前年同期比▲12）。

【固定電話の契約数における事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注：「KDDIグループ」には、KDDI、CTC及びJ:COMが含まれる。

【0ABJ-IP電話の利用番号数における事業者別シェア及び市場集中度の推移】

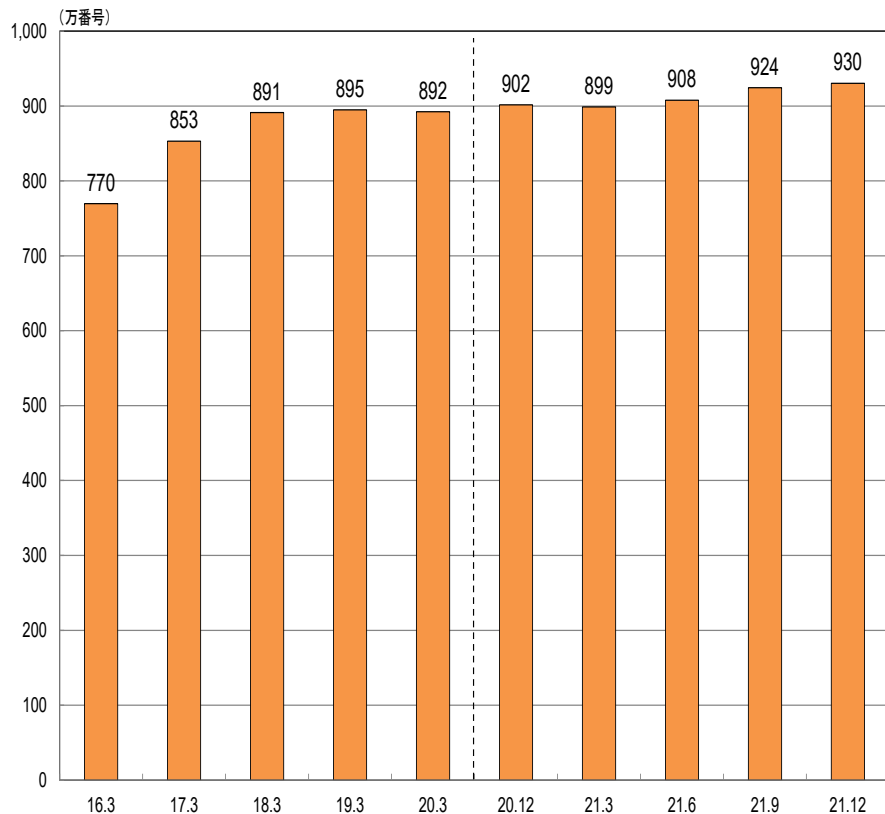


出所：電気通信事業報告規則に基づく報告

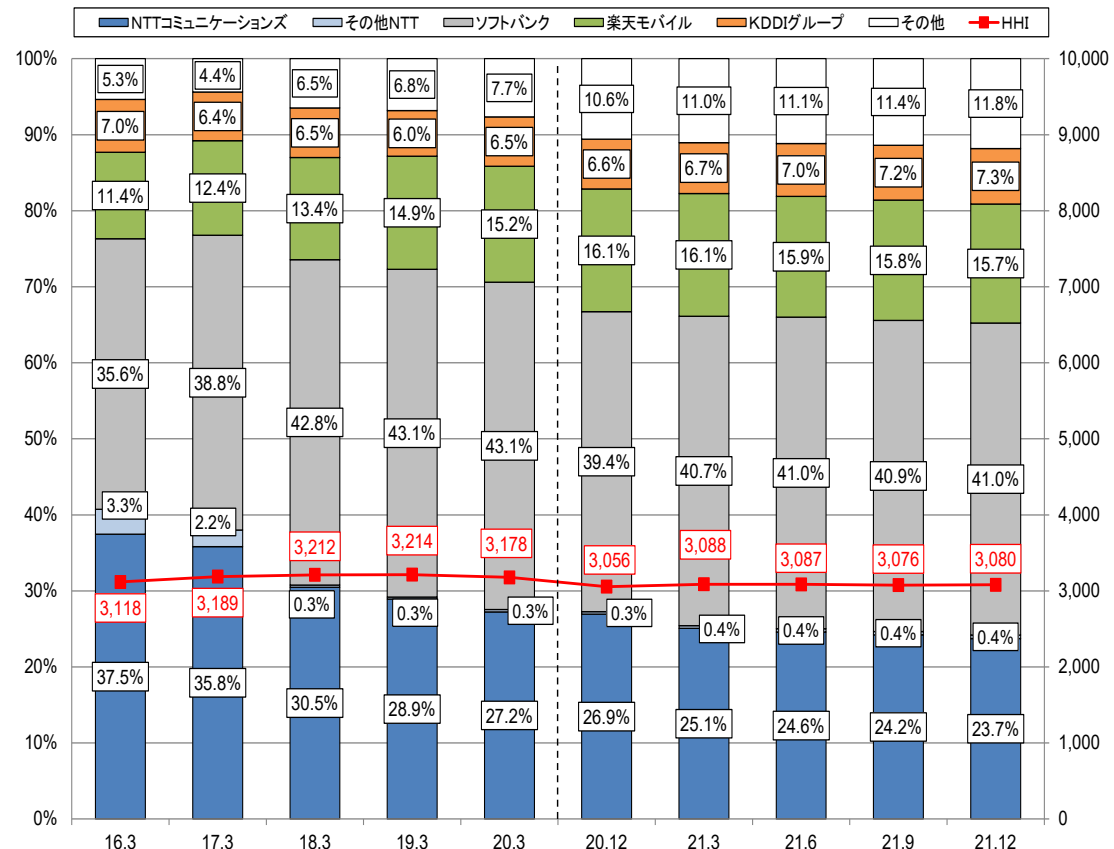
- 2021年12月末時点における050-IP電話の利用番号数※は**930万**(前期比+0.7%、前年同期比+3.2%)。
- 事業者別シェアは、**ソフトバンクが41.0%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+1.6ポイント)、**NTTコミュニケーションズが23.7%**(前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲3.2ポイント)、**楽天モバイルが15.7%**(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.5ポイント)、**KDDIグループが7.3%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.7ポイント)。**HHIは3,080**(前期比+4、前年同期比+24)。

※ 卸電気通信役務の提供に係るものを含む。

【050-IP電話の利用番号数の推移】



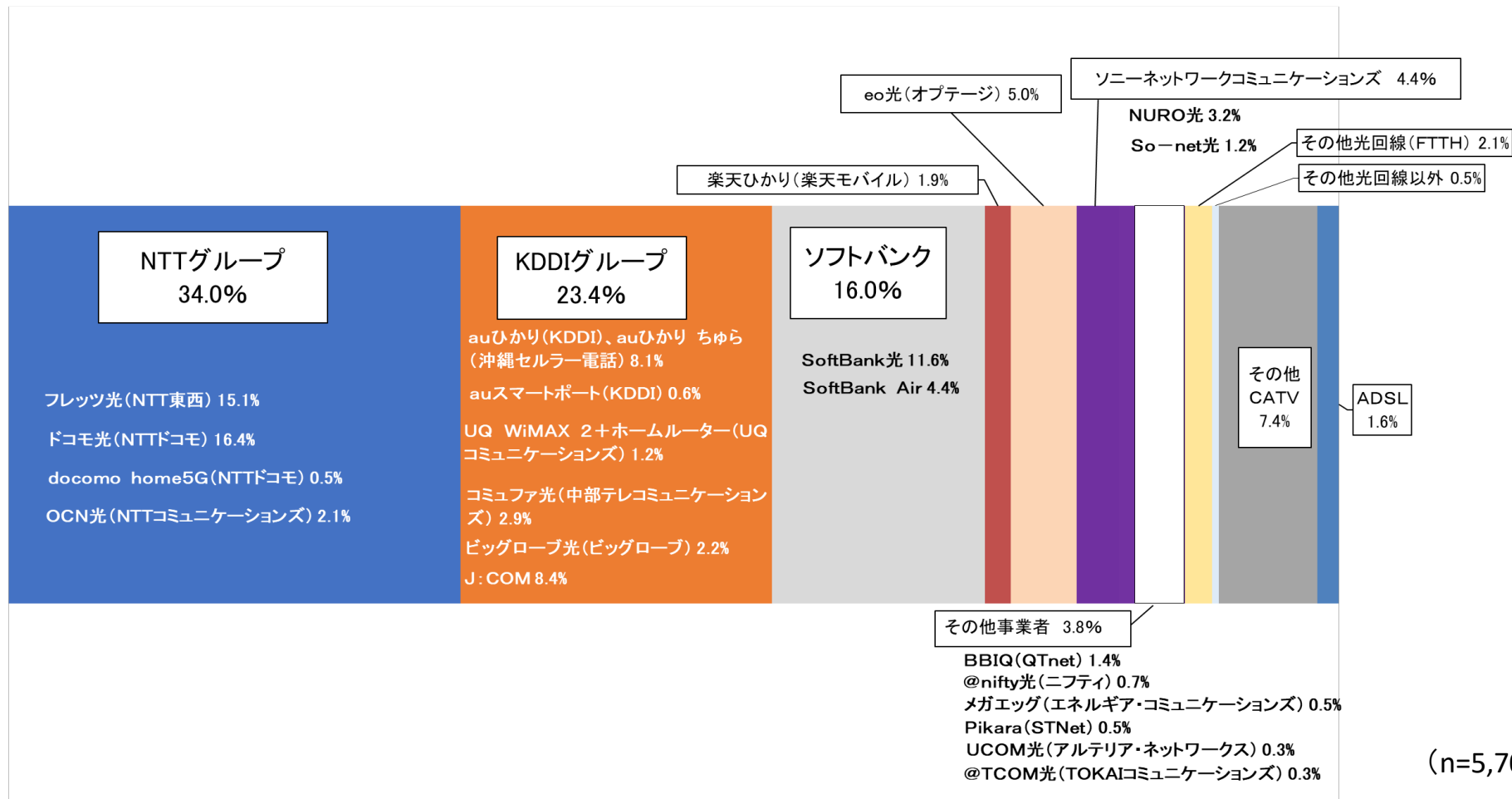
【050-IP電話の利用番号数における事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注1: その他NTTには、NTTぶらら、NTT-ME、NTTネオメイト、NTTPCコミュニケーションズ、NTTドコモが含まれる。

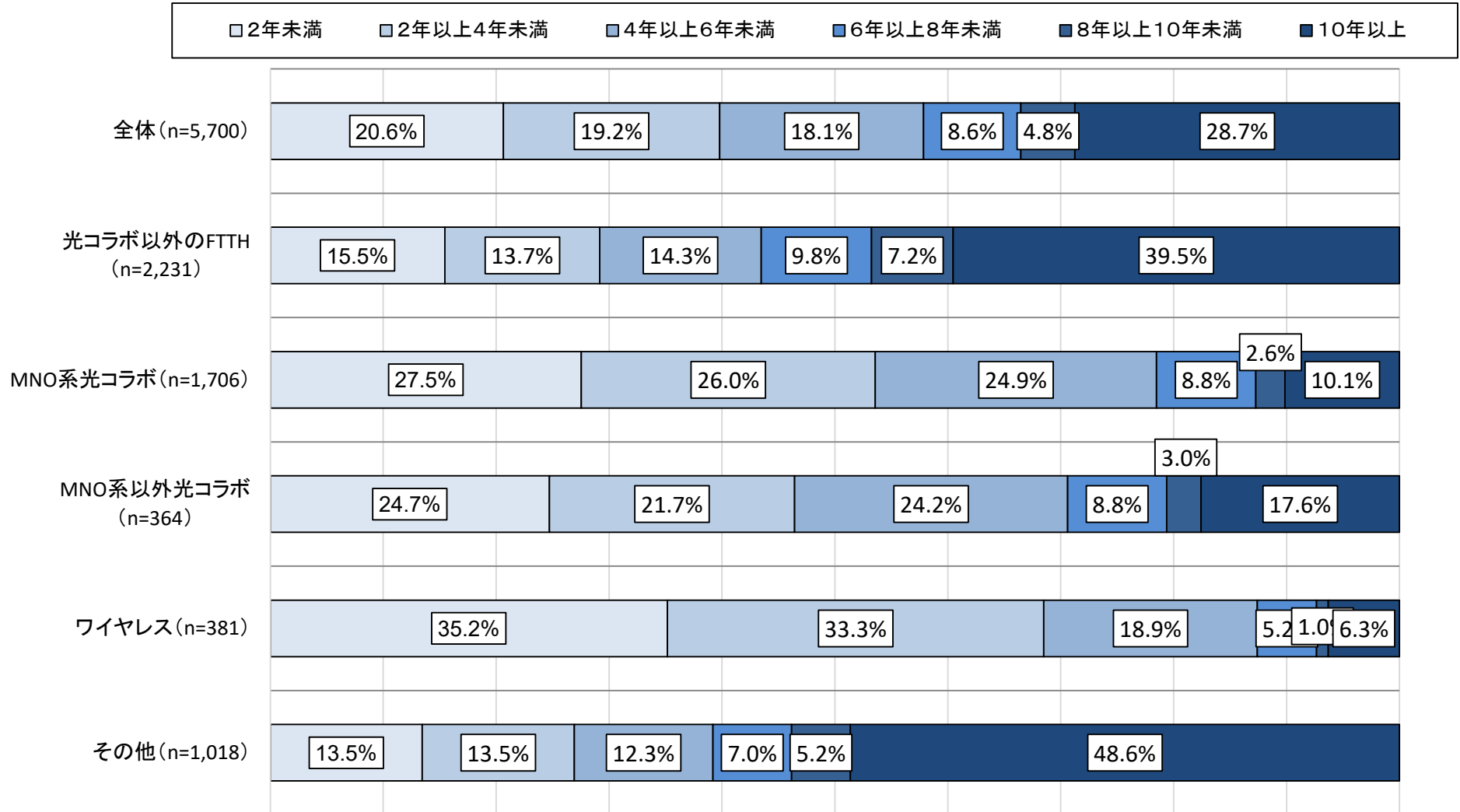
注2: 「KDDIグループ」には、KDDI及びCTCが含まれる。

- 現在利用している固定インターネットサービスとして回答があったのは、**NTTグループ**(フレッツ光、ドコモ光、OCN光)が**34.0%**と最多であり、次いで、**KDDIグループ**が**23.4%**、**ソフトバンク**が**16.0%**であった。

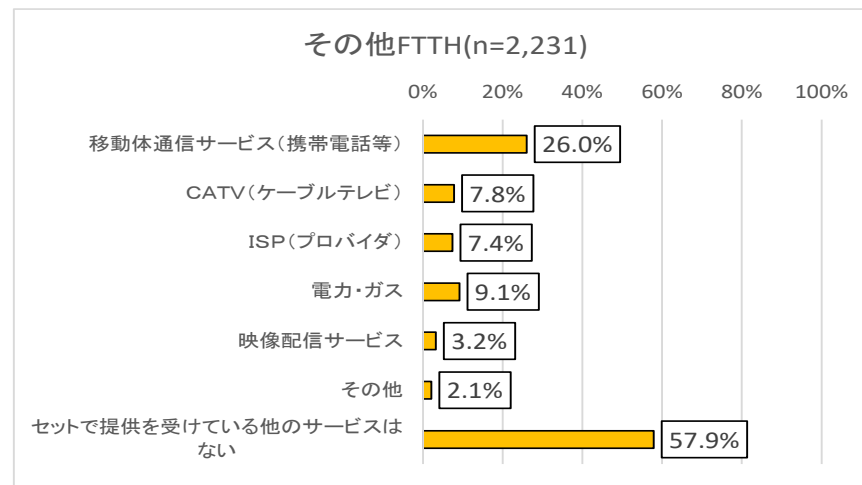
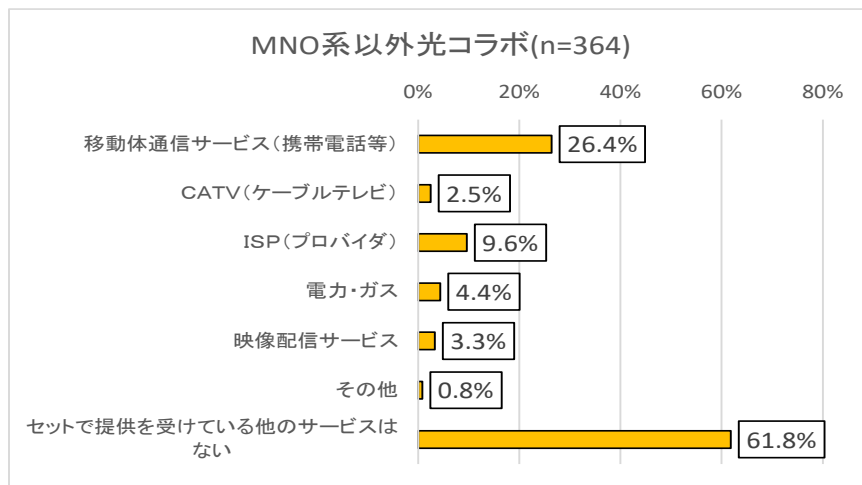
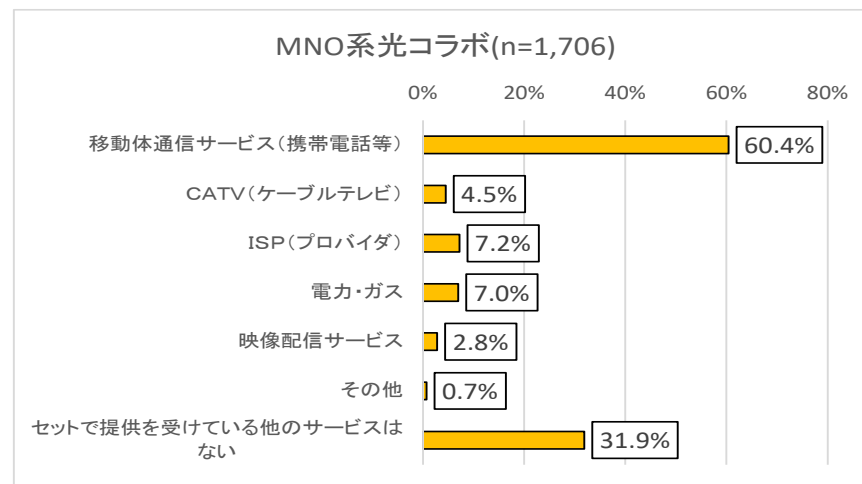
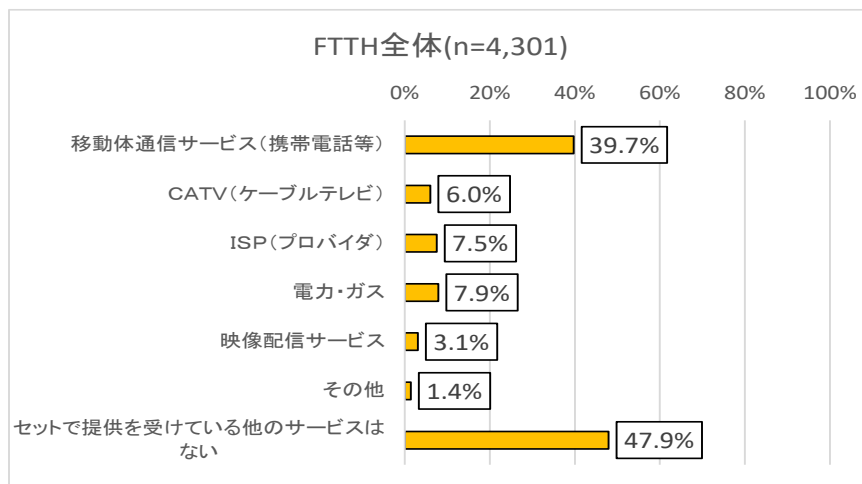


(n=5,700)

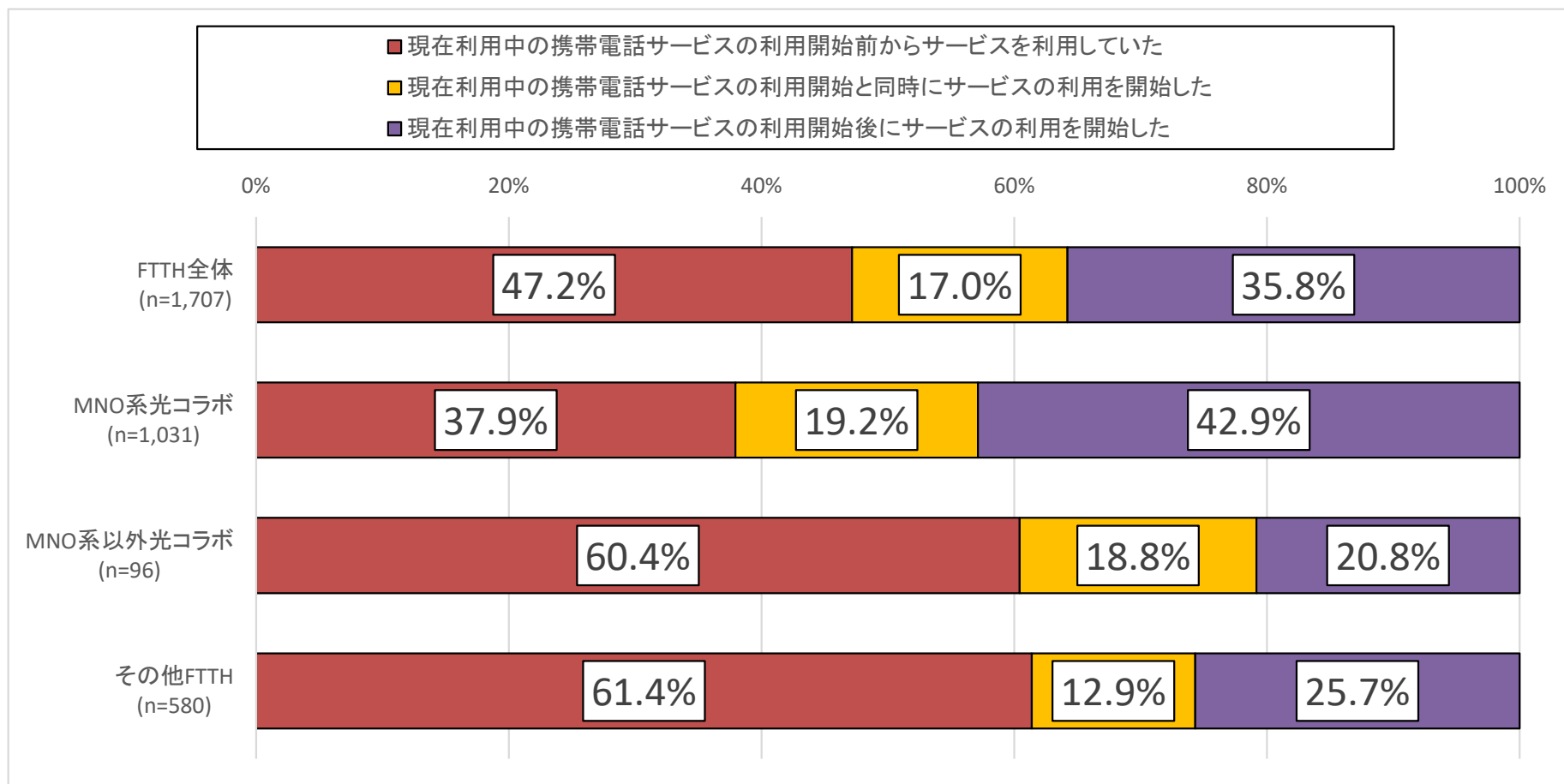
- 10年以上同一の事業者のサービスを継続している者の割合が最も多い(28.7%)。



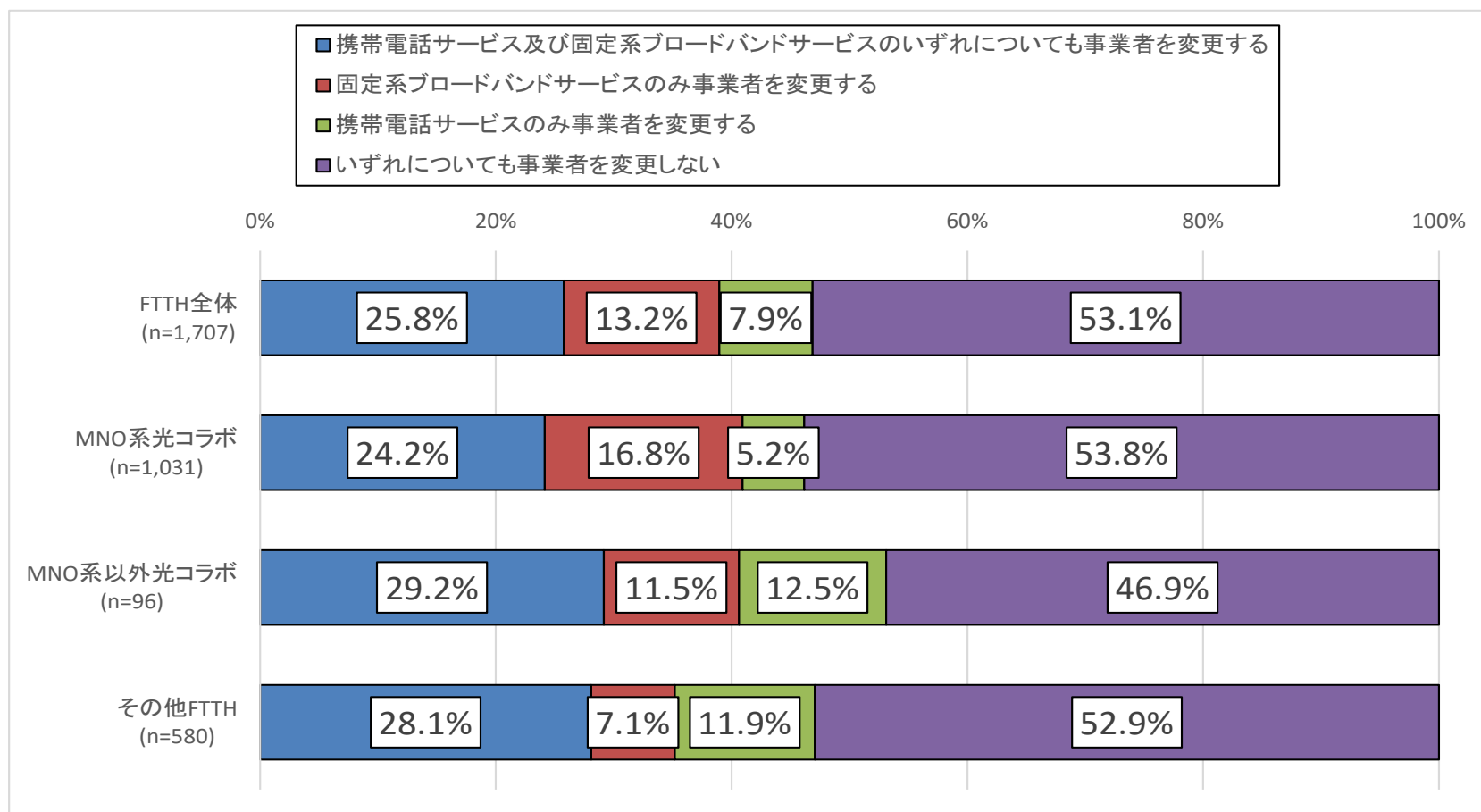
- FTTHサービスとセットで提供を受けているサービスについて、**MNO系光コラボ利用者**においては、**約6割**の者が**FTTHサービスと「セットで携帯電話サービスの提供を受けている」としている**のに対し、**それ以外のFTTH利用者** (MNO系以外の光コラボ利用者、光コラボ以外のFTTH利用者)においては、**6割程度**の者が**「セットで提供を受けているサービスはない」としている**。



- 同一の事業者からFTTHと携帯電話サービスの提供を受けている者に対し、FTTH利用開始時期と携帯電話サービスの利用開始時期の前後関係について確認したところ、**MNO系光コラボ利用者**においては、**現在利用中の携帯電話サービスの利用開始と同時かそれ以降にFTTHサービスの利用を開始したとする者が6割を超えている。**



- 同一の事業者からFTTHと携帯電話サービスの提供を受けている者に対し、仮にセット割引が全事業者において廃止された場合にどのような対応をとるかについて確認したところ、携帯電話サービスとFTTHサービスのいずれについても事業者を変更しないと回答した者の割合は**53.1%**と半数を超えており、携帯電話サービスとFTTHサービスのいずれについても事業者を変更するという回答が**25.8%**と一定程度存在した。また、MNO系光コラボ利用者においては、FTTHサービスのみ事業者を変更すると回答した者が**16.8%**と一定程度みられた。



⑤ 法人向けサービスの実態把握

- 電気通信役務に係る法人向けサービス(以下、単に「法人向けサービス」という。)について実態把握を行うに当たっては、法人向けサービスの市場画定の在り方について検討を行う必要がある。このため、令和3年度においては、主要な電気通信事業者が提供する法人向けサービスに関して、事業者ヒアリング及び事業者アンケートを実施した。
- まず、法人向けにサービス提供を行っている主要な電気通信事業者に対し、ヒアリングや事業者アンケートを通じて、**法人向けサービスの分類に関する認識**を確認したところ、以下のような結果であった。
 - 移動系通信、固定系通信のほか、ソリューション(電気通信事業に隣接する領域)が存在。
 - 移動系通信は、さらに法人モバイル、通信モジュール、ローカル5Gに、固定系通信は音声、データに細分化が可能。
 - サービス展開先の業種(金融、公共サービスなど)ごとの分類が可能。
 - ネットワークレイヤのほか、ソフトウェア、ハードウェア、データセンター、ソリューションなど様々なレイヤが存在。
- また、主要な電気通信事業者に対し、ヒアリングや事業者アンケートを通じて、各事業者の認識する分類ごとに**競争関係にあると認識している事業者の範囲**について確認したところ、以下のような結果であった。
 - 電気通信事業者が競争事業者の範囲。
 - 電気通信事業者を中心に、分野によっては、Slerやベンダーが存在し、競争だけでなく協業も行われている。
 - 電気通信事業者だけでなく、Sler等が各レイヤのサービス・製品を組み合わせ、様々な産業分野にソリューションを提供。
 - Sler、コンサルティング企業、グローバルプラットフォーム事業者、ITベンダ、電機メーカー等が競争事業者の範囲。
- 加えて、令和3年度に実施した需要者である法人へのヒアリングにおいては、サービス調達に関して、以下のような見解が得られた。
 - ネットワークと端末機器は、それぞれ別の事業者を通じて調達。調達の際は、仕様をまず決めた上で、その仕様を満たすものの中から、コスト面で最も安価なものを選んでいくのが基本的な考え方。
 - ネットワークと端末機器は、それぞれ別の事業者から調達する場合もあれば、同一事業者を通じて調達する場合もある。調達価格や技術力、導入実績、サービス力等から総合的に判断し調達先を決定。
 - 特定の事業者からでないと調達できないというケースはあまりなく、通信の品質について、事業者間での差はない。

- 法人向けサービスを巡る市場画定としては、以下の図のとおり、試行的に整理できるのではないか。

法人向け サービス市場	ネットワーク市場	移動系通信(法人向け)市場	例: 法人向け携帯電話、通信モジュールなど
		固定系通信(法人向け)市場	例: WANサービスなど
	ソリューション市場		例: SI、コンサルティングなど
	その他		例: ソフトウェア、ハードウェアなど

※ なお、上図の市場画定については、あくまで試行的な整理であり、この整理が最終的な市場画定の在り方というわけではない。

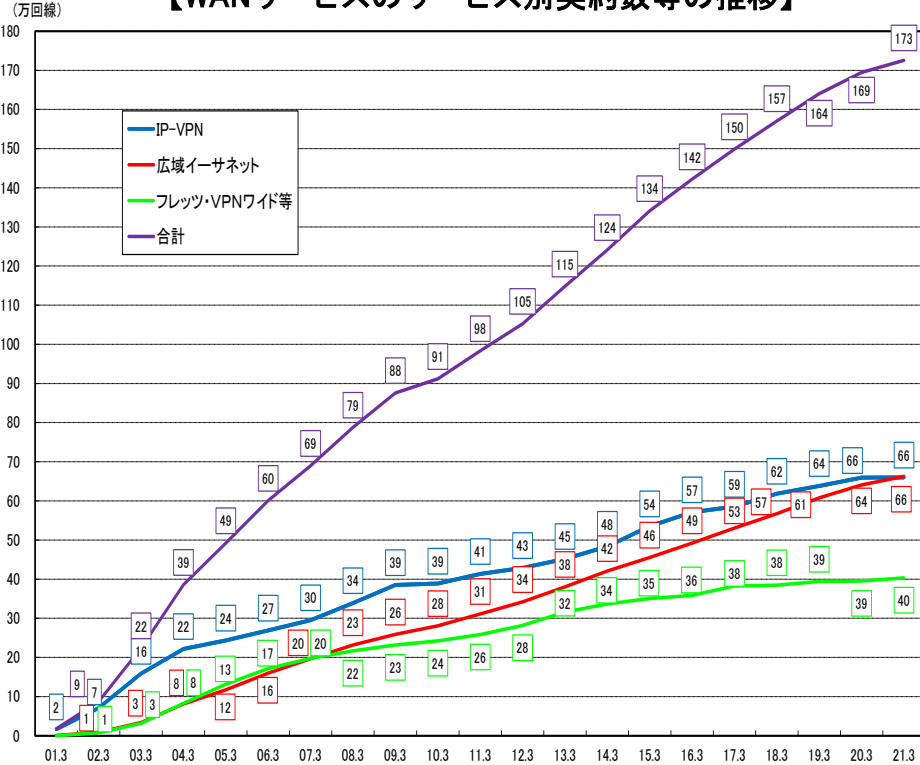
- すなわち、法人向けサービスに関して、法人である需要者に対し、ソリューションその他のサービス等とネットワークとを紐付けた形でサービス提供がなされているという実態を踏まえれば、まず、「(電気通信役務に係る)法人向けサービス市場」として、大きく捉えることができるのではないか。
- その上で、電気通信市場の分析・検証という観点からは、現時点では、「法人向けサービス市場」は、大きく「ネットワーク市場」と「(電気通信役務に係る)ソリューション市場」の2つの部分市場に分類することが適当ではないか。
- 「ネットワーク市場」については、これまでの市場検証における市場画定の在り方を踏まえ、分析・検証に当たっては、移動系通信と固定系通信をそれぞれ別に捉えることとし、「移動系通信(法人向け)市場」及び「固定系通信(法人向け)市場」の2つの部分市場を画定することが適当ではないか。
- 「ソリューション市場」については、「ネットワーク市場」と切り離して捉えることが難しい側面もあるものの、ネットワークを含む様々なサービスがソリューションとして束ねて提供されていることや、そうしたソリューションの提供主体として、電気通信事業者以外の事業者も存在していることに着目すれば、ソリューション提供の面を捉えて市場画定することが適当ではないか。
- また、「法人向けサービス市場」には、ソフトウェア、ハードウェアなど、様々なレイヤーのサービスが含まれ、ソリューション提供に当たっては、ネットワークを含む様々なサービスが束ねられているところ、各レイヤーの状況についても、「ネットワーク市場」及び「ソリューション市場」の分析・検証に当たって考慮していくとともに、ネットワークレイヤー及びその他のレイヤー間の相互関係等も分析・検証していくこととする。

- 前頁における**試行的な市場画定を前提として、それぞれの区分ごとに、競争状況等の実態把握を行った**。暫定的な結果は以下のとおり。
 - まず、「法人向けサービス市場」の規模を概観するため、主要な電気通信事業者における法人セグメント等の売上高を確認すると、令和2年度においては、NTTグループ(NTTドコモ、NTTコム、NTTコムウェア)は約1兆6,000億円、KDDIグループは約1兆円、ソフトバンクは約7,000億円となっている。なお、上記の数値は電気通信事業以外の売上高も含まれており、また、上記3社以外にも、法人市場には電気通信事業者以外の事業者を通じた売上高も存在していることから、法人市場の実態を網羅しているものではないことに留意が必要である。
 - 「ネットワーク市場」のうち「移動系通信(法人向け)市場」について、通信モジュールの契約数及びシェアの推移は、32頁のとおり。なお、当該シェアは、法人向けに提供されている移動系通信の契約数を網羅しているものではないことに留意が必要である。
 - また、これら「移動系通信(法人向け)市場」における契約数の変動についてみると、四半期ごとに増加数が数十万～百数十万程度、減少数が数万～数十万程度という状況であり、**事業者間で契約獲得を巡る競争が活発に行われながら、市場が継続して拡大している**といえる。
 - なお、「固定系通信(法人向け)市場」のシェア(WANサービス市場におけるシェア)については、スライド次頁を参照。
 - 加えて、「移動系通信(法人向け)市場」の実態把握の一環として、NTT東西のローカル5G事業における実態を調査するため、関係事業者等へのヒアリングやアンケート等を通じて、NTT東西とNTTドコモ、NTTコムとの連携状況等を確認した。その結果、現時点では、NTT東西において、NTTドコモ及びNTTコムを含む他の事業者との連携は行っていないとのことであった。
 - また、関係事業者等へのヒアリングやアンケート等を通じて、NTTドコモ以外のMNOとローカル5G事業者や地域BWA事業者と全国BWA事業者の連携状況等も確認した。その結果、ローカル5G関連事業者とそのユーザ企業によるアライアンスの立ち上げや、ローカル5G事業者と共同でのユースケースの実証実験が行われているとのことであった。

※ なお、前記のとおり、本年度検証において実施した法人向けサービスに係る市場画定は、あくまで試行的なものである。そのため、昨年度まで分析・検証を行ってきた「法人向けネットワーク(WANサービス)市場」及び「IoT向け通信サービス市場」について、前記のとおり試行的に整理した法人向けサービスと重複するものの、引き続き、昨年度までと同様の市場分析等を行うこととする。

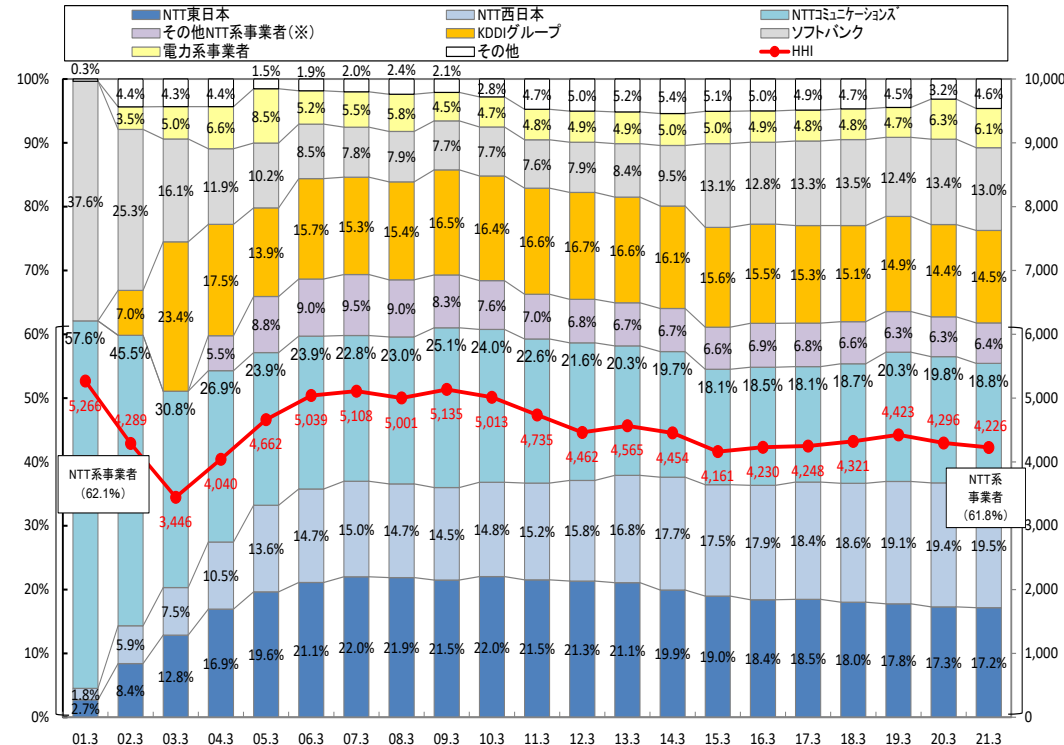
- 2020年度末時点におけるWANサービス市場(IP-VPN、広域イーサネット、フレッツVPNワイド等)の契約数は、**173万**(前年比+1.8%)。サービス別の契約数の推移をみると、全体的に**増加傾向**が続いている。
- 2020年度末時点におけるWANサービス市場の事業者別シェアは、NTT東西が**36.6%**(前年比▲0.1ポイント)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズが**18.8%**(前年比▲1.0ポイント)、KDDIグループが**14.5%**(前年比±0ポイント)、ソフトバンクが**13.0%**(前年比▲0.4ポイント)、電力系事業者が**6.1%**(前年比▲0.1ポイント)となっている。NTT系事業者のシェアの合計は**61.8%**(前年比▲1.0ポイント)、3グループ(NTT系事業者、KDDI及びソフトバンク)のシェアの合計は**89.2%**(前年比▲1.3ポイント)。HHIは**4,217**(前年比▲79)。

【WANサービスのサービス別契約数等の推移】



出所:総務省資料及びNTT東西の公表資料等を基に総務省作成

【WANサービス市場の事業者別シェア及び市場集中度の推移】

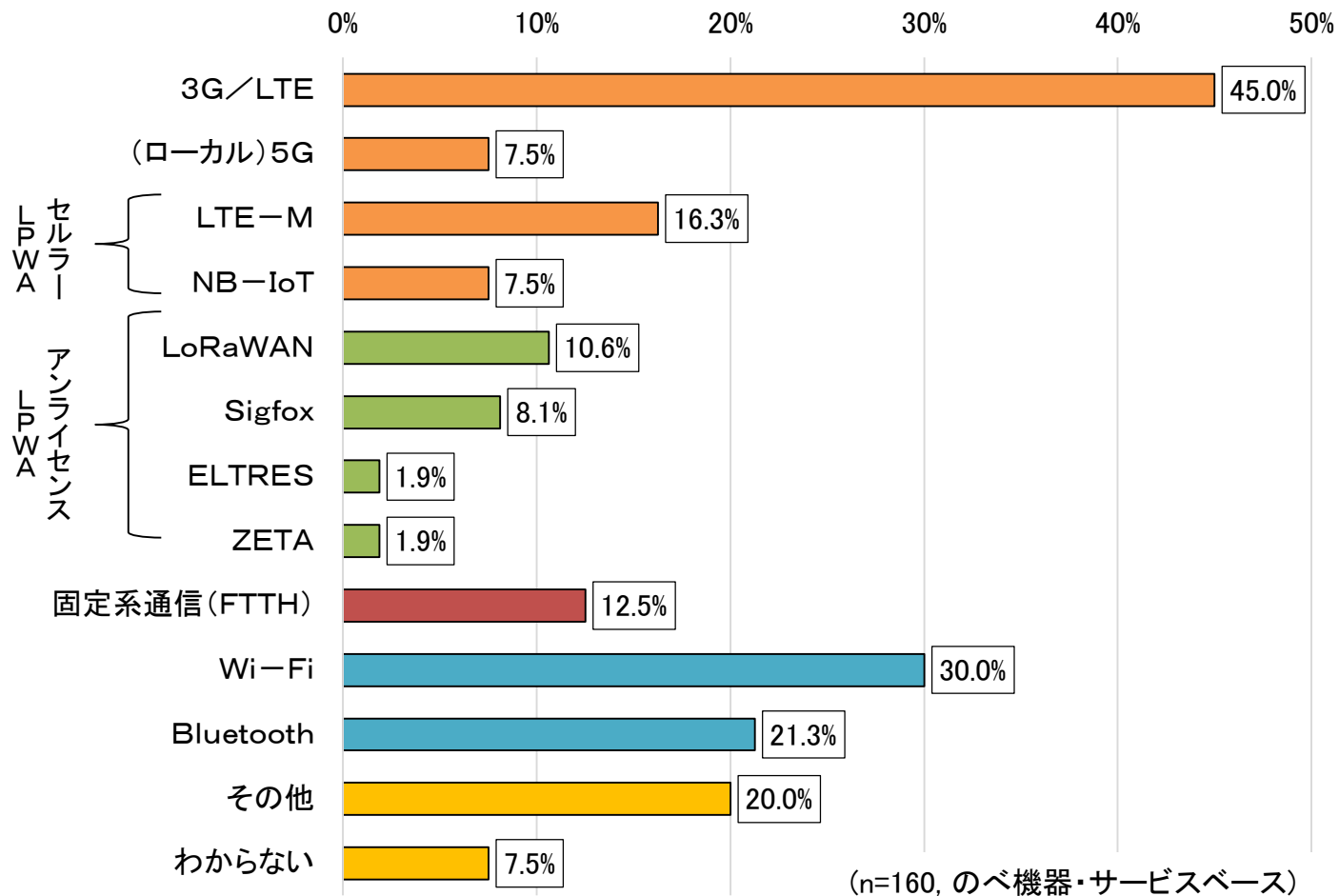


※:NTTコミュニケーションズ、NTT-ME、NTTネオमित等

注:KDDIグループのシェアには、KDDI、中部テレコミュニケーション(2008年度第4四半期以降)及び沖縄通信ネットワーク(2009年度第4四半期以降)が含まれる。

出所:総務省資料及びNTT東西の公表資料等を基に総務省作成

- IoT通信において採用されている通信規格は「3G/LTE」が4割以上、「Wi-Fi」が3割と多く使われている。
- セルラーLPWAである「LTE-M」が2割近くとなっており、LPWAでは最も多い。

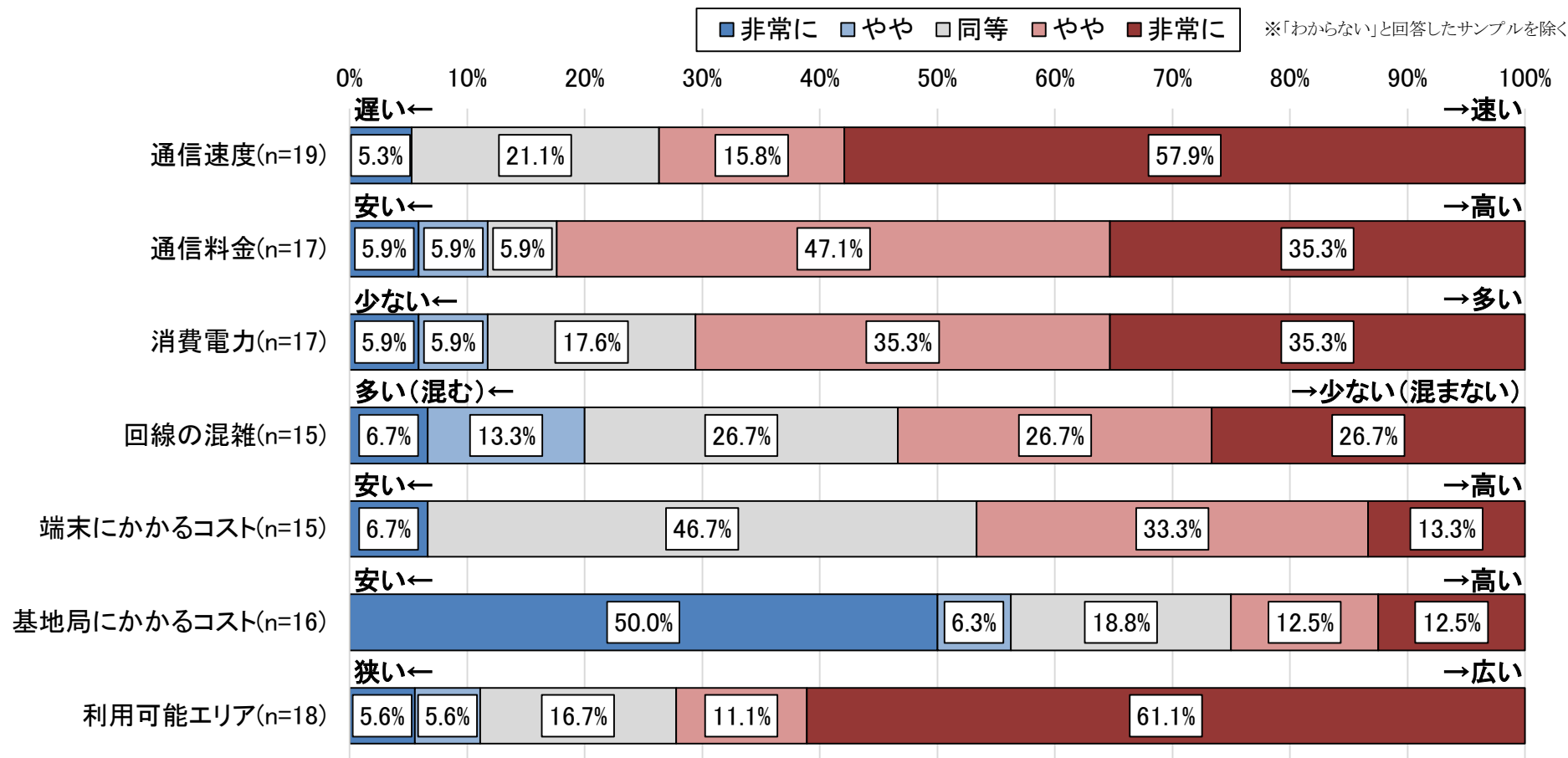


- 通信規格を採用した際の観点は、「エリアが対応しているから」や「通信料金が安いから」が3割近くとなっている。

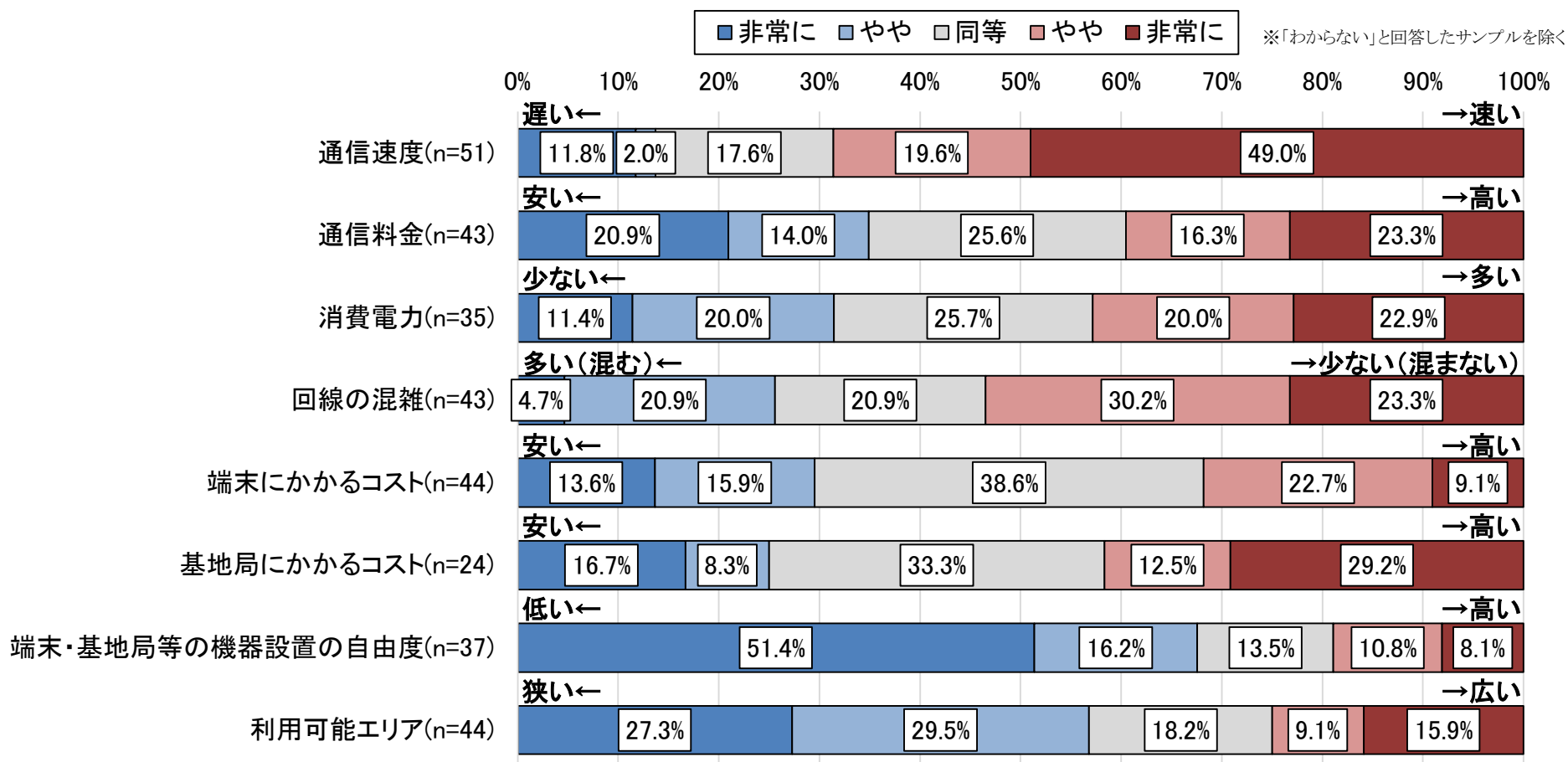
	採用した観点 (複数回答可)
エリアが対応しているから	61 (29.5%)
通信料金が安いから	56 (27.1%)
電波の飛距離が求める仕様に合っているから	53 (25.6%)
ユーザーによる設定が容易だから	48 (23.2%)
消費電力が小さいから	46 (22.2%)
通信速度が速いから	40 (19.3%)
通信容量が大きいから	33 (15.9%)
端末が低コストで調達できるから	27 (13.0%)
基地局設置にかかるコストが節約できるから	26 (12.6%)
セキュリティレベルが高いから	24 (11.6%)
データレート等を求める仕様にカスタマイズができるから	13 (6.3%)
電波の混雑・干渉が避けられるため	13 (6.3%)
その他	39 (18.8%)
わからない	11 (5.3%)

(n=207, のべ採用通信規格ベース)

- セルラーLPWAとアンライセンスLPWAについて、①通信速度、②通信料金、③消費電力、④回線の混雑、⑤端末にかかるコスト、⑥基地局にかかるコスト、⑦利用可能エリアの観点からそれぞれ比較した際の認識について質問した。
- セルラーLPWAは、アンライセンスLPWAと比較して、通信速度が速い(7割超)、回線の混雑が少ない(5割超)、基地局にかかるコストが安い(5割超)、利用可能エリアが広い(7割超)という認識がみられた。一方、通信料金が高い(8割超)、消費電力が多い(7割超)という認識がみられた。また、端末にかかるコストは同等(5割弱)という認識がみられた。



- 固定系通信 (FTTH等) と移動系通信 (3G/LTE等) について、①通信速度、②通信料金、③消費電力、④回線の混雑、⑤端末にかかるとコスト、⑥基地局にかかるとコスト、⑦端末・基地局等の機器設置の自由度、⑧利用可能エリアの観点からそれぞれ比較した際の認識について質問した。
- 固定系通信は、移動系通信と比較して、通信速度が速い(約7割)、回線の混雑が少ない(約5割)という認識がみられた。一方、端末・基地局等の機器設置の自由度が低い(7割弱)、利用可能エリアが狭い(6割弱)という認識がみられた。



- 令和2年度検証においては、「IoT向け通信サービス市場」について、移動系通信市場のうちの通信モジュールの範囲をもって試行的に画定した。
- IoT向け通信サービスとしては、通信モジュール以外にも様々な通信規格が利用されているところ、令和3年度検証においても、令和2年度検証に引き続き、IoT向け通信サービスについては、まず、通信モジュールの範囲で試行的に市場を画定しつつ、通信モジュールと他の通信規格との代替性等について検証を行った。他の通信規格としては、アンライセンスLPWA及び固定系通信を対象とした。

アンライセンスLPWA

- ✓ 67頁のとおり、事業者アンケートによれば、アンライセンスLPWAとセルラーLPWAを比較した場合、セルラーLPWAは、通信速度がより速く、回線の混雑がより少なく、基地局にかかるコストがより安く、利用可能エリアがより広いという認識がみられた。他方で、通信料金がより高く、消費電力がより多いという認識がみられた。また、端末にかかるコストは同等という認識がみられた。
- ✓ 以上より、現時点では、アンライセンスLPWAとセルラーLPWAとの間に代替性は一定程度あると考えられるものの、同一市場として画定しうるとまではいえない。このため、アンライセンスLPWAについては、「アンライセンスLPWA市場」として試行的に画定する。

固定系通信

- ✓ 68頁のとおり、事業者アンケートによれば、固定系通信と移動系通信を比較した場合、固定系通信は、通信速度がより速く、回線の混雑がより少ないという認識がみられた。一方、端末・基地局等の機器設置の自由度がより低く、利用可能エリアがより狭いという認識がみられた。
- ✓ 以上より、現時点では、固定系通信と移動系通信は、同一市場として画定しうるとまではいえない。また、固定系通信のうちIoT向け通信として利用されているものは、あくまで一部であり、IoT向けに利用されているものと、それ以外のものとの線引きは困難であることから、固定系通信について、IoT向けに用いられているものだけを取り出して市場画定することはしない。

參考資料

利用者アンケート(移動系・固定系)について

- 市場動向の分析として定点的に観測する指標のうち、事業者のサービス間の代替性に関する指標を補完するものとして、利用者アンケートを実施。
- 各事業者のサービスをどの程度代替的と捉えているか、どのようなサービスの利用意向を持っているかなど、報告規則に基づく報告内容等では確認できない利用者の認識・利用意向について把握。

アンケート対象者	固定インターネットサービス (FTTH、CATV、ADSL又はSoftBank Air等の固定設置型ワイヤレスルータのいずれか) 及び移動系通信の利用者 (有効回答数: 6,000人※)
実施方法	インターネット調査 (民間事業者に委託)
実施期間	第1回調査 (移動系通信): 令和4年1月17日～同月25日 第2回調査 (固定系通信): 令和4年1月27日～同月31日

※6,000人のうち、固定ブロードバンドを利用する者 (5,700人) が第1回調査 (移動系通信) 及び第2回調査 (固定系通信) の両方に回答している。このほか、移動系通信のみを利用し、固定ブロードバンドを利用しない者 (300人) が、第1回調査 (移動系通信) のみに回答している。

利用者アンケート設問一覧

共通設問

- F1 あなたの性別をお答えください。(SA)
- F2 あなたの年齢をお答えください。/歳(NU)
- F3 お住まいの都道府県をお答えください。(SA)
- F4 同居人数をお答えください。(SA)
- F5 居住形態についてお答えください。(SA)
- F6 あなたの職業をお答えください。(SA)
- F7 お勤めの会社(団体など)の業種について、最も当てはまるものをお答えください。(SA)
- F8 あなたの世帯年収について当てはまるものをお選びください。(SA)
- F9 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により、あなたの世帯年収に変化がありましたか。(SA)
- F10 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響により、あなたの世帯年収にどの程度変化がありましたか。(SA)

移動系通信

- IQ1_1 現在利用契約中の携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(勤務先等が契約し、あなたに支給されている場合は除きます。以下の問いでも同じ。)複数のサービスを契約している場合は、メインで利用しているサービスの契約状況について回答してください。(SA)
- IQ1_2 現在利用契約中の携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(勤務先等が契約し、あなたに支給されている場合は除きます。以下の問いでも同じ。)複数のサービスを契約している場合は、サブ(2台目)として利用しているサービスの契約状況について回答してください。(SA)
- IQ2 複数の携帯電話事業者・サービスを契約している理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ3_1 現在メインで利用している携帯電話事業者の利用年数はどの程度ですか。(SA)
- IQ3_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話事業者の利用年数はどの程度ですか。(SA)
- IQ4_1 以前メインとして利用されていた携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ4_2 以前サブ(2台目)として利用されていた携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ5_1 現在メインで利用している携帯電話サービスの契約に際し、現在メインとして利用中のサービス以外に比較・検討した携帯電話サービスについて当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ5_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話サービスの契約に際し、現在サブとして利用中のサービス以外に比較・検討した携帯電話サービスについて当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ6_1 現在メインで利用している携帯電話サービスは、どのような方法で契約しましたか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ6_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話サービスは、どのような方法で契約しましたか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ7 あなたが店舗等ではなく、インターネット(オンラインショップ、通信販売など)で申込み又は契約を行った理由として当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ8_1 あなたがメインで利用している携帯電話サービスの1か月あたりの利用料(基本料金、端末の割賦支払い及びオプション料金を含む総支払額。家族分をまとめて支払っている等の場合、あなたがメインで利用している端末についての総支払額をお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ8_2 あなたがサブ(2台目)として利用している携帯電話サービスの1か月あたりの利用料(基本料金、端末の割賦支払い及びオプション料金を含む総支払額。家族分をまとめて支払っている等の場合、あなたがサブ(2台目)として利用している端末についての総支払額をお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ9_1 現在メインで利用している携帯電話サービスを提供する事業者から、携帯電話サービスとのセットで他のサービスの提供を受けていますか。セットで提供を受けているサービスをすべてお答えください。(MA)
- IQ9_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話サービスを提供する事業者から、携帯電話サービスとのセットで他のサービスの提供を受けていますか。セットで提供を受けているサービスをすべてお答えください。(MA)

移動系通信(続き)

- IQ10_1 現在メインで利用中の携帯電話サービスとセットで提供を受けているサービスの利用を開始した時期について、当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ10_2 現在サブ(2台目)として利用中の携帯電話サービスとセットで提供を受けているサービスの利用を開始した時期について、当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ11 携帯電話サービスと固定系ブロードバンドサービスとのセット割を現在利用している場合、仮にそのセット割がなくなったとして、携帯電話サービスと固定系ブロードバンドサービスの事業者を変更しますか。
- IQ12 携帯電話サービスと固定系ブロードバンドサービスとのセット割を現在利用していない場合、セット割を利用していない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ13 携帯電話サービスと固定インターネットサービスとの用途を使い分けしていますか。以下の各項目について、携帯電話サービスを通じて主に利用しているか、固定インターネットサービスを通じて主に利用しているか、そもそも利用等をしていないか、それぞれお答えください。(SA)
- IQ14_1 あなたがメインで利用している事業者(サービス)について、その選択理由として当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ14_2 あなたがサブ(2台目)として利用している事業者(サービス)について、その選択理由として当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ15_1 現在メインで利用している携帯電話事業者(サービス)を選択した際に、以下の点をどの程度重視しましたか。3(とても重視した)~0(全く重視しなかった、わからない)の4段階でお答えください。/契約事務手続き/料金/通信速度・品質/データ通信容量/アフターサポート/契約・問合せ窓口の対応(SA)
- IQ15_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話事業者(サービス)を選択した際に、以下の点をどの程度重視しましたか。3(とても重視した)~0(全く重視しなかった、わからない)の4段階でお答えください。/契約事務手続き/料金/通信速度・品質/データ通信容量/アフターサポート/契約・問合せ窓口の対応(SA)
- IQ16_1 現在メインで利用している携帯電話端末について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ16_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話端末について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ17 携帯電話サービスの利用に応じて貯まるポイントのうち、最も利用頻度の高いポイント(カード)を1つお答えください。(SA)
- IQ18 【IQ17で回答したポイント】は、現在利用している携帯電話サービスを利用開始する前から利用していましたか。(SA)
- IQ19 【IQ17で回答したポイント】が仮に利用できなくなった場合、携帯電話サービスの利用を継続しますか。(SA)
- IQ20 携帯電話(端末)を活用した以下の決済サービスを利用していますか。最もよく利用する決済サービスを1つお答えください。(SA)
- IQ21 【IQ20で回答したサービス】は、現在利用中の携帯電話サービスを利用開始する前から利用していましたか。(SA)
- IQ22 現在利用中の携帯電話サービスにおいて、【IQ20で回答したサービス】の利用が仮にできなくなった場合、携帯電話サービスの利用を継続しますか。(SA)
- IQ23 第5世代移動通信(5G)サービスの提供が開始されましたが、現時点において、第5世代移動通信サービスへの切り換え時期についてどのようにお考えですか。(SA)
- IQ24 5Gサービスへの切り替えをすぐにはしないこととしている理由について当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ25_1 仮にあなたが現在メインで利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合、どの事業者のサービスに変更しますか。(SA)
- IQ25_2 仮にあなたがサブ(2台目)として利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合、どの事業者のサービスに変更しますか。(SA)
- IQ26 【IQ25_1で回答したサービス】を回答として選んだ理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ27 【IQ25_2で回答したサービス】を回答として選んだ理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ28 【IQ25_1で回答したサービス】に現時点で切り替えない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ29 【IQ25_2で回答したサービス】に現時点で切り替えない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)

利用者アンケート設問一覧

移動系通信(続き)

- IQ30 新型コロナウイルス感染症の拡大により、携帯電話サービスの契約を何らか変更しましたか。該当する選択肢をすべてお答えください。(MA)
- IQ31 新型コロナウイルス感染症の拡大により、携帯電話サービスに関する認識・行動等において何らか変化がありましたか。該当する選択肢をすべてお答えください。(MA)
- IQ32 アプリケーションの無料通話等、サービス自体に固有の電話番号が与えられない音声通話アプリケーションについてお聞きます。以下のうち、現在利用している音声通話アプリケーションをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの利用時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MA/SA)
- IQ33 【IQ32で回答したサービス】と、携帯電話サービスにおける通話との使い分けをしていますか。使い分けをしている場合、どのように使い分けしていますか。(SA)
- IQ34 メッセンジャーアプリについてお聞きます。以下のうち、現在、利用しているメッセンジャーアプリをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの利用時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MA/SA)
- IQ35 【IQ34で回答したサービス】と、携帯電話サービスにおけるメール(キャリアメール・フリーメール)との使い分けをしていますか。使い分けをしている場合、どのように使い分けしていますか。(SA)

固定系通信

- KQ1 現在、ご自宅で利用している固定インターネットサービスとして当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ2 現在利用している固定インターネット回線を提供している事業者のサービスを継続して何年程度利用していますか。当てはまるものをお選びください。(SA)
- KQ3 現在利用中の光回線(FTTH)を提供する事業者から、FTTHサービスとのセットで他のサービス(携帯電話サービスを除く)の提供を受けていますか。セットで提供を受けているサービスをすべてお答えください。(MA)
- KQ4 現在利用中の光回線(FTTH)とセットで提供を受けているサービス(携帯電話サービスを除く)の利用を開始した時期について当てはまるものをお選びください。(SA)
- KQ5 現在利用している固定インターネット回線を提供している事業者と契約した際のことについてお伺いします。あなたが現在利用している固定インターネット回線(事業者)を選択した理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- KQ6 現在利用している固定インターネット回線(事業者)を選択した際に、以下の点をどの程度重視しましたか。3(とても重視した)各~0(全く重視しなかった、わからない)の4段階でお答えください。／契約事務手続き／料金／通信速度・品質／データ通信容量／工事の有無／アフターサポート／契約・問合せ窓口の対応(SA)
- KQ7 現在利用している固定インターネット回線(事業者)以外に比較・検討した携帯電話サービスについて当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- KQ8 現在お使いの【KQ1で回答したサービス】の月額利用料(税込)について、当てはまるものをお選びください。(SA)
- KQ9 仮に、現在利用中の事業者の固定インターネット回線が利用できなくなった場合、他のどの事業者(サービス)を利用したいと考えますか。(SA)
- KQ10 【KQ9で回答したサービス】を回答として選んだ理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- KQ11 【KQ9で回答したサービス】に現時点において切り替えない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- KQ12 これまで、固定インターネット回線、または事業者を変更したことがありますか。また、変更したことがある場合は、現在の固定インターネット回線、事業者をお使いになる直前に、どの固定インターネット回線、事業者を利用していましたか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ13 前問でお答えいただいた直近の事業者の変更は、どのような理由によるものですか。最も当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ14 新型コロナウイルス感染症の拡大により、固定インターネットサービスの契約を何らか変更しましたか。当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- KQ15 新型コロナウイルス感染症の拡大により、固定インターネットサービスに関する認識・行動等において何らか変化がありましたか。当てはまるものをすべてお答えください。(MA)

事業者アンケートについて

- 市場動向の分析及び業務の適正性確認の一環として、電気通信事業者らに対するアンケートを以下のとおり実施。

<p style="text-align: center;">対象者</p>	<p>【電気通信事業分野における市場動向の分析関係】</p> <p>○電気通信市場全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動系通信(55者):MNO事業者(7者)、SIMカード型契約数が5万以上のMVNO事業者(31者※)、その他(18者) ※MNOと重複あり(1者) ・固定系通信(51者):自己設置又は接続の契約数10万以上の事業者(20者)、回線の卸提供を受ける契約数が3万以上の事業者(31者) <p>○法人向けサービス:</p> <p>NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル、NTT東西、NTTコム、NTTデータ、NTTコムウェア、IIJ、オプテージ</p> <p>○(法人向けサービスのうち)ローカル5G:</p> <p>NTT東西、NTTドコモ、NTTコム、KDDI、沖縄セルラー電話、ソフトバンク、楽天モバイル、UQコミュニケーションズ、WCP</p> <p>○(法人向けサービスのうち)IoT向け通信サービス:</p> <p>IoT関係事業者(回収数:88者)</p> <p>【電気通信事業者の業務の適正性等の確認関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規制対象事業者:NTT東西、NTTドコモ ・その他の事業者:上記3者以外のアンケート(電気通信市場全体)対象者(移動:54者、固定:49者)
<p style="text-align: center;">実施方法</p>	<p>総務省において実施(必要に応じて民間事業者に委託)</p>
<p style="text-align: center;">実施期間</p>	<p>令和4年1月14日～2月14日(民間事業者に委託したものは令和4年2月7日～3月4日)</p>

- ① 新型コロナウイルス感染症の拡大により、電気通信事業に影響が生じた場合、その影響の内容や、その影響により競争状況に生じた変化等
- ② FTTH(小売・卸売)、ISP、移動通信(小売・卸売)、その他のそれぞれの市場における競争状況に関して、最近(直近1～2年程度)変化を感じる事項
- ③ FTTH(小売・卸売)、ISP、移動通信(小売・卸売)、その他のそれぞれの市場における公正な競争を確保する上での課題

※ 上記のほか、市場動向の分析のために必要な以下のデータ等も確認。

(移動系通信関係)

- ・移動系通信(相対契約によるスマートフォン等向け、通信モジュール向け)に係る契約増加数・減少数(四半期ごと)
- ・IoT/M2M向けサービスの料金プラン及びその変更状況
- ・IoT/M2M向けサービスの通信料金の割引状況
- ・IoT/M2M向けサービス向けに提供している主要な通信規格及び代替可能な通信規格

(固定系通信関係)

- ・回線の調達方法(自己設置・IRU・相互接続)ごとの卸電気通信役務による他事業者への提供数
- ・FTTHサービス及びCATV(下り30Mbps以上)の提供状況(サービス提供エリア[市区町村名・数])
- ・FTTHサービス及びCATV(下り30Mbps以上)サービスのカバーエリアにおける契約状況(契約数/カバー世帯数(%))

- ① 法人向けに提供しているサービスの分類に係る認識
- ② 法人向けに提供しているサービス(①の分類ごと)について市場規模や競争環境、競争事業者の範囲に係る認識
- ③ 法人向けに提供しているサービス(①の分類ごと)についておおよその売上高や契約数

- ① ローカル5G事業におけるNTT東西、NTTドコモ、NTTコムとの連携状況等
- ② NTTドコモ以外のMNOとローカル5G事業者や、地域BWA事業者と全国BWA事業者の連携状況等
- ③ ローカル5G市場における公正な競争を確保するうえでの課題等

- ① IoT機器/サービスの概要(名称、機器/サービスの内容、提供契約数)
- ② IoT機器/サービスの料金等(初期費用〔登録手数料など〕、基本料金、機器料金、通信料、最低契約期間、契約解除料)
- ③ IoT機器/サービスにおいて採用されている通信規格、各通信規格を採用した観点
- ④ IoT機器/サービスにおいて現在契約している通信事業者、通信事業者を選択した観点
- ⑤ 通信事業者以外で提携を行っている事業者、当該事業者を提携先として選択した経緯、提携の手法、取引を制限するような提携条件の有無
- ⑥ 通信速度/通信料金/消費電力/回線の混雑/端末にかかるコスト/基地局にかかるコスト/利用可能エリアの各観点について、セルラーLPWAとアンライセンスLPWAを比較した場合の認識
- ⑦ 通信速度/通信料金/消費電力/回線の混雑/端末にかかるコスト/端末・基地局等の機器設置の自由度/利用可能エリアの各観点について、固定系通信(FTTH等)と3G/LTE等の移動系の通信技術を比較した場合の認識
- ⑧ 通信速度/通信料金/消費電力/回線の混雑/端末にかかるコスト/基地局にかかるコストの各観点について、ローカル5Gと既存の無線通信技術(3G/LTE、LPWA等)を比較した場合の認識
- ⑨ IoT機器/サービスにおけるローカル5Gの導入予定
- ⑩ アンライセンスLPWA回線についての主に都市部における混雑の認識、当該混雑が通信規格の選択やサービス仕様の検討に与えた影響
- ⑪ 今後、通信サービスに期待している事項